OWNER'S MANUAL

DVDレシーバー

PLS-1610

この度はウエストボロウシリーズ DVDレシーバー PLS-1610をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。また、必要なときにご覧になれるように大切に保管しておくことをおすすめいたします。併せて箱や梱包材も、後日修理メンテナンス等が必要になった場合のために保管しておくことをおすすめいたします。

PLS-1610 取扱説明書

※説明の便宜上、イラストは原型と異なる場合があります。

もくじ

付属品 …… 4
カンタン操作シートの使い方 …… 4
こんなことができます …… 5
再生できるディスクについて …… 5

必ずお読みください

安全上の留意項目 P.6

準　備

機器の接続 P.10
スピーカー イコライザーの設定 P.12
映像方式の 設定のしかた P.12
アンテナの接続 （FM 放送用） P.14
アンテナの接続 （AM 放送用） P.16

基本操作

ラジオを楽しむ P.18
CD/DVD を楽しむ P.20
カード型サブリモコンで簡単に操作 P.71

設　定

DVDを楽しむために

システム設定画面 について P.24
時計を合わせる ※設定を行うまで時計表示 は点滅しています。 P.58
リモコンを他社の テレビに合わせる P.70

ラジオ放送を楽しむために

放送局の登録と 呼び出し P.56

応用操作

メニューバーで操作する P.30
ディスク再生の前に P.32
数字キーでチャプター／トラックを選ぶ P.34
テレビの画面を見ながら選ぶ P.36
画像を１コマずつ送る P.38
早送り／早戻し P.38
約5分ごとに送る P.39
頭出し P.40
スロー再生 P.40
約10秒前から再生し直す（10sec REP） P.41
メニューから選ぶ① P.42
メニューから選ぶ② P.44
プログラム再生 P.46
ランダム再生 P.48
リピート再生 P.48
指定した範囲を繰り返し再生（A・Bリピート） P.50
字幕表示の切り換え P.52
音声の切り換え P.52
アングルの切り換え P.54
テレビの表示について P.61

便利な機能

スリープタイマーの活用 P.60
CD でお目覚めのための簡単タイマーセット P.62
タイマーの使い方 P.64

リモコン

リモコンについて …… 66
カード型サブリモコンで簡単操作 …… 71
リモコンの取り扱いについて …… 72

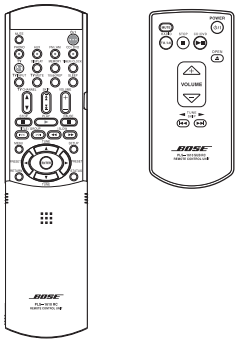
その他

チャイルドロック …… 32
その他の機器を聞く …… 54
各部の名称とはたらき …… 74
表示部について／表示部の切り換え …… 76
高域と低域の調整 …… 78
ヘッドホンを使って楽しむとき …… 78
お手入れについて …… 79
ディスクについて …… 80
言語コード表 …… 83
用語説明 …… 84
故障かな …… 86
仕様 …… 裏表紙
保証 …… 裏表紙

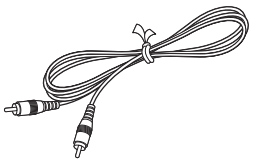
付属品／カンタン操作シートの使い方

●付属品

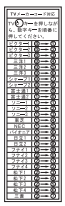
次の付属品がそろっていることをご確認ください。



リモコン 1個
カード型サブリモコン 1個

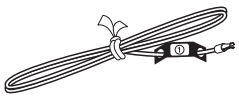


ビデオケーブル(2m) 1本

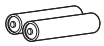


TVメーカーシール 1枚

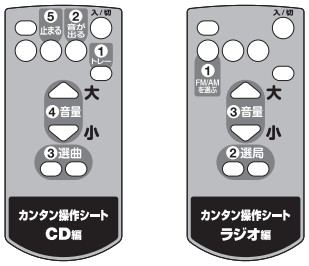
AMループアンテナ 1個



FMアンテナ 1本



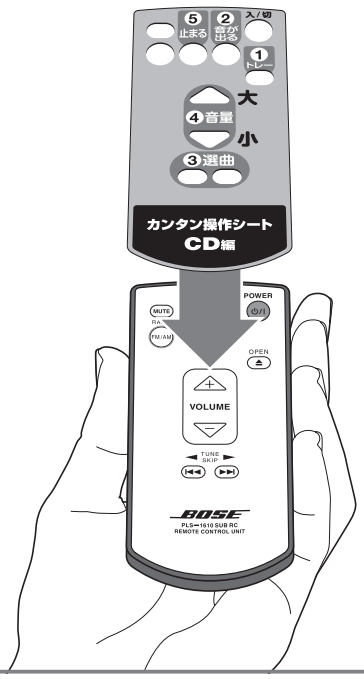
単3乾電池(チェック用) 2個



カンタン操作シート (CD編) 1枚
カンタン操作シート (ラジオ編) 1枚

●カンタン操作シートの使い方

図のようにカンタン操作シートをカード型サブリモコンの上に置いてお使いください。表示の数字を順番に操作することによってCDプレーヤー、ラジオの操作ができます。



こんなことができます／再生できるディスクについて

●こんなことができます

■ボーズスピーカー 125をベストドライブ
・ 小型大口径サウンドスピーカー 125の持ち味をパーフェクトに引き出すための専用イコライザーを搭載。

■FM／AMラジオ
・ FM30局／AM15局の放送局を登録。
・ 周波数を自動で合わせるスキャンチューニング。
・ 受信可能な放送局を自動的に登録するオートストア機能。

■最適なサウンド再生を実現するボーズ・テクノロジー
・ ボースの独自技術P.A.P.回路により、どんな音量でも常に最適な音響バランスを実現。
・ リスニングルームの構造からの影響を受けやすい周波数帯のみを調整するR.A.C.（ルーム・アコースティック・コンペンセーター／ BASS、TREBLE調整）。

■いろいろなディスク／ファイルを再生
・ DVDビデオディスク、音楽CDはもちろんのこと、自分で録音、録画したファイルも再生することができます（MP3/WMA/JPEG/WAVE/MPEG1/MPEG2）。

■多彩なタイマー機能
・ ONCE（1度だけ）、毎日、月曜から金曜まで、月曜から土曜までと、ライフスタイルにあわせて自由に設定可能。
・ CDの再生が終わると自動的にスタンバイ状態になるオートスリープ機能。
・ 指定時間後（最長180分まで）自動的に電源がスタンバイ状態になるスリープタイマー機能。

■テレビの電源のON/OFF、チャンネル、入力切替、テレビのミュート（消音）の操作も可能なリモコン

■基本操作だけを集約したカード型サブリモコン
・ 電源のON/OFFや音量、入力切換などの基本的な操作が簡単に行えるリモコンも付属。

●再生できるディスクについて

地域番号（リージョンコード）を確認してください

DVDプレーヤーとDVDディスクの地域番号（リージョンコード）が合っていなければ使用できません。地域番号はそれらの機器、DVDディスクが使用される国または地域ごとに割り当てられています。本機の場合は背面にリージョンコードが記載されています。DVDディスクはジャケットやケースなどに記載されています。日本で視聴できるディスクには次のような記号があります。また、業務用ディスクの中には、本機での再生が禁止されているものがあります。

など

地域番号	おおよその該当地域
1	アメリカ、カナダ
2	日本、ヨーロッパ（東欧の一部を含む）、中近東
3	東アジア、東南アジア
4	オーストラリア、ニュージーランド、中南米
5	東欧、アフリカ（南アフリカ共和国、エジプトを除く）、インド
6	中国（香港を除く）
ALL	全地域

PLS-1610のDVDプレーヤーは、以下のタイプのディスクを再生できます。

	CD-R CD-RW	DVD-R	DVD-RW
CDフォーマット	○	—	—
MP3/WMA/JPEGフォーマット	○	○	○
DVDビデオフォーマット	—	○	○
DVD VRフォーマット	—	○	○
WAVEフォーマット	○	○	○
MPEG1/MPEG2フォーマット	○	○	○

※ディスクはすべてファイナライズ処理されている必要があります。

安全上の留意項目

●ご使用の前に、この「安全上の留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示について

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

△ 記号は注意を促す内容を告げるものです。(左図の場合は指をはさまれないように注意)が描かれています。

⚠ 警告

電源プラグをコンセントから抜け

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。

●万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●万一内部に異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

水場での使用禁止

●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

使用禁止

●雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

警告

●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●This set is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.

●この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

●この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて火災・感電の原因となります。

●この機器の通風孔、ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

●万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

分解禁止

●この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店もしくはボーズサービスセンター株式会社にご依頼ください。

●この機器は改造しないでください。火災・感電の原因となります。

●この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケース底部に通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。

・この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。
・この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪いところに押し込む。
・テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。

●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

ACアウトレット
（電源コンセント）付き機器のみ

●この機器のACアウトレットが供給できる電力は背面パネルに表示されております。接続する装置の消費電力の合計が表示されているW（容量）を超えないようにしてください。火災の原因となります。電熱器具、ヘアドライヤー、電磁調理器などは接続しないでください。また、供給電力以内であっても、電源を入れたときに大電流の流れる機器などは、接続しないでください。

●この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、左右5cmずつ、奥行き5cm、天面から10cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

●スピーカーコードの上に重いものをのせたり、コードが製品の下敷きにならないようにしてください。また、壁や棚などの間にはさみ込んだりしないでください。スピーカーコードを傷つけて火災の原因となります。

安全上の留意項目

⚠ 警告

●スピーカー内部に金属片や異物などを落とさないでください。ショートや発熱などを起こし、火災の原因となります。

●スピーカーコードを熱器具の近くや直射日光のあたるところには近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災の原因となります。

●スピーカーコードを人が通るところなど引っ掛かりやすい場所に這わせないでください。つまずいて転倒したり、スピーカーが落下し、けがや事故の原因となります。

●<本製品>を分解したり改造しないでください。破損や火災の原因となります。

●電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。

●電源プラグは定期的に掃除してください。ほこりなどがたまると、火災などの原因となります。

●窒息する危険がないように、製品を包んでいたビニール袋は子供の手の届かない場所に保管してください。

●熱器具の近くや直射日光のあたるところには設置しないでください。そのような場所で使用しますと、火災の原因となります。

●この製品は、一般屋内用器具です。落下、脱落、焼損、火傷、火災、感電、腐食、変形などの原因となりますので、以下の場所ではご使用にならないでください。
・振動や衝撃の影響を受けるところ
・腐食性ガスや可燃性ガス、粉じんの影響を受けるところ
・サウナ風呂などの温度が高くなるところ
・湿度の高いところ

⚠ 注意

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●電源コード、スピーカーコードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災・感電の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

電池を使用する機器のみ

●電池を機器内に挿入する場合、極性表示⊕と⊖の向きに注意し、表示通りにいれてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

●旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

●お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

⚠ 注意

●5年に一度は機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまった状態で長期間使用されますと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用についても販売店にご相談ください。

●アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
※送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

●移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

●お子様がディスク挿入口に手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

●ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げ過ぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

●ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所は避けて置いてください。また、設置場所の強度は重みに耐えられるものにしてください。落下して、けがや事故の原因となります。

●スピーカーを高いところに設置される場合には、作業が不安定になりますので作業時のけがや事故には十分ご注意ください。

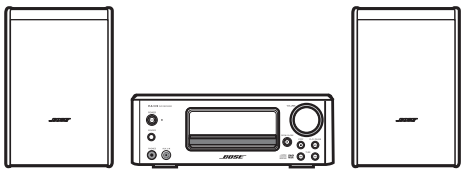
●高いところに設置される場合には、不意な衝撃に対して落下しないよう固定してください。固定しないまま使用しますと、落下し、けがや事故の原因となります。

●万一の事故防止のため、この機器を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてください。

●シンナーやベンジンなどの揮発性の薬品やクレンザーなどは、変色や傷を付ける原因となりますので使用しないでください。

●はじめから音量を上げすぎないでください。突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。電源を切る前に接続したテレビやアンプなどの音量(ボリューム)を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

準備　機器の接続



接続上の注意

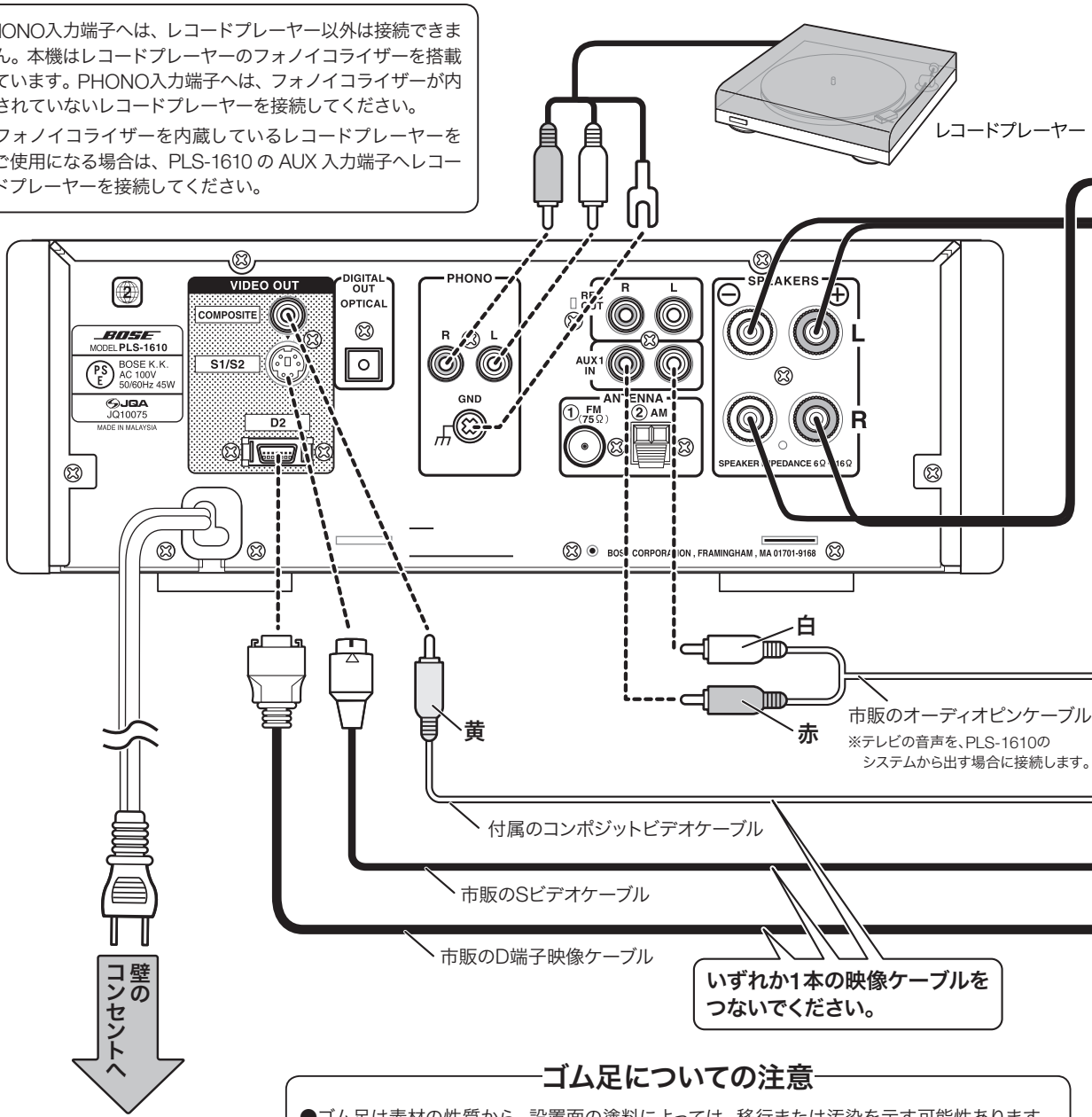
●接続する前に、本機に接続するオーディオ機器やビデオ機器の取扱説明書もよくお読みください。
●左右チャンネル、入力出力端子をよく確かめて、正しく（左と左、右と右）接続してください。
●プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音発生の原因になります。

レコードプレーヤーの接続について

フォノイコライザーを内蔵していないレコードプレーヤーでMM型カートリッジを使用しているものに限ります。※レコードプレーヤーの一部にはGNDがないものがあります。レコードプレーヤーの取扱説明書をよく読んでご使用ください。

PHONO入力端子へは、レコードプレーヤー以外は接続できません。本機はレコードプレーヤーのフォノイコライザーを搭載しています。PHONO入力端子へは、フォノイコライザーが内蔵されていないレコードプレーヤーを接続してください。

※フォノイコライザーを内蔵しているレコードプレーヤーをご使用になる場合は、PLS-1610 の AUX 入力端子へレコードプレーヤーを接続してください。

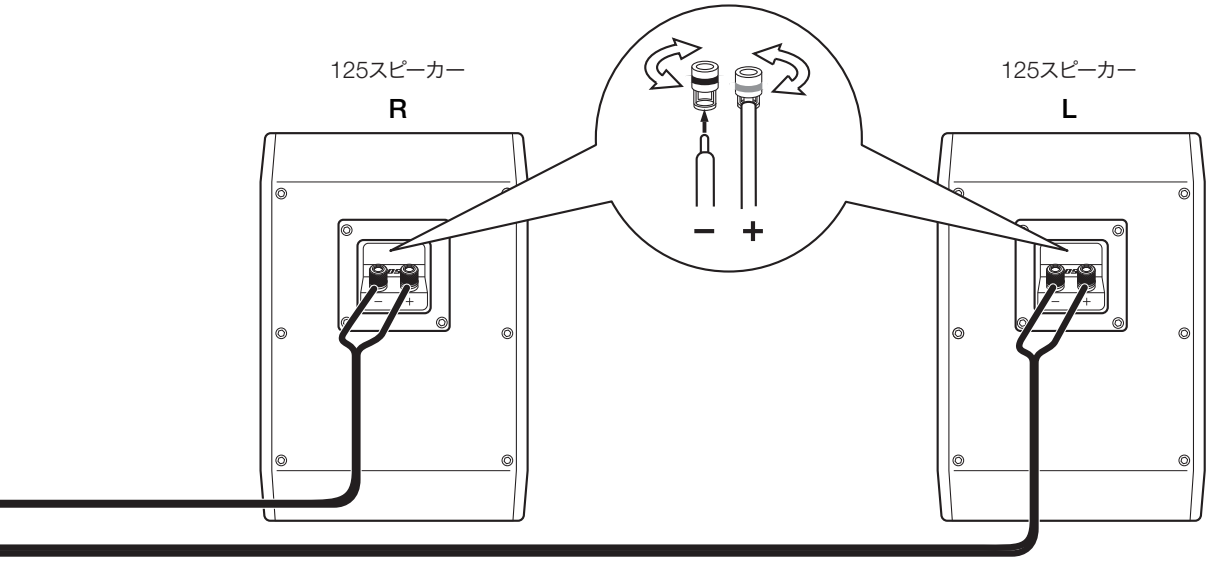


すべての接続が終了するまで、コンセントには差し込まないでください。

ゴム足についての注意

●ゴム足は素材の性質から、設置面の塗料によっては、移行または汚染を示す可能性あります。事前にご確認のうえご使用ください。
●付属のゴム足は高摩擦性を有している分、塗装面との接触面に密着しやすい性質を持っております。接触面の一部を剥がしてしまう可能性も有りますので、事前にご確認のうえご使用ください。

すべての接続が終了するまで、PLS-1610の電源プラグは、コンセントから抜いておいてください。

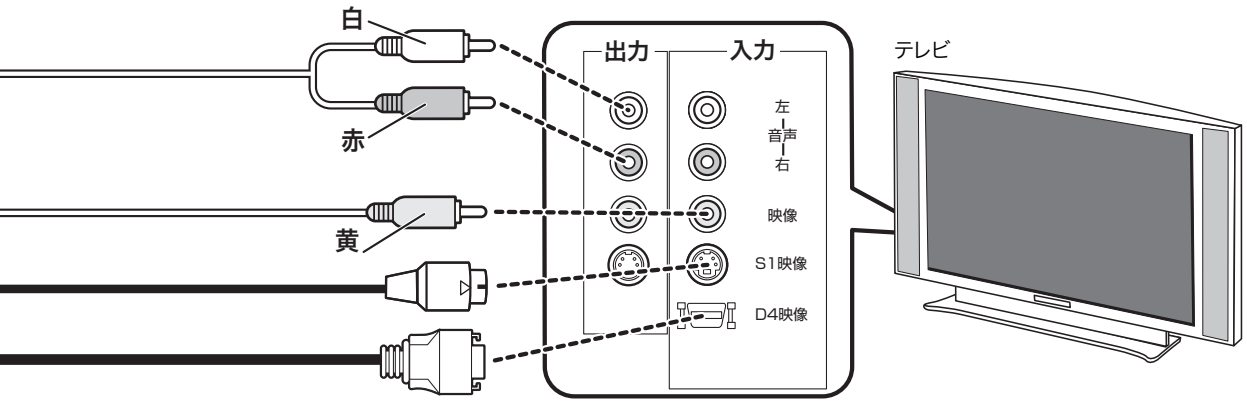


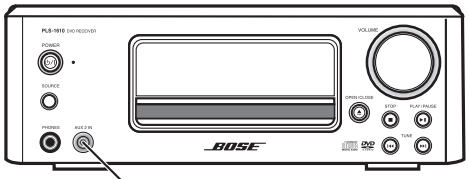
注意

スピーカーコードの芯線部分がスピーカー端子内部の金属部分に確実に接触するように差し込み具合を確かめてください。差し込みが不完全だったり、差し込みすぎて被覆の部分で締めつけたりするとスピーカーから音が出ません。また、スピーカーコードの芯線からはみだしたりして、他の端子に接触しないように注意してください。

スピーカーシステムの接続について

正面からみて左側に置くスピーカーをL端子に、右側に置くスピーカーをR端子に接続してください。また、PLS-1610のスピーカー端子とスピーカーは、必ず同じ極性(⊕と⊕、⊖と⊖)を接続してください。左右いずれかの極性を間違えて接続すると、中央の音が抜けたようになり楽器の位置がはっきりせず、ステレオの方向感を損なうばかりでなく、低音が出にくくなりますのでご注意ください。詳しくはスピーカーの取扱説明書をご覧ください。





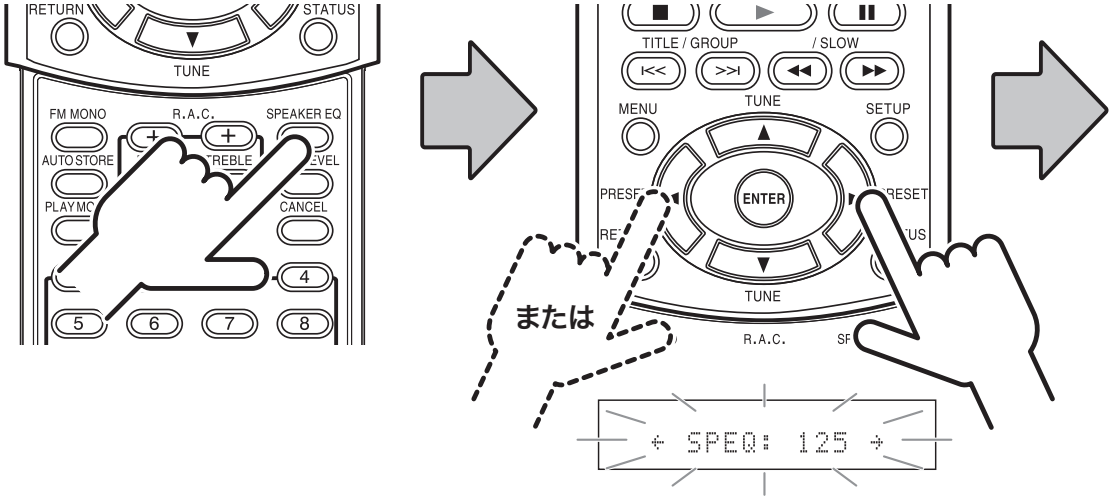
ポータブルオーディオプレーヤーなど

市販のφ3.5ミニステレオプラグ付ケーブル

※使い方は55ページを参照

●スピーカーイコライザーの設定

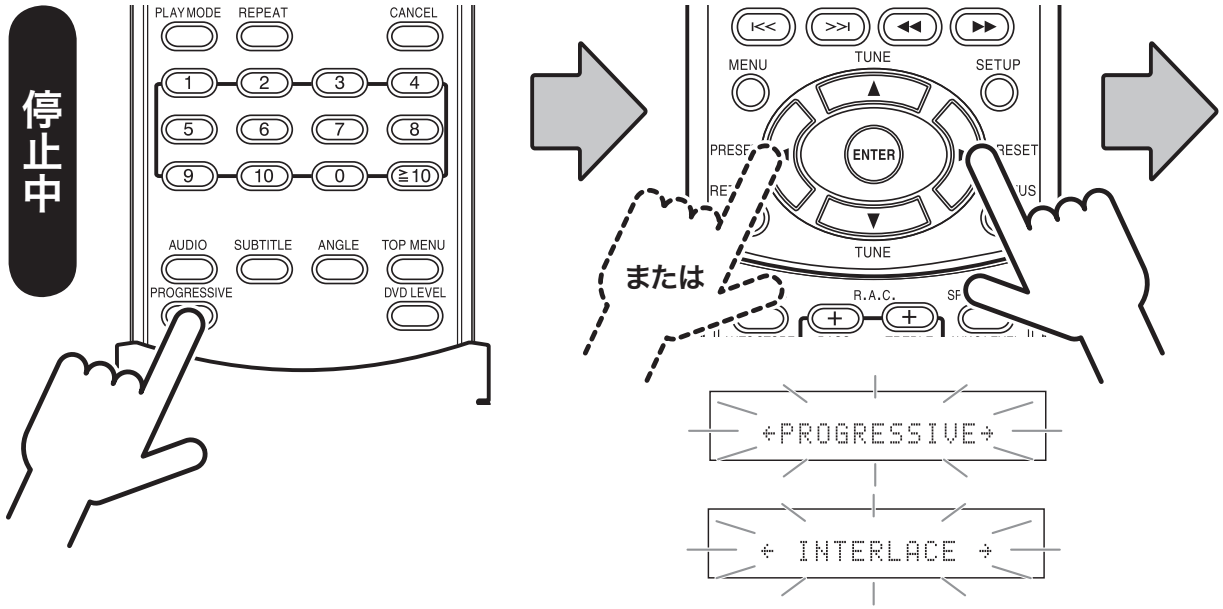
ボーズ社125スピーカーと接続する場合、SPEAKER EQを125に設定します。



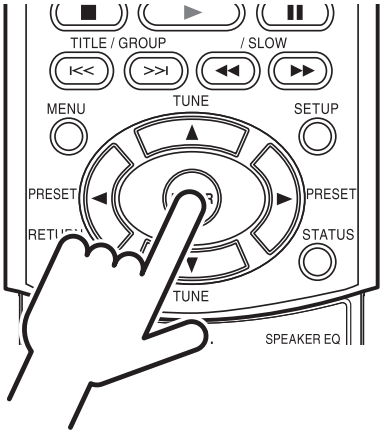
●映像方式の設定のしかた

通常は「INTERLACE」（インターレース）でご使用ください（初期設定）。D端子ビデオコードでテレビのD2～D4端子と接続するときに「PROGRESSIVE」（プログレッシブ）を選ぶと、より高精細な映像を再現することができます。

テレビに合った映像信号を選ぶ

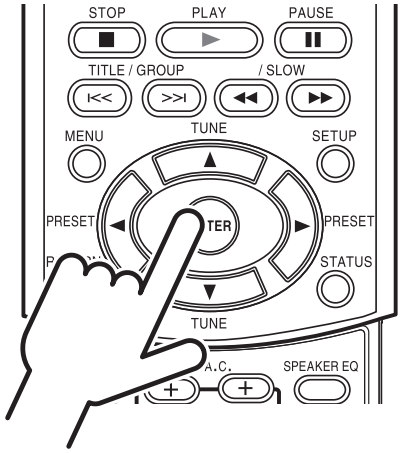


決定



125以外のスピーカーと接続する場合は「OTHERS」を選びます。

決定



●ビデオコード（付属品）で接続する場合

VIDEO OUT COMPOSITE端子と付属のビデオケーブルでテレビと接続します。映像信号方式を「**INTERLACE**」（インターレース）に設定してください。

●Sビデオコード（市販）で接続する場合

VIDEO OUT S1/S2端子と市販のS映像ケーブルでテレビと接続します。映像信号方式を「**INTERLACE**」（インターレース）に設定してください。本機のS映像出力端子は、S1およびS2映像信号に対応しています。S映像信号にフルモード（縦長の映像）を自動判別するために識別信号を合わせた信号です。接続したテレビがS1またはS2映像信号対応機器のとき、この信号を検知すると自動的に画面サイズを変更します。

●D端子用ビデオコード（市販）で接続する場合

VIDEO OUT D2端子と市販のD端子映像ケーブルでテレビと接続します。お使いのテレビの端子に合わせて、映像信号方式を設定してください。

- D1端子のときは「**INTERLACE**」（インターレース）に設定してください。
- D2～D4端子のときは「**PROGRESSIVE**」（プログレッシブ）に設定してください。
- 本機のD映像信号は、D2信号まで出力します。
- 本機は、D1～D4映像入力を持つテレビと接続できます。

準 備 アンテナの接続(FM放送用)

付属の室内アンテナ
市販の屋外アンテナ

アンテナの接続は雑音低減のため、システムの背面から離して設置してください。

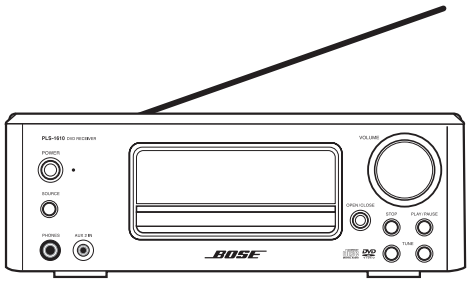
アンテナを接続しないと放送は受信できません。FM放送を良好に受信するために、FM専用の屋外アンテナを使用することをおすすめします。

※屋外アンテナを設置する場合
電波の状況は、地域によって異なります。必ず地元の電器店または、電気工事店にご相談ください。

●FMアンテナの接続

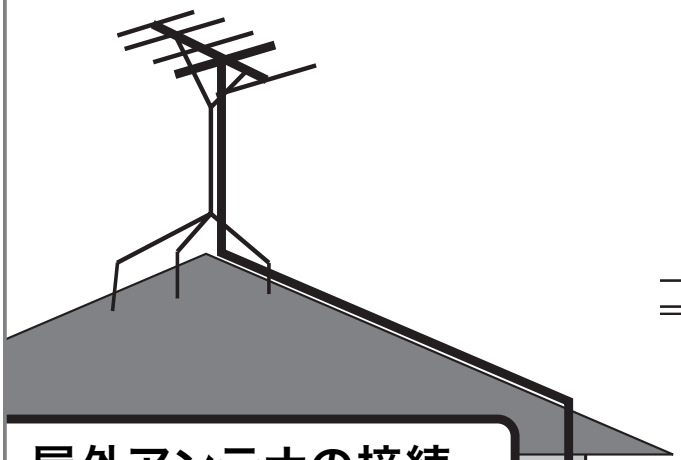
付属のFMアンテナをFM75Ωアンテナ端子に接続します。アンテナは先端を延ばし、放送を聴きながら受信が最良になるようにアンテナの方向を決めて、天井や壁に固定してください。このときアンテナの位置が低いと、人が通るたびに受信が不安定になります。

※付属のFMアンテナは屋外アンテナを立てるまで暫定的にFM放送を受信するためのものです。使用する場所によって、十分な感度が得られない場合があります。音質が良く雑音の少ない受信をするためには、屋外アンテナをご使用することをおすすめします。



最も受信状態の良い位置と方向にまっすぐ伸ばしてください。

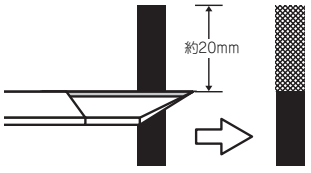
●市販のアンテナアダプターと75Ω同軸ケーブルの接続方法



屋外アンテナの接続

アンテナアダプターはお使いになる同軸ケーブルの太さによって異なります。同軸ケーブルの太さにあったアンテナアダプターをお求めください。

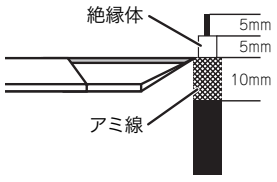
①



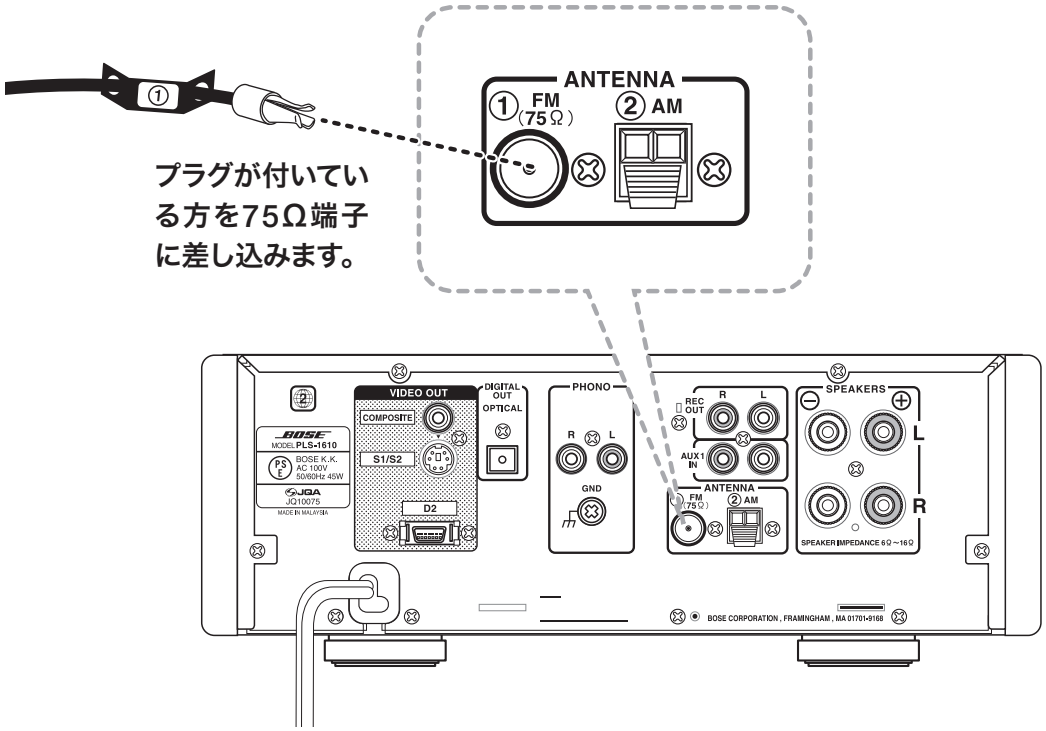
外の被覆をナイフなどで約20mm切り取ります。

注意 ナイフでケガをしないようにご注意ください。

②



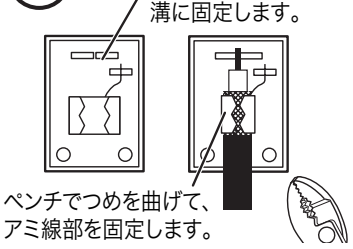
同軸ケーブルを図のように加工します。



注意

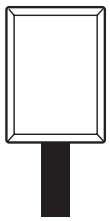
屋外アンテナを設置する場合は、必ず地元の電器店など専門の業者にご相談ください。確実に固定されないと、アンテナが外れたり、落下して事故になるおそれがあります。

③



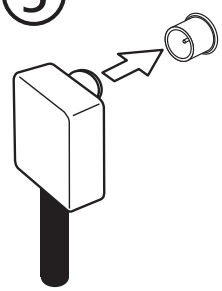
アンテナアダプターを開け、同軸ケーブルを取付けます。

④



アンテナアダプターのフタをしめます。

⑤

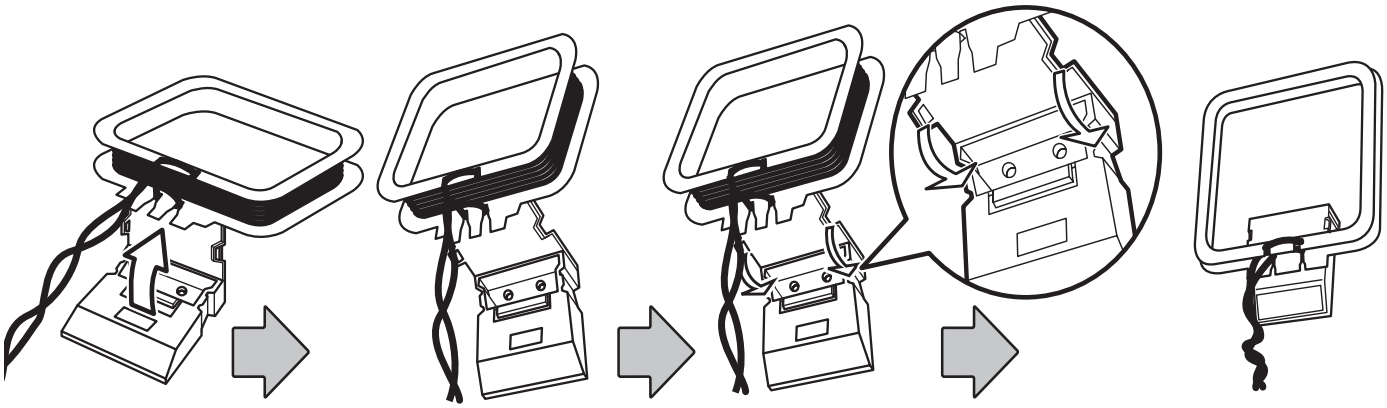


アンテナ端子に取り付けます。

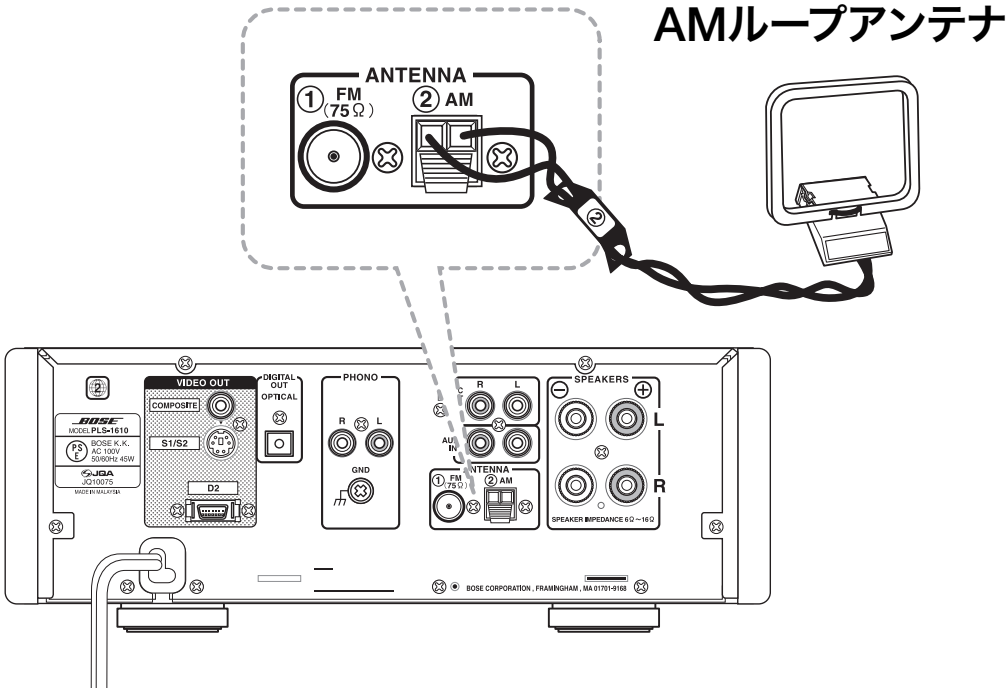
アンテナの接続(AM放送用)

●AMループアンテナの組み立ておよび取り付け

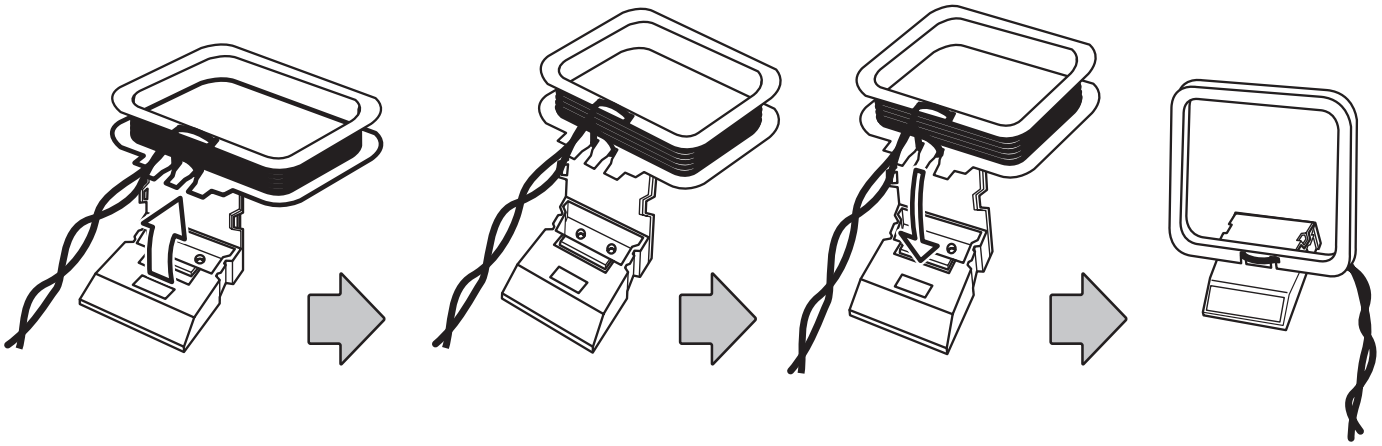
柱などに固定する場合



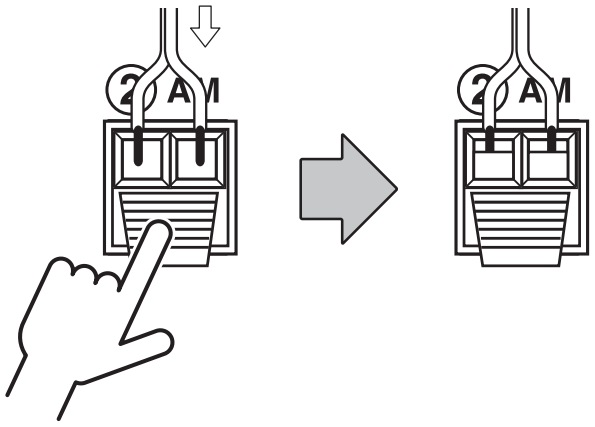
●AMアンテナ端子の接続方法



棚や台などに固定する場合



固定レバーを指で下に押しながら
コードの先端を差し込みます。

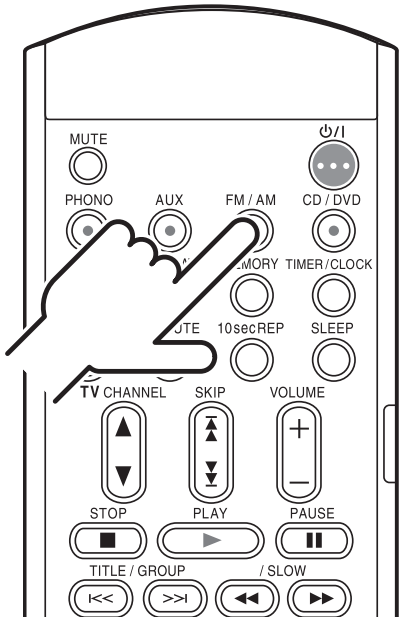


ループアンテナは放送を聴きながら最良の受信状態になる場所をさがして設置してください。受信状態は設置する向きによっても変わりますので、最良の受信状態になる向きにしてください。AMループアンテナを次のような場所に設置すると受信状態が悪くなります。

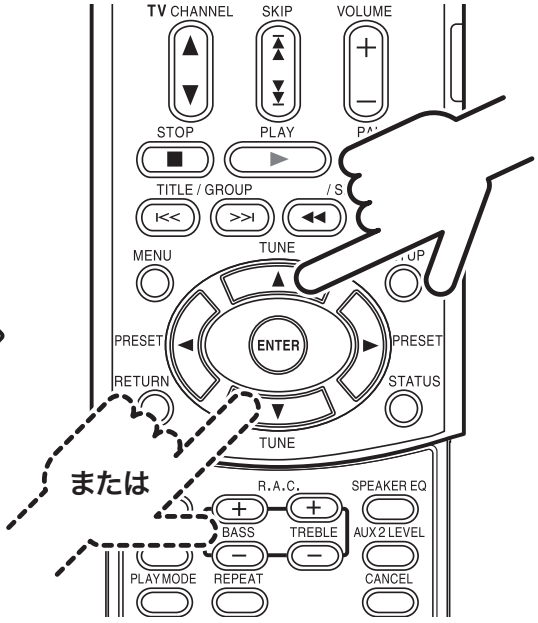
⃠電源コードやスピーカーコードの近く。
⃠本機の上や後ろやビデオデッキ、テレビの近く。
⃠蛍光灯の近く。

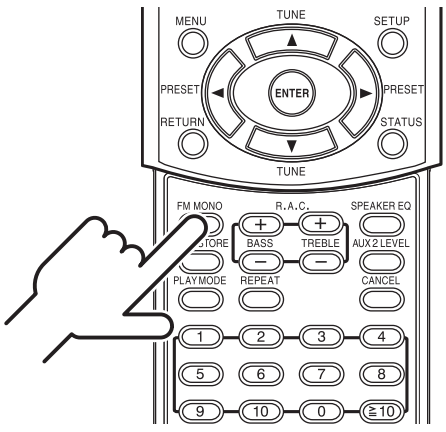
●FM放送、AM放送を楽しむ

① FMまたはAMを選ぶ



② 放送局を選ぶ



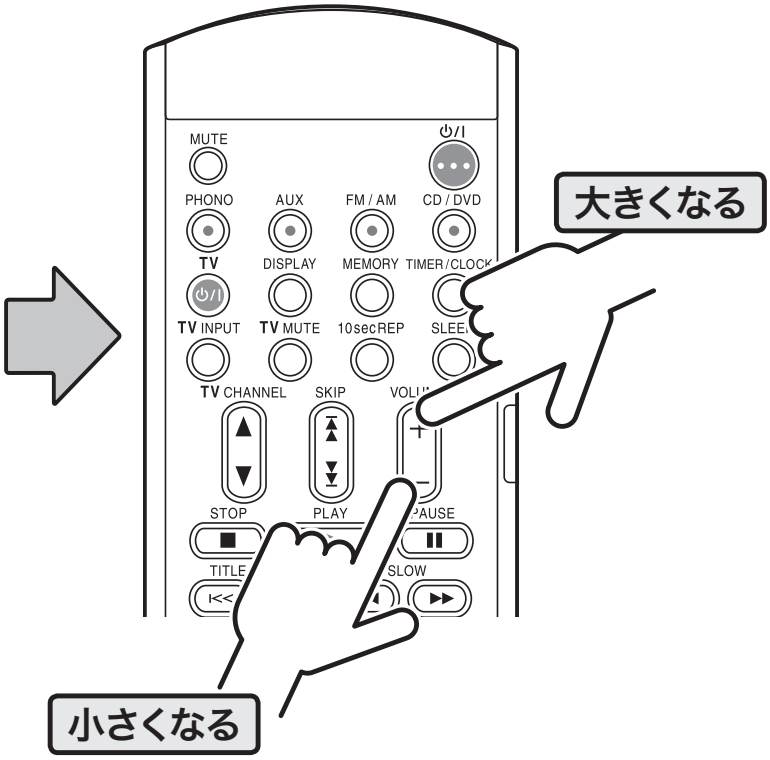


●FMの電波が弱いあるいは雑音が多い、AM放送で“ビートノイズ”が気になる場合

FMステレオ放送が雑音で聴きにくいとき、FM MONOキーを押し、音声をモノラルにすると聴きやすくなることがあります。もう一度FM MONOキーを押すとステレオ受信に戻ります。

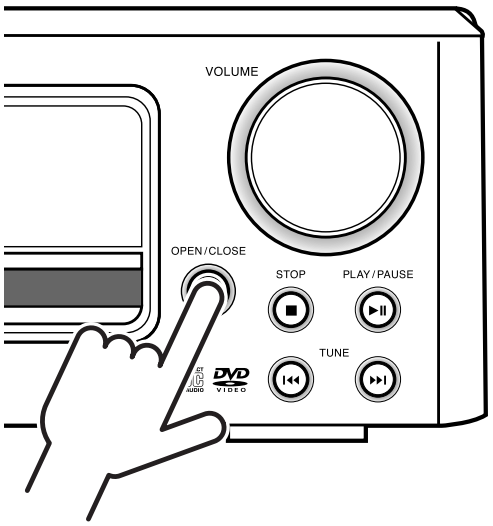
AM放送の“ビートノイズ”（ピーというノイズ）が気になるときにこのキーを押すことで、軽減される場合があります。

③ 音量

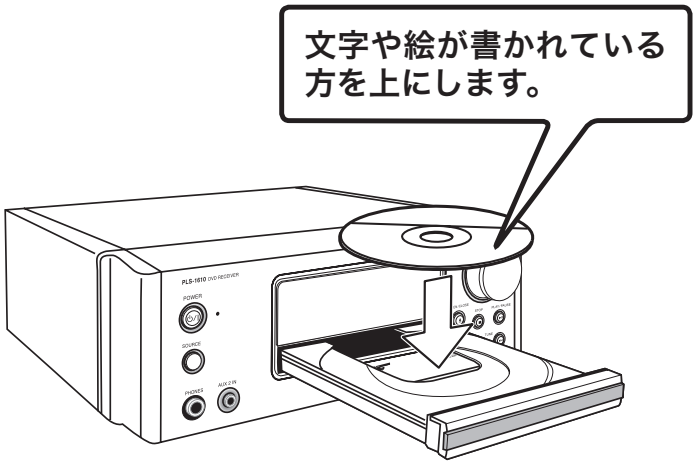

大きくなる
小さくなる
MUTE
PHONO
AUX
FM / AM
CD / DVD
TV
DISPLAY
MEMORY
TIMER/CLOCK
TV INPUT
TV MUTE
10secREP
TV CHANNEL
SKIP
STOP
PLAY
TITLE
SLOW

●CD／DVDを楽しむ

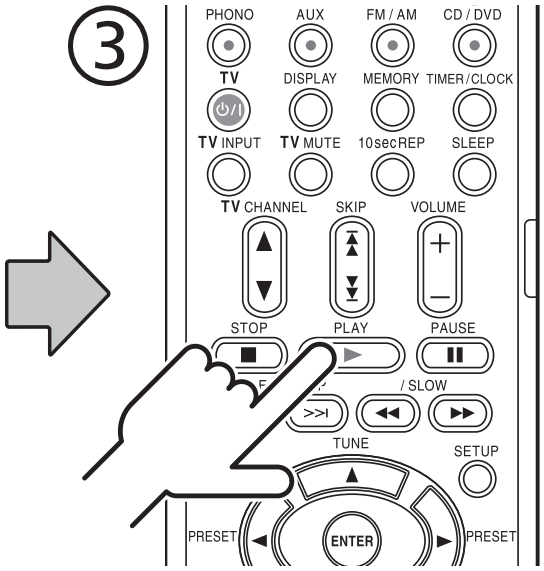
①

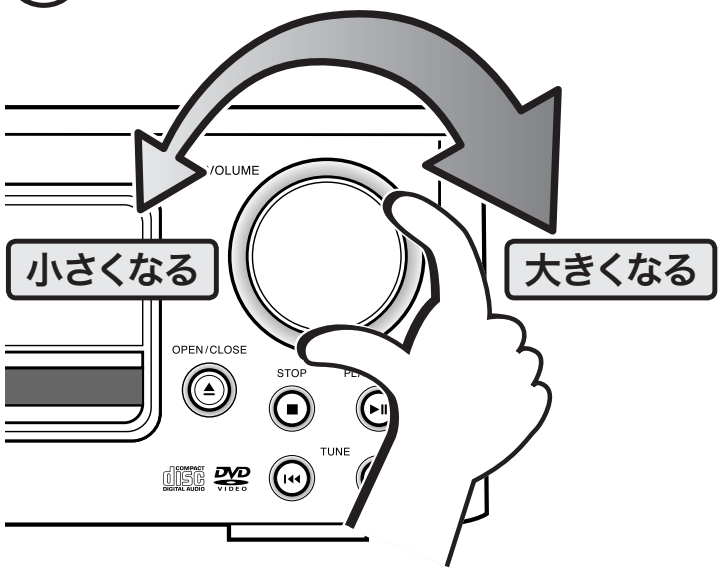


② ディスクを入れる



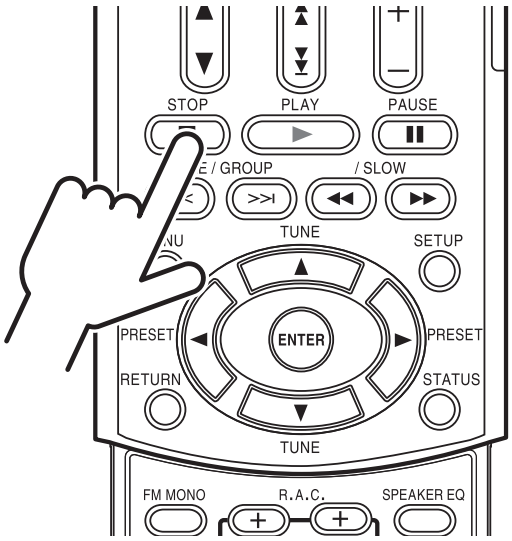
ディスクは、レーベル面を上にしてセットしてください。8cmシングルは内側のディスクガイドにセットしてください。ディスクを2枚以上重ねて置いたり、ディスク以外のものをトレーの上に置いたりしないでください(82ページ参照)。





●停止する

再生中



あとで続きを再生する（リジューム）

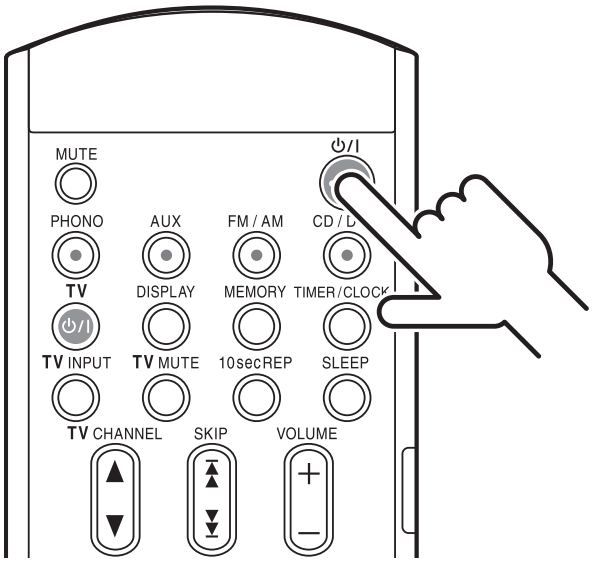
STOPキーを1回押すと、表示部に「 ***　RESUME」が点灯し、ディスクが停止します。

PLAYキーを押すと、前回停止させた近辺から再生を始めます（リジューム再生）。

リジューム再生を解除するには、リジューム中にSTOPキーを1回押して停止させるか、ディスクトレーを開けます。

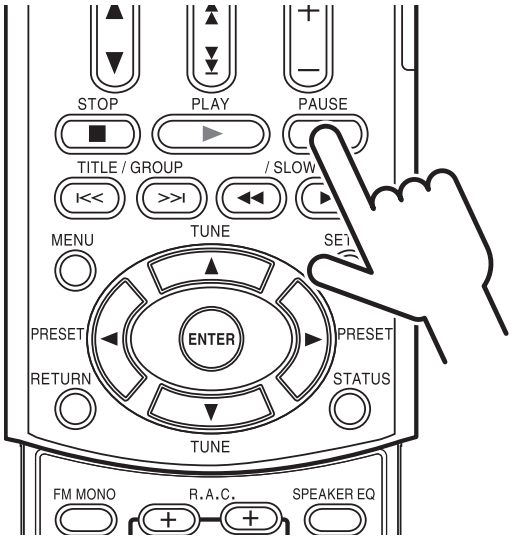
- ●音楽CD、JPEGファイルが記録されているCDではリジューム再生機能は働きません。
- ●プログラム再生やランダム再生ではリジューム再生機能は働きません。
- ●ディスクのメニューが表示されているときは、リジューム再生機能が働かないこともあります。
- ●工場出荷時の設定はリジュームが「オン（リジュームする）」になっています。「オフ（リジュームしない）」に設定することもできます（29ページ参照）。

●電源を切るには

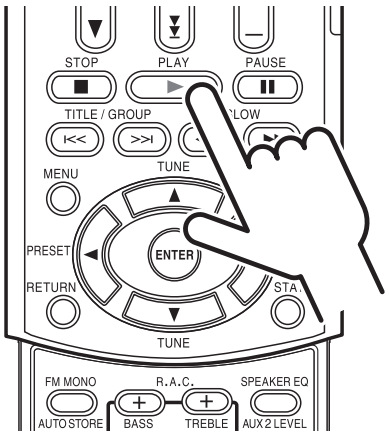


●一時停止する

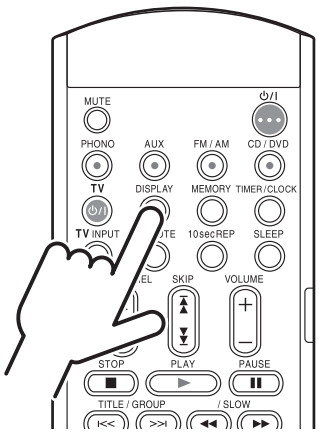
再生中



元に戻すには



ECONOMY MODE（エコノミーモード）について

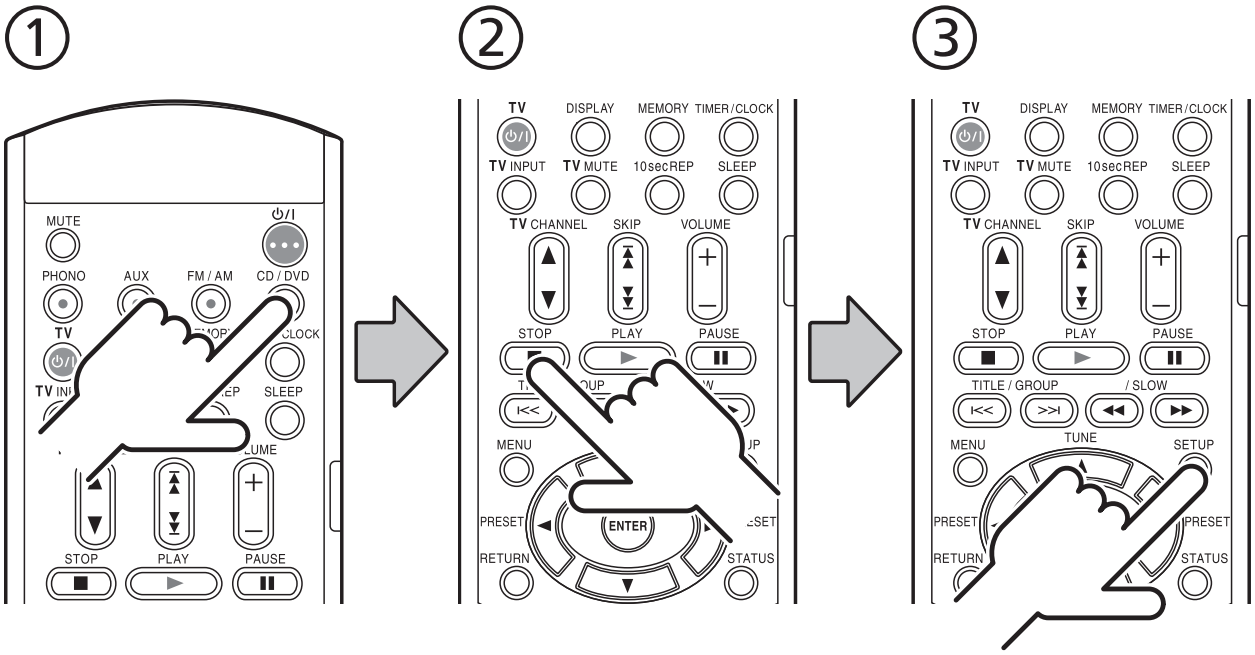


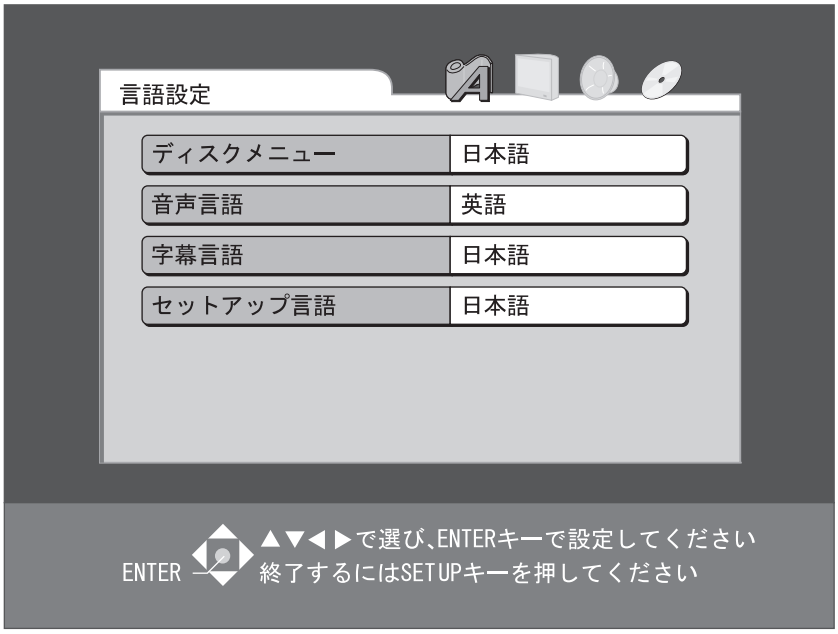
スタンバイ時に時計の表示を消灯することもできます。（ECONOMY MODE ／エコノミーモード）

ECONOMY MODEと表示されて消灯します。もう一度押すと時計の表示に戻ります。

DVDを楽しむために

●システム設定画面について

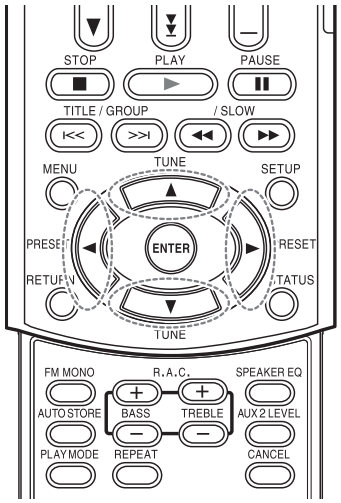




設定については画面に表示される説明と「用語の説明」(84〜85ページ)を見ながら行ってください。

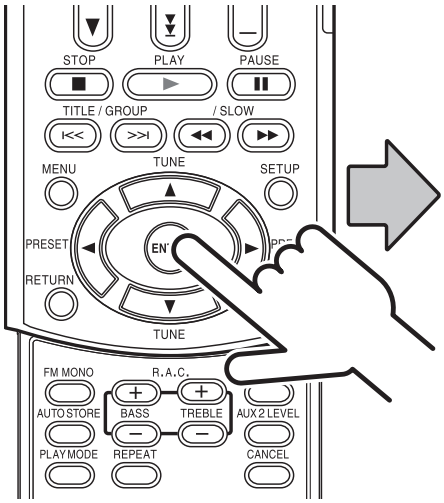
設定項目および内容を変更するには

①

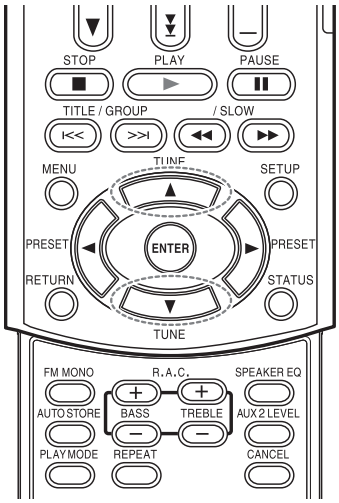


▲または▼キーで項目変更、
◄または►キーで各設定を
行います。

②

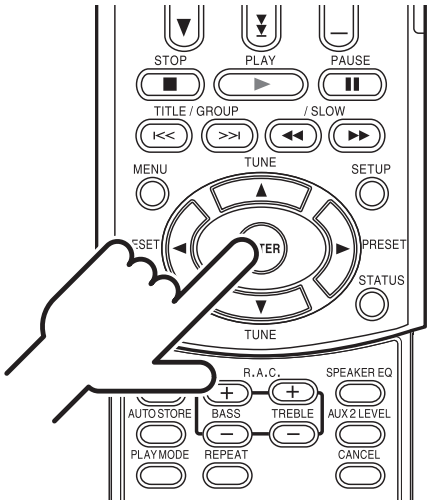


③

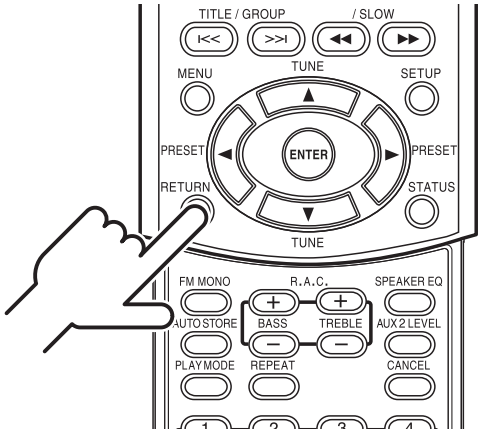


▲または▼キーで項目変更

④ 決定

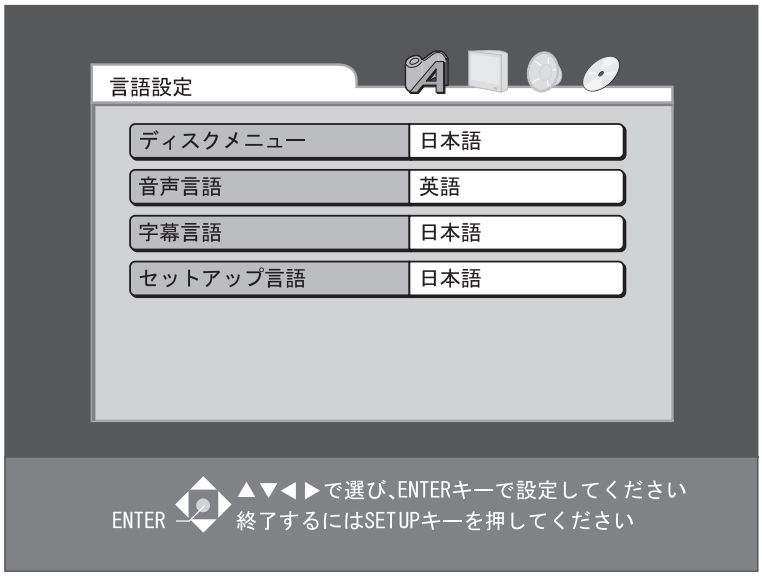


途中で止めるには



DVDを楽しむために

●言語設定画面

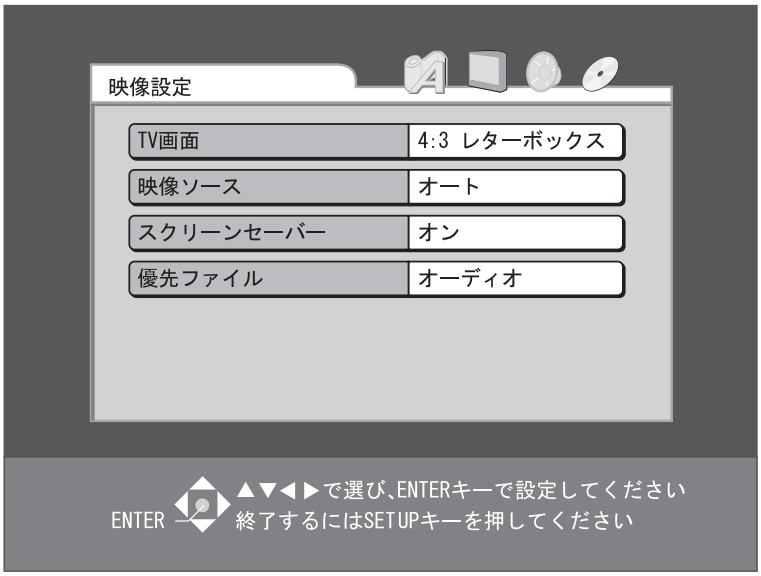


項目	設定	デフォルト	内容
ディスクメニュー	英語／スペイン語／フランス語／中国語／ ドイツ語／イタリア語／日本語／ロシア語／…	日本語	DVDビデオのメニューの言語を選びます。
音声言語	英語／スペイン語／フランス語／中国語／ ドイツ語／イタリア語／日本語／ロシア語／…	英語	DVDビデオの音声の言語を選びます。
字幕言語	オフ／英語／スペイン語／フランス語／中国語／ドイツ語／ イタリア語／日本語／ロシア語／…	日本語	DVDビデオの字幕の言語を選びます。
セットアップ言語	日本語／英語	日本語	設定画面に表示される言語を選びます。

●選んだ言語がディスクに収録されていないときは、そのディスクに最適な言語で表示されます。

●「AA」などの言語コードについては、「言語コード一覧（83ページ参照）」をご覧ください。

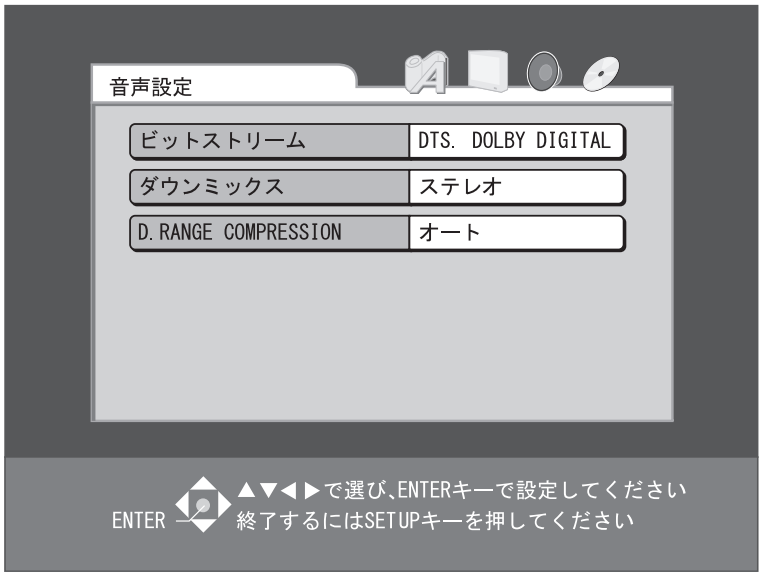
●映像設定画面



項目	設定	デフォルト	内容
TV画面	16:9 ノーマル 16:9 オート 4:3 レターボックス 4:3 パンスキャン	4 : 3 レターボックス	• **ノーマル**：ワイド (16 : 9) のテレビ用。4 : 3の映像の左右に黒い帯が表示されます。 • **オート**：ワイド (16 : 9) のテレビ用。4 : 3の映像の場合、自動的に16 : 9に表示されます。 • **レターボックス**：従来(4 : 3) のテレビ用。横長の映像は上下に黒い帯が表示されます。 • **パンスキャン**：従来 (4 : 3) のテレビ用。横長の映像左右が切り取られます(ディスクがパンスキャン非対応のときはレターボックス表示になります。)。
映像ソース	オート フィルム ビデオ	オート	• **オート**：素材のタイプ（ビデオ／フィルム)を自動的に判断します。 • **フィルム**：フィルム素材またはプログレッシブスキャン方式で記録されたビデオ素材の映像に適しています。 • **ビデオ**：ビデオ素材の映像に適しています。
スクリーンセーバー	オン／オフ	オン	スクリーンセーバー※のオン／オフを選びます。
優先ファイル	オーディオ 静止画 ビデオ	オーディオ	1枚のディスクに異なる種類のファイルが複数記録されているときに、どの種類のファイルを再生するか選びます。 • **オーディオ**：音楽ファイルを再生します。 • **静止画**：JPEGファイルを再生します。 • **ビデオ**：MPEG1 ／ MPEG2ファイルを再生します。

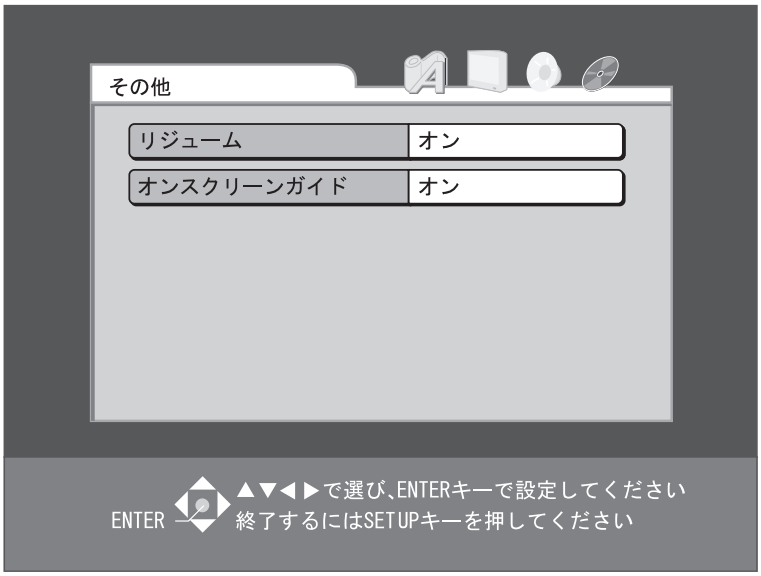
※スクリーンセーバーは静止画が表示されてから約5分操作がないときに動作します。

●音声設定画面

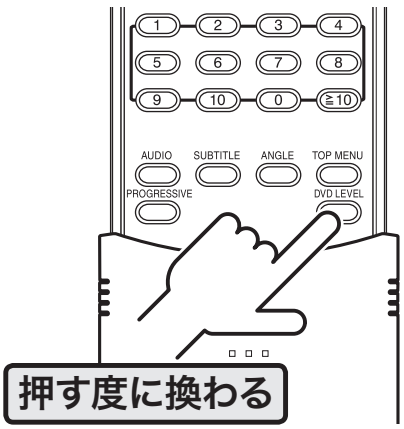


項目	設定	デフォルト	内容
ビットストリーム	リニアPCMのみ DOLBY DIGITAL DTS.DOLBY DIGITAL	DTS.DOLBY DIGITAL	デジタル出力端子に接続する機器（AVアンプなど）に合わせて出力信号の種類を次から選べます。 ・**リニアPCMのみ**：リニアPCMのみに対応している機器。 ・**DOLBY DIGITAL**：ドルビーデジタルデコーダーまたは同機能を持つ機器。 ・**DTS.DOLBY DIGITAL**：DTS／ドルビーデジタルデコーダーまたは同機能を持つ機器。
ダウンミックス	ドルビーサラウンド ステレオ	ステレオ	接続した機器に合わせて、デジタル出力端子からの信号を切り換えます。「デジタルアウト」を「PCMのみ」にしているとき設定します。 ・**ドルビーサラウンド**：ドルビープロロジックデコーダー内蔵の機器。 ・**ステレオ**：通常の機器。
D.RANGE COMPRESSION	オート／オン	オート	小音量で再生したとき、大きな音と小さな音の聞こえ方の差を補正します（ドルビーデジタルで収録されたDVD のみ）。 ・**オート**：ディスクの情報に従ってDレンジコンプレッションが自動的に働く。 ・**オン**：Dレンジコンプレッションが常に働く。

●その他設定画面



項目	設定	デフォルト	内容
リジューム	オン/オフ	オン	オン/オフを選ぶ (22ページ参照)
オンスクリーンガイド	オン/オフ	オン	オン/オフを選ぶ (61ページ参照)



●DVDレベルについて

ご覧になるDVDの音声レベルを3段階で切り換えることができます。

他のソース(CD、ラジオ)と比べてDVDの音声が

・小さいとき…HIGH(ハイ)を選びます

・大きいとき…NOR(ノーマル)を選びます

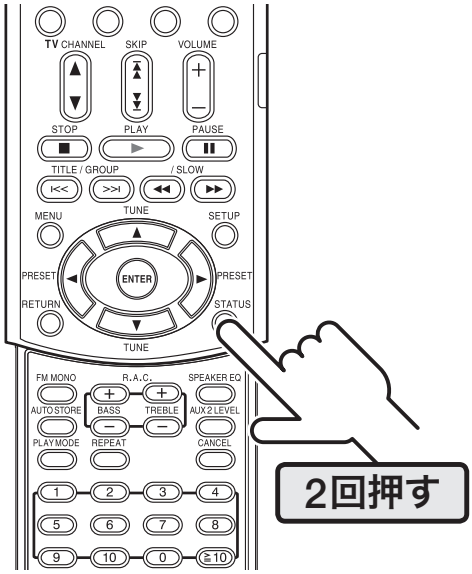
※初期設定はMIDです。

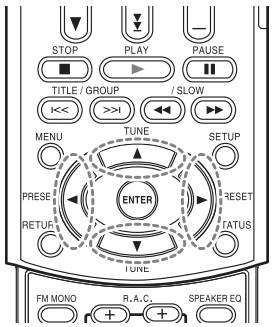
メニューバーで操作する

●メニューバーの表示

テレビ画面の上方にメニューバーを表示して操作することができます。

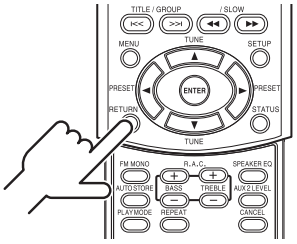
再生中





◄または►キーで項目に移動して、ENTERキーで選択します。次に▲または▼キーあるいは数字キーで各設定を行い、ENTERキーで確定します。

途中で止めるには

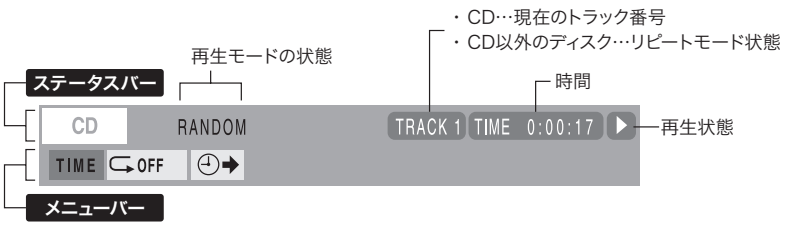


●DVDビデオ・DVD VRの場合

例：DVDビデオ

●CD・WAVE・MP3・WMA・MPEG1・MPEG2 ディスクの場合

例：CD



※CD以外は、メニューバーが表示されません。

メニューバー機能一覧

TIME **時間表示選択**	DVDプレーヤーの表示窓とステータスバーに表示される時間情報のモード選択。ENTERキーを押す度にモードが切り換わります。 **DVDビデオの場合** TOTAL …タイトル／グループの経過時間 T.REM …タイトル／グループ残り時間 TIME …チャプター／トラックの経過時間 REM …チャプター／トラックの残り時間 **DVD VRの場合** TOTAL …タイトル／グループの経過時間 T.REM …タイトル／グループ残り時間 **CDの場合** TOTAL …ディスクの先頭からの経過時間 T.REM …ディスクの残り時間 TIME …トラックの経過時間 REM …トラックの残り時間
OFF **リピートモード**	48〜51ページを参照。
タイムサーチ	メニューバーを表示して、を選んでENTERキーで決定します。次に数字キーを使って時間を入力します（例：0時間23分45秒から再生する場合：0 ➡ 2 ➡ 3 ➡ 4 ➡ 5 ）。ENTERキーを押して入力を決定します。
CHAP.➡ **チャプターサーチ …DVDビデオ ／DVD VR**	チャプターを選ぶ。数字キーを押してチャプター番号を入力し、ENTERキーを押します。 **例 5:** 5 **10:** 1 ➡ 0 **24:** 2 ➡ 4
1/1 **音声 …DVDビデオ**	52ページを参照。
1/2 **字幕 …DVDビデオ**	52ページを参照。
1/1 **アングル …DVDビデオ**	54ページを参照。

●ディスク再生の前に

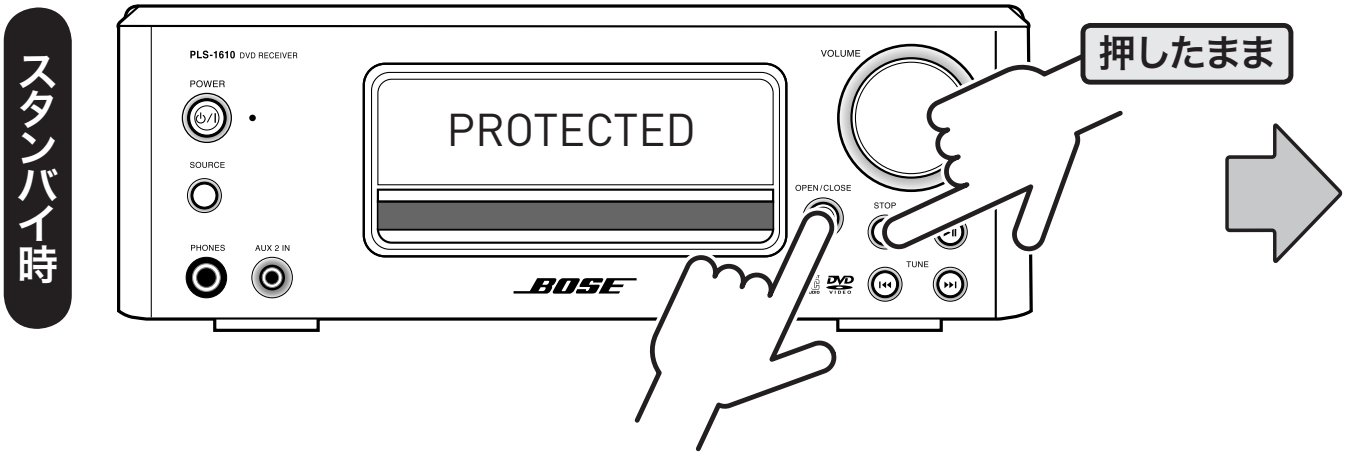
ディスク/ファイルの種類によって操作の方法や使える機能が異なります。この項ではその機能に対応するディスク/ファイルの種類を右表のマークを使って表示しています。

DVDビデオ	市販のDVDビデオディスクまたは、DVDビデオ形式で作成したDVD-R、DVD-RWなどのディスク。
DVD VR	DVD-VR方式で保存されているDVD-R、DVD-RWディスク。
CD	市販の音楽CD。
WAVE	windowsの音声ファイルの標準的な形式で、WAVファイルとも呼ばれる。
MP3 WMA	MP3フォーマットまたはWMAフォーマットの音楽ファイルが含まれているディスク。
JPEG	JPEG、またはJPGフォーマットの静止画ファイルの含まれているディスク。
MPEG 1 MPEG 2	MPEG-1フォーマットまたはMPEG-2フォーマットの動画ファイルが含まれているディスク。

※上記のそれぞれのフォーマットについては80〜81ページを参照。

●チャイルドロック

DVDプレーヤーに入れたディスクが取り出せないようにロックすることができます。

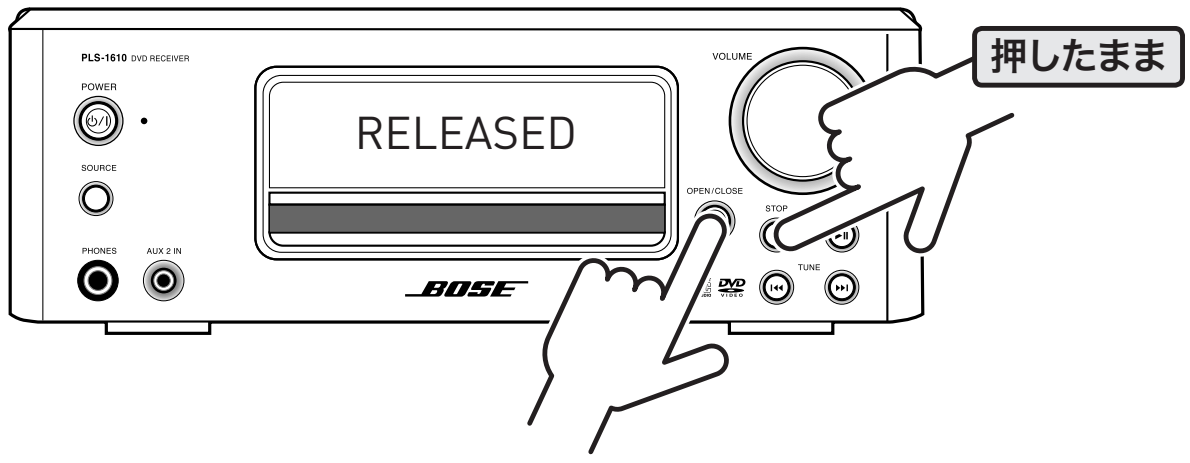


STOPキーを押したままOPEN/CLOSEキーを押します。

チャイルドロック

●解除するにはもう一度、同じ操作をします。

スタンバイ時

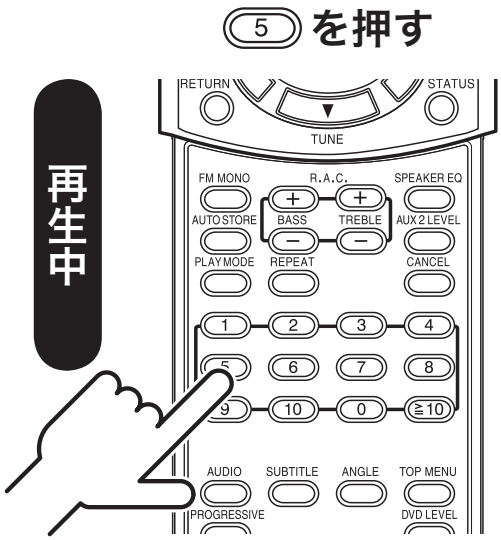


STOPキーを押したままOPEN/CLOSEキーを押します。

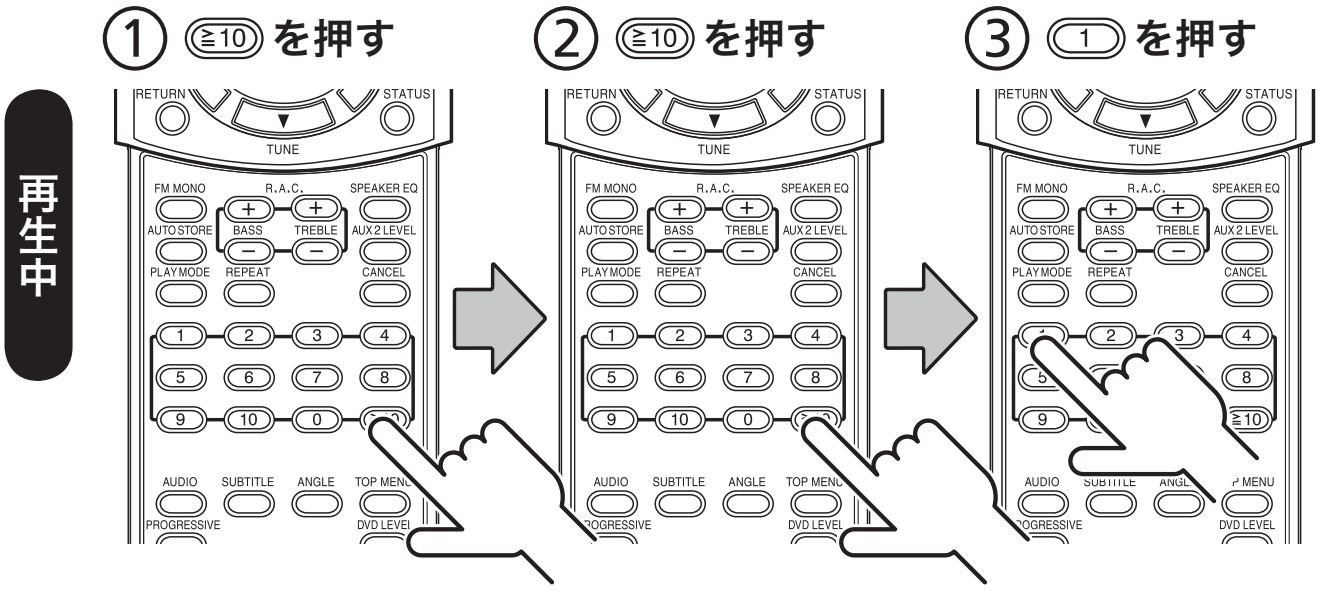
応用操作 数字キーでチャプター／トラックを選ぶ

●例えば 5曲目を選ぶ場合…

DVDビデオ	○
DVD VR	○
CD	○
WAVE	○
MP3 WMA	○
JPEG	○
MPEG 1 MPEG 2	○



●例えば 115曲目を選ぶ場合…



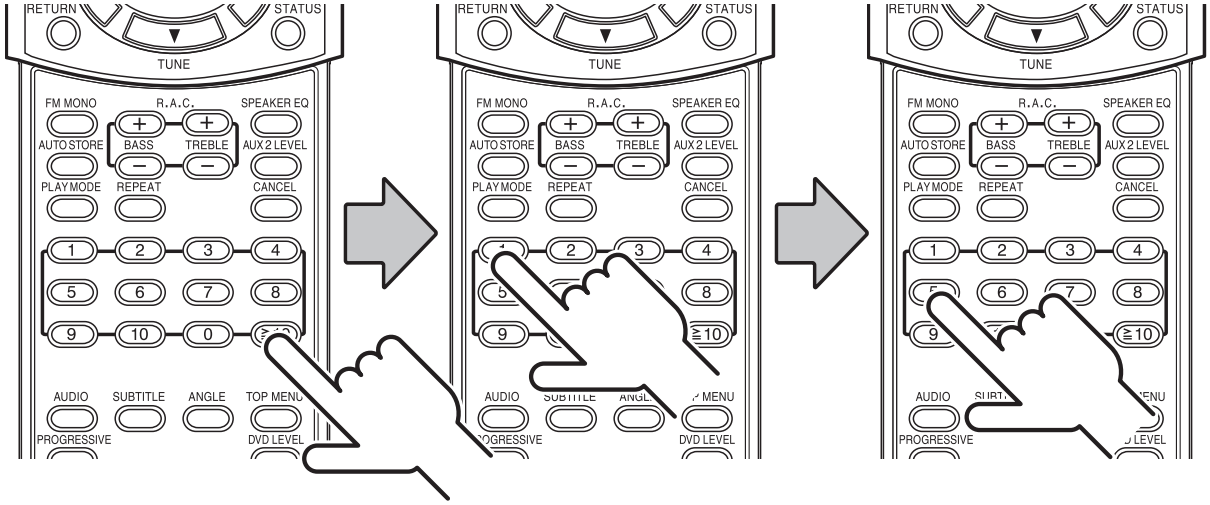
●例えば 15曲目を選ぶ場合…

再生中

① ≧10 を押す

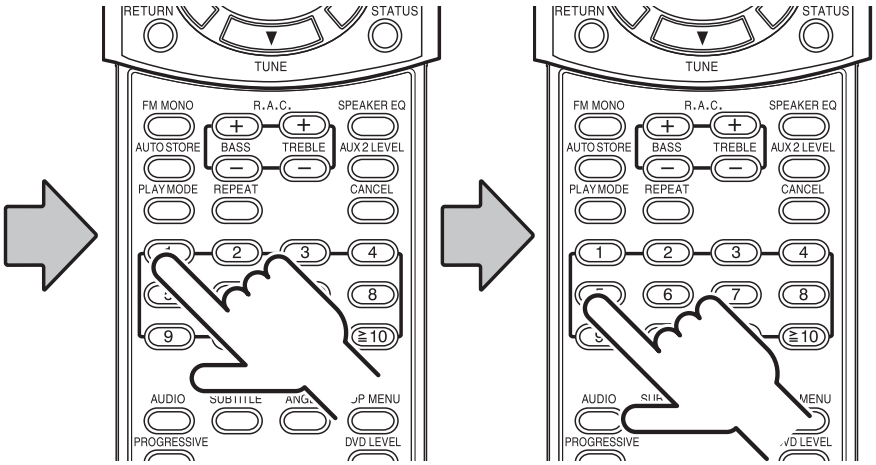
② 1 を押す

③ 5 を押す



④ 1 を押す

⑤ 5 を押す

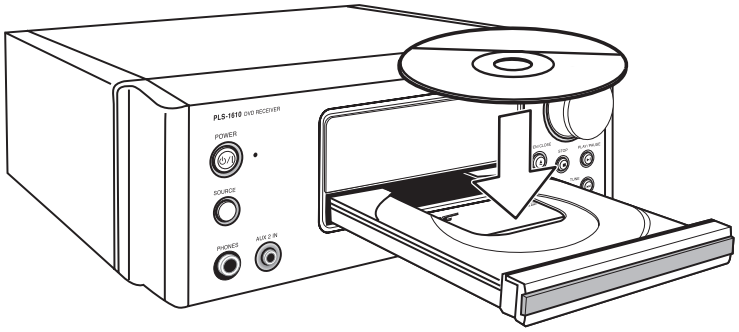


テレビの画面を見ながら選ぶ

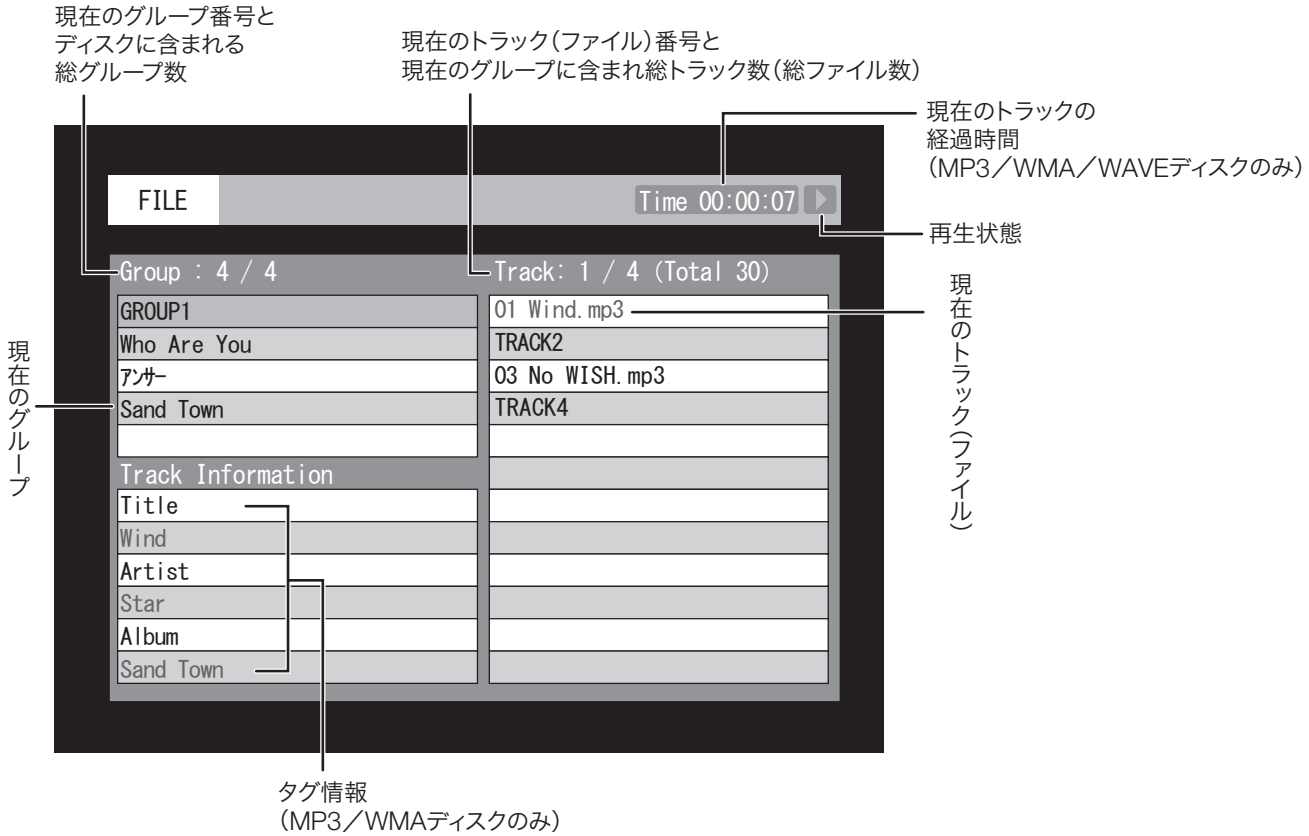
●テレビの画面で選ぶ

DVDビデオ	
DVD VR	
CD	
WAVE	○
MP3 WMA	○
JPEG	○
MPEG 1 MPEG 2	○

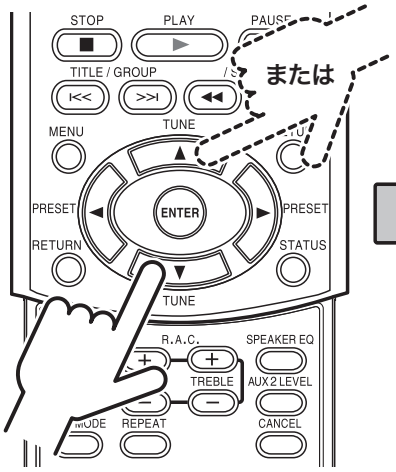
① ディスクを入れる



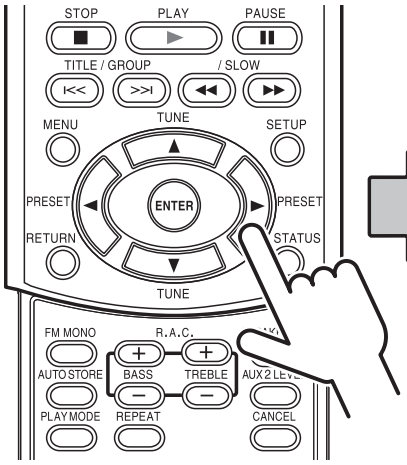
異なるファイルが2つ以上記録されているディスクのときは、どの種類のファイルを再生するかをあらかじめ設定してください（「優先ファイルの設定」27ページ参照）。



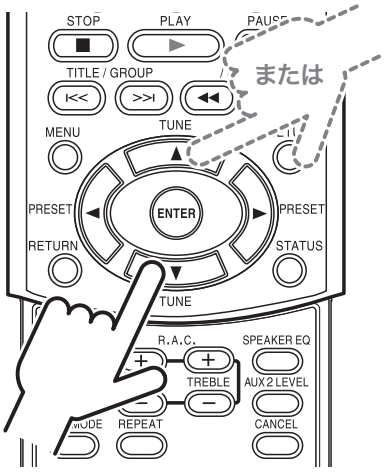
② グループを選ぶ



③



④ トラックを選ぶ (JPEG：ファイル)



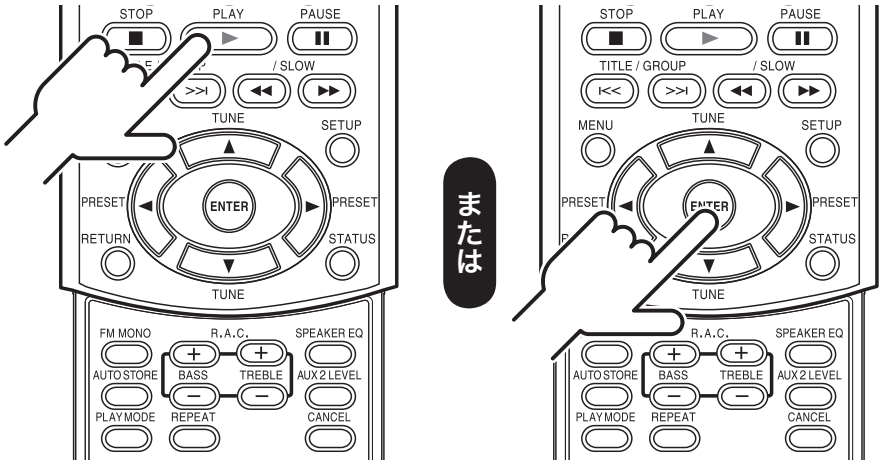
こんな方法も

トラックやファイルを選ぶときは⏮／⏭、たは数字キーで選ぶこともできます。

こんな方法も

トラックやファイルを選ぶときは、または数字キーで選ぶこともできます。

⑤ 再生する



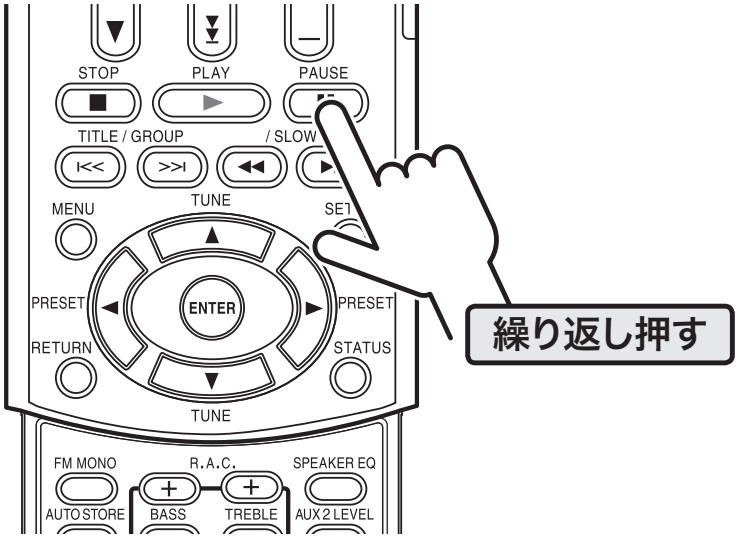
※JPEGディスクでは、▶キーを押すと、そのファイルから連続して再生(スライドショー再生)し、ENTERキーを押すと選んだファイルのみ再生します。スライドショー再生の表示時間は約3秒です。

応用操作 画像を1コマずつ送る／約5分ごとに送る

●画像を1コマずつ送る

DVDビデオ	○
DVD VR	○
CD	
WAVE	
MP3 WMA	
JPEG	
MPEG 1 MPEG 2	○

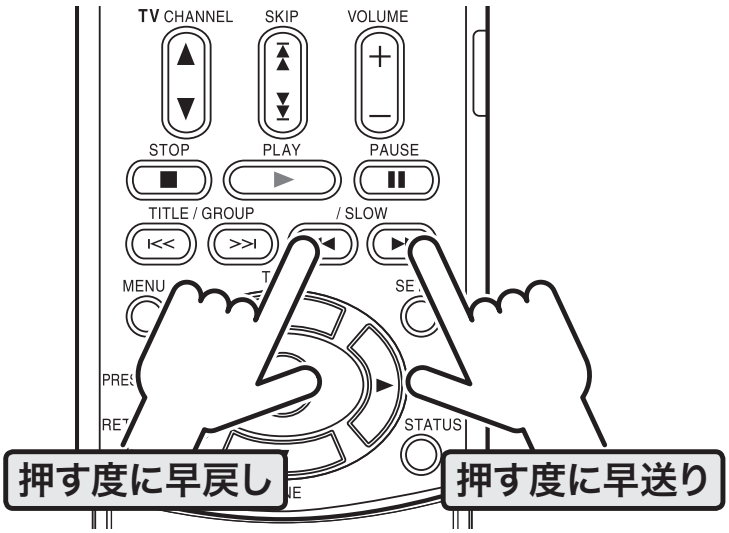
再生中



●早送り／早戻し

DVDビデオ	○
DVD VR	○
CD	○
WAVE	○
MP3 WMA	○
JPEG	
MPEG 1 MPEG 2	○

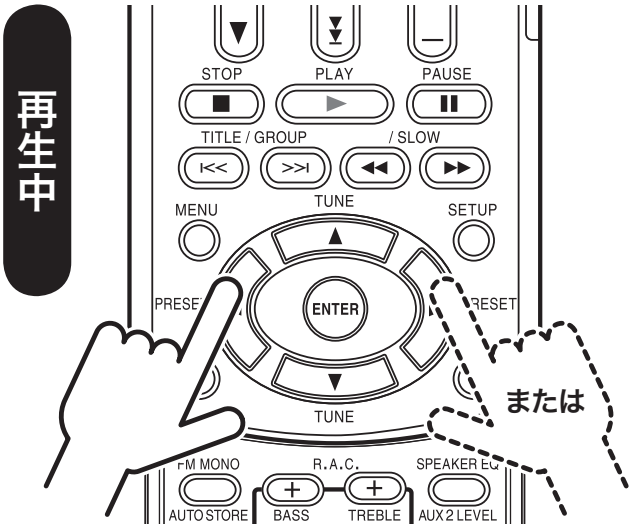
再生中



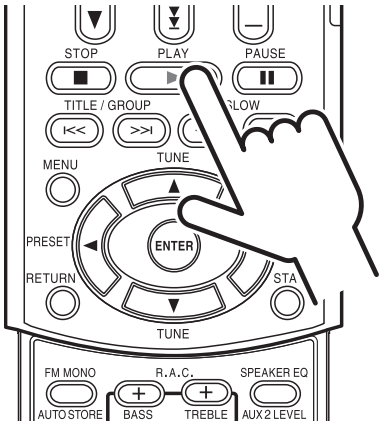
早送り／早戻し

●約5分ごとに送る

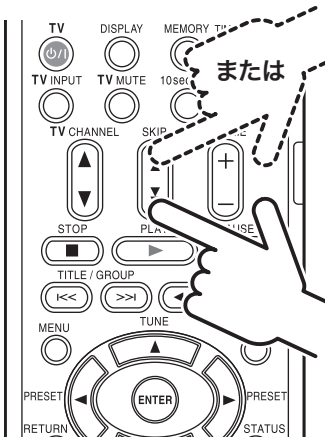
DVDビデオ	
DVD VR	
CD	
WAVE	
MP3 WMA	
JPEG	
MPEG 1 MPEG 2	○



解除するには



こんな方法も



ボタンを押している間だけ
早送り／早戻しします

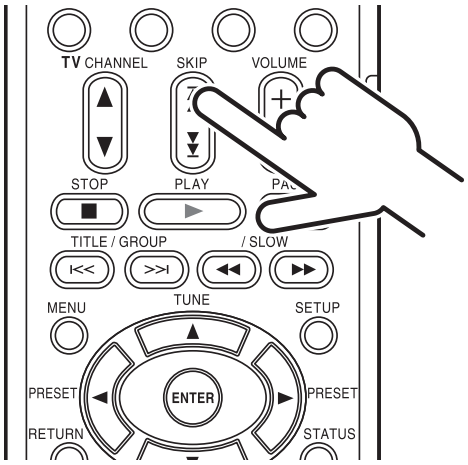
●ディスクによっては、音声が断続的になるものや、出ないものがあります。
●ディスクの種類によって、選べるスピードや表示が異なります。

頭出し

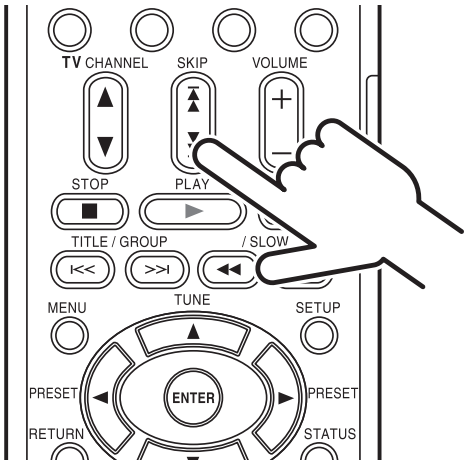
●頭出し

DVDビデオ	○
DVD VR	○
CD	○
WAVE	○
MP3 WMA	○
JPEG	○
MPEG 1 MPEG 2	○

再生中



次のチャプター
／トラック／ファイル

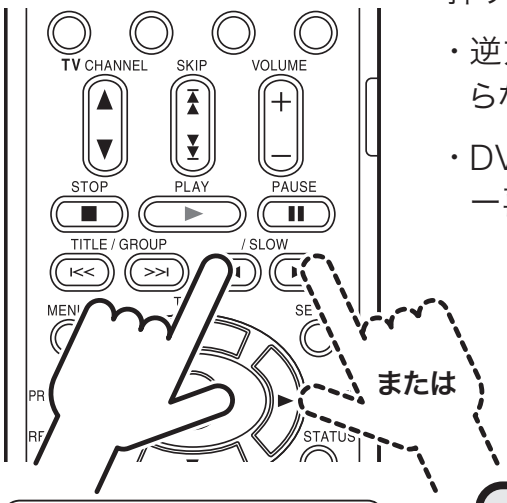


ひとつ前のチャプター
／トラック／ファイル

●スロー再生

DVDビデオ	○
DVD VR	○
CD	
WAVE	
MP3 WMA	
JPEG	
MPEG 1 MPEG 2	

一時停止中



⏸キーを押すと
一時停止、解除するには
▶キーを押します

スロー再生の速度が変化

押す度に、スピードが変わります。

・逆方向では動きがなめらかにならない場合があります。

・DVD VRでは、順方向のみスロー再生ができます。

●スロー再生中には音が出ません

スロー再生／約10秒前から再生し直す

こんな方法も

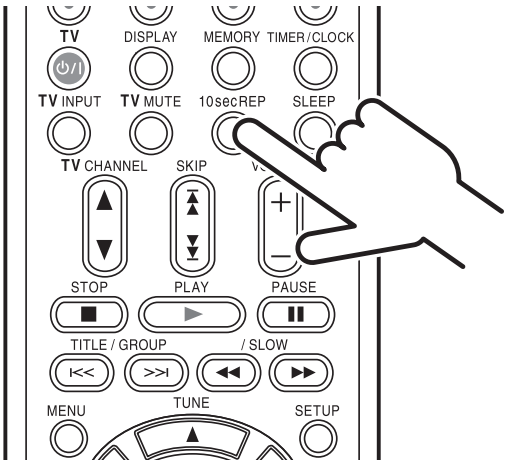
- タイトルやグループを選ぶときは⏭／⏮キーを押します。
- MP3／WMA／JPEG／WAVEディスク再生中は、▲または▽キーを押すと次のファイルが、▼または△キーを押すと一つ前のファイルが再生されます。

- DVDビデオのときを除いて、停止中も操作できます。このとき△または▽キーを使うと、テレビ画面を見ながら頭出しすることができます。
- ディスクによっては、この機能が使えません。

●約10秒前から再生し直す（10sec REP）

DVDビデオ	○
DVD VR	○
CD	
WAVE	
MP3 WMA	
JPEG	
MPEG 1 MPEG 2	

再生中



- ディスクによっては、この機能が使えません。
- 一つ前のタイトルに戻ることはできません。

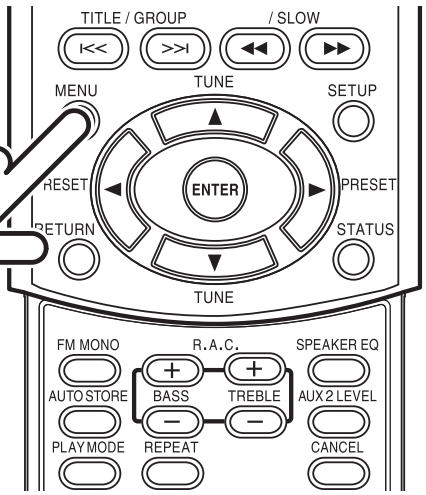
メニューから選ぶ①

●メニューから選ぶ①

DVDビデオ	○
DVD VR	
CD	
WAVE	
MP3 WMA	
JPEG	
MPEG 1 MPEG 2	

再生中または一時停止中

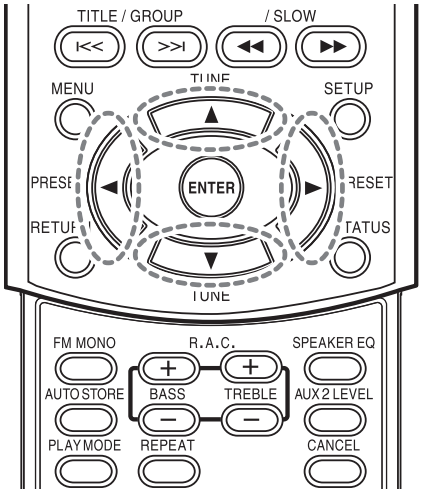
①



ディスクのメニュー画面が表示される。

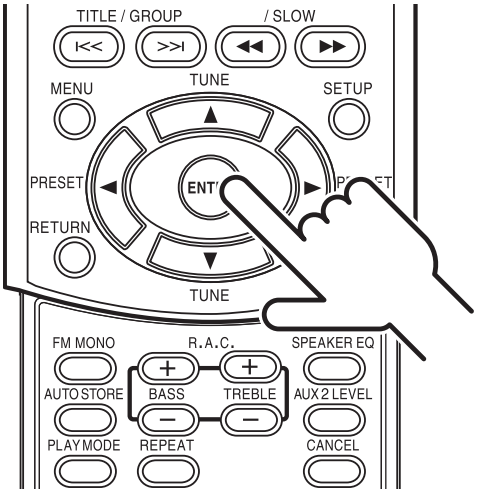
※メニュー画面が収録されていないディスクでは操作できません。

② メニューを選ぶ



※ディスクによっては数字キーを
使って選ぶことができます。

③ 決定



※ディスクによってはENTERキーを
押さなくても再生が始まります。

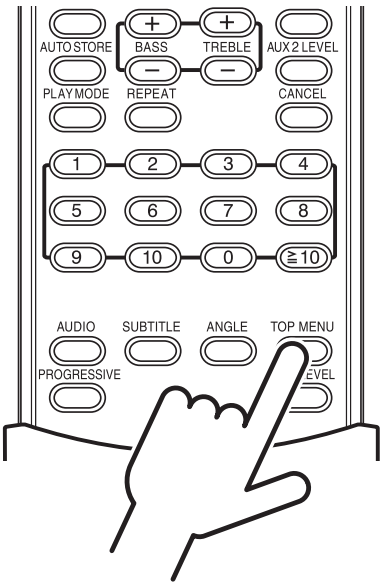
メニューから選ぶ②

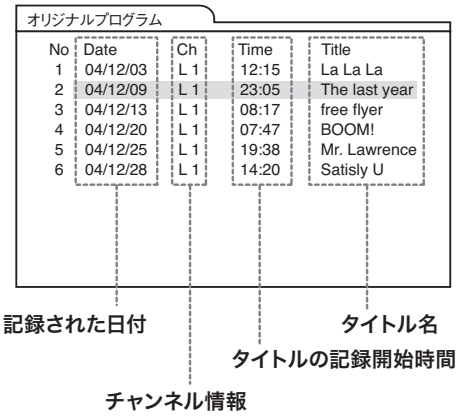
●オリジナルプログラムから選ぶ場合

♪：選んだタイトルから連続して再生。

DVDビデオ	
DVD VR	○
CD	
WAVE	
MP3 WMA	
JPEG	
MPEG 1 MPEG 2	

再生中または一時停止中



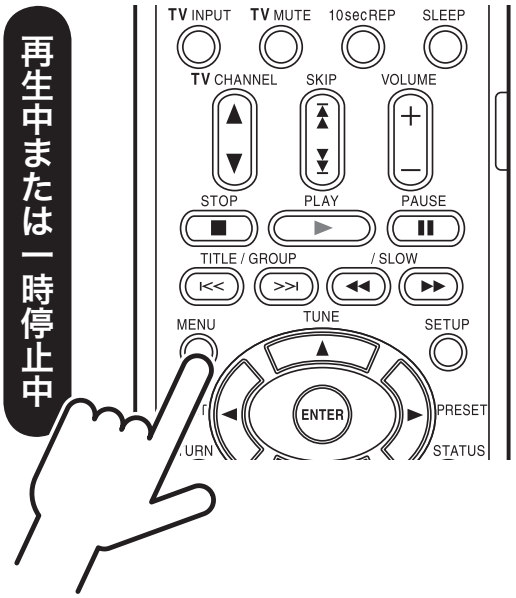

オリジナルプログラム
No Date Ch Time Title
1 04/12/03 L 1 12:15 La La La
2 04/12/09 L 1 23:05 The last year
3 04/12/13 L 1 08:17 free flyer
4 04/12/20 L 1 07:47 BOOM!
5 04/12/25 L 1 19:38 Mr. Lawrence
6 04/12/28 L 1 14:20 Satisly U
記録された日付
チャンネル情報
タイトルの記録開始時間
タイトル名

●プレイリストから選ぶ場合

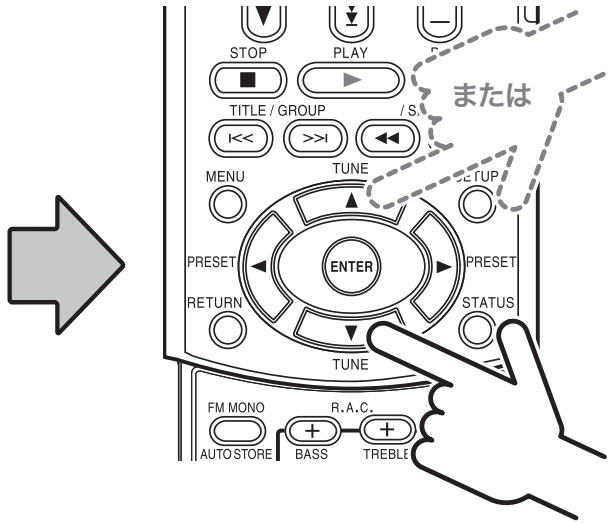
♪：選んだタイトルのみ再生。

DVDビデオ	
DVD VR	○
CD	
WAVE	
MP3 WMA	
JPEG	
MPEG 1 MPEG 2	

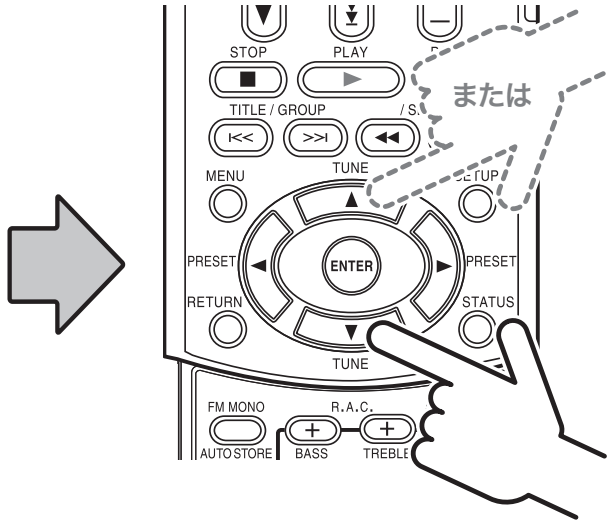
再生中または一時停止中



再生したいタイトルを選ぶ



再生したいタイトルを選ぶ

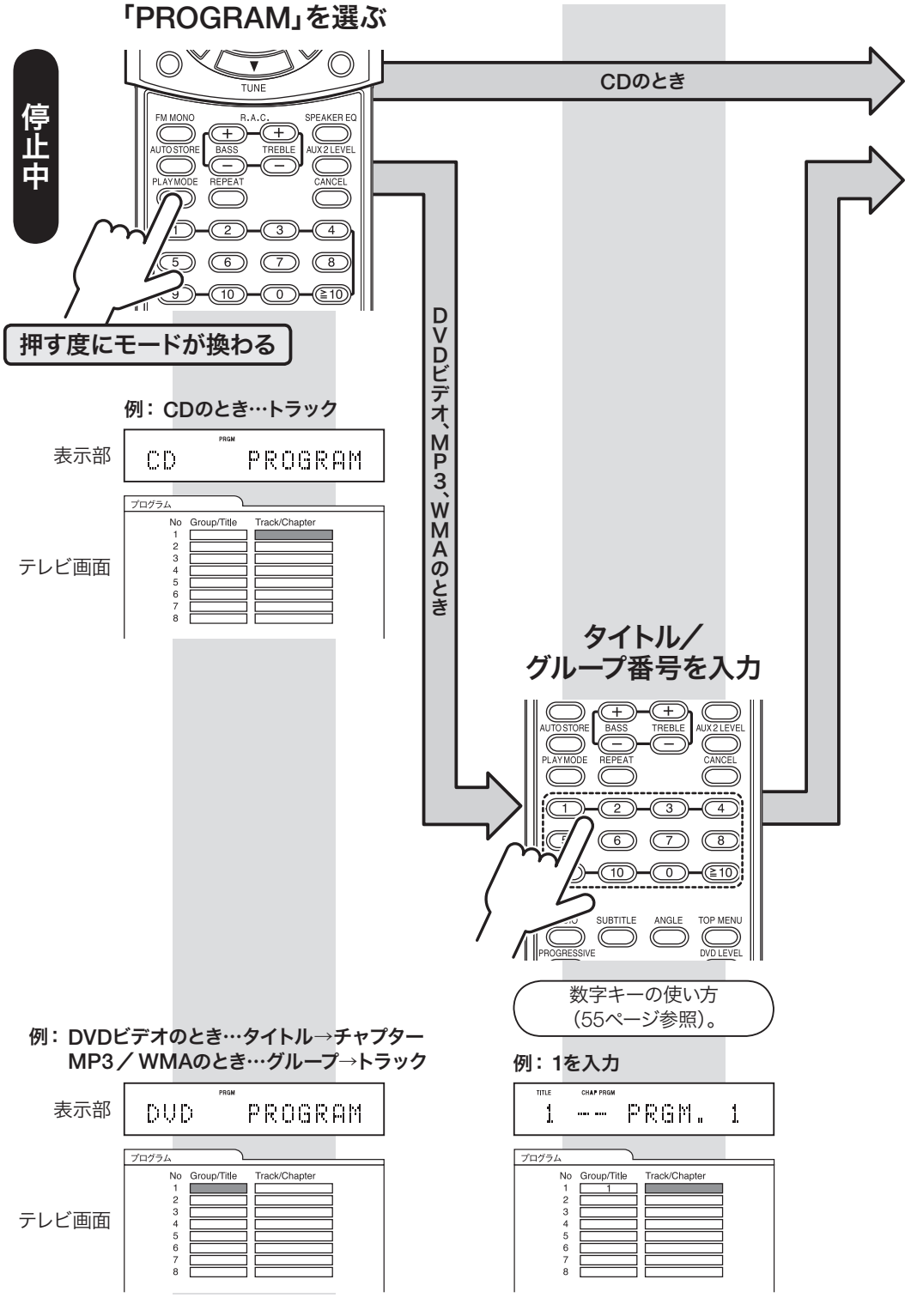


プログラム再生

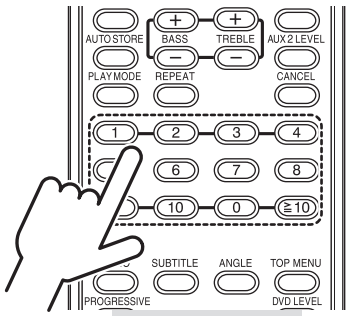
●プログラム再生

最大99のチャプター /トラックを好みの順番でプログラムできます。
同じチャプター /トラックを何度もプログラムできます。

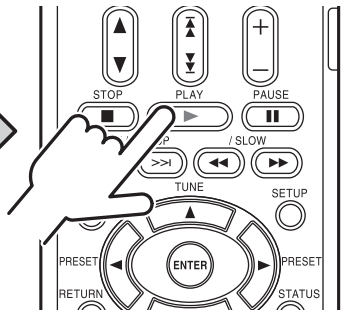
DVDビデオ	○
DVD VR	
CD	○
WAVE	○
MP3 WMA	○
JPEG	
MPEG 1 MPEG 2	



チャプター／トラック番号を入力

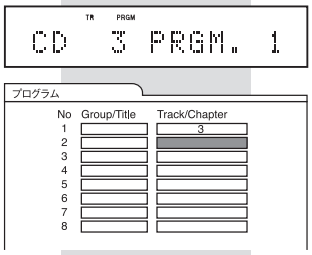


プログラム再生

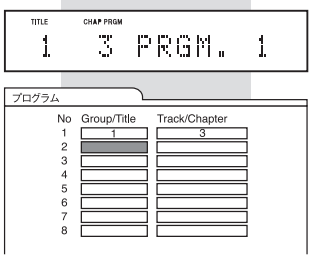


数字キーの使い方
（55ページ参照）。

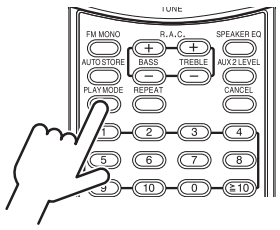
例：3を入力



例：3を入力



プログラム再生の解除

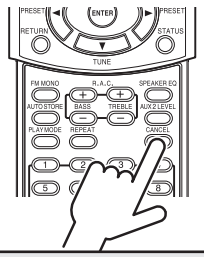


表示部の「PRGM」が消えるまで押す。

プログラム内容の消去

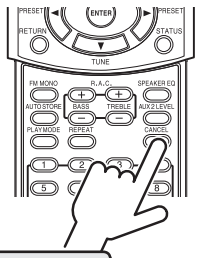
プログラム中

すべて消去



表示部に「ALL CLEAR!」がでるまで押し続ける

一つずつ消去



トンと押す

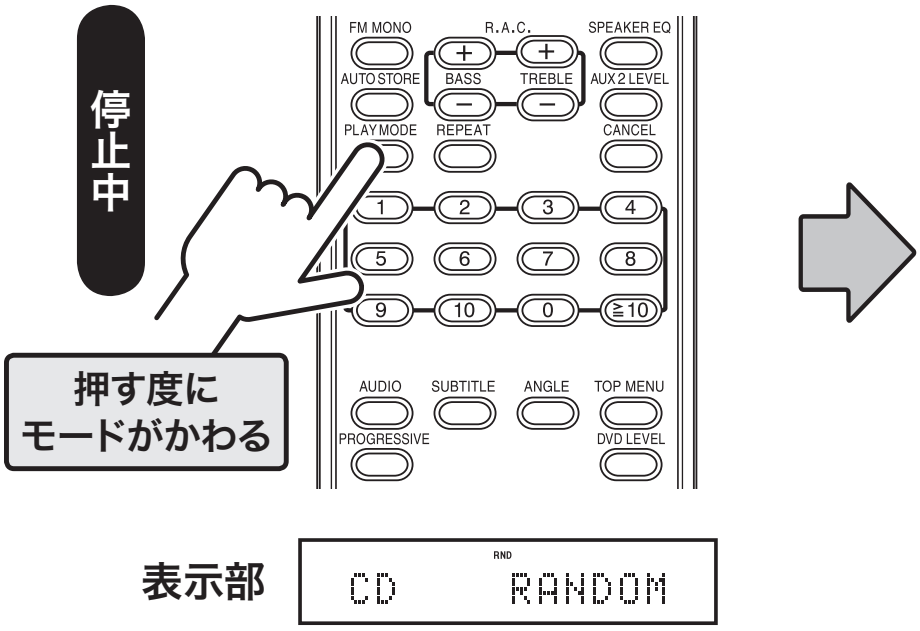
- DVDビデオ、MP3、WMAディスクの場合、グループ／タイトル選択後、トラック／チャプター番号を入力するかわりにENTERボタンを押すと「ALL」と表示され、そのグループ／タイトルに含まれるすべてのトラック／チャプターがプログラムされます。

ランダム再生

●ランダム再生

DVDビデオ	○
DVD VR	
CD	○
WAVE	○
MP3 WMA	○
JPEG	
MPEG 1 MPEG 2	

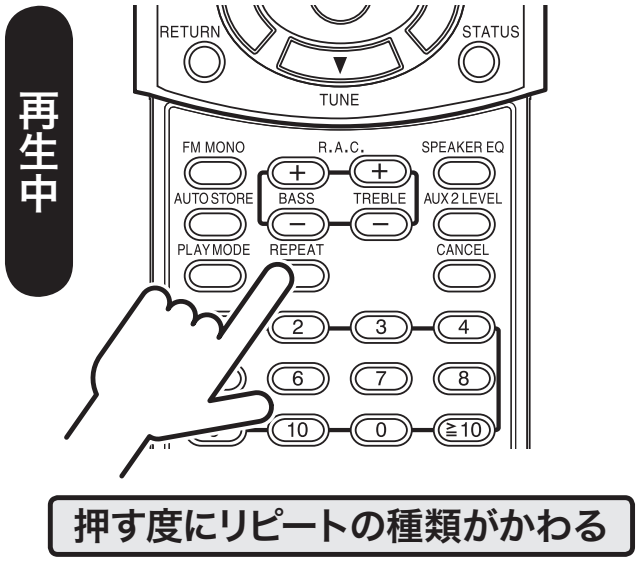
「RANDOM」を選ぶ



表示部

●リピート再生

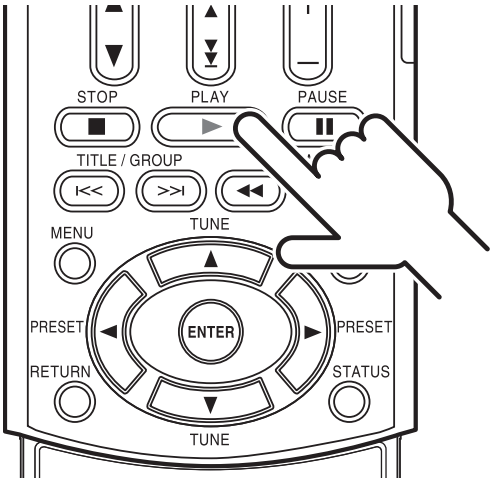
DVDビデオ	○
DVD VR	○
CD	○
WAVE	○
MP3 WMA	○
JPEG	
MPEG 1 MPEG 2	



押す度にリピートの種類がかわる

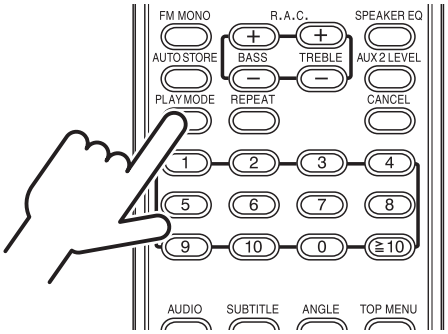
リピート再生

再生



●DVDビデオのとき、ディスクによってはランダム再生が使えないことがあります。

解除するには



・停止中表示部の「RND」が消えるまで押す。
・ディスクトレーを開ける

テレビ画面の表示	PLS-1610の表示部	動作
⮑TITLE	REPEAT TITLE	現在のタイトルをリピート
⮑ALL	REPEAT ALL	ディスク全体をリピート ※1
⮑GROUP ※2	REPEAT GROUP	現在のグループをリピート ※3
⮑CHAP	REPEAT CHAP	現在のチャプターをリピート ※4
⮑TRACK	REPEAT TRACK	現在のトラックをリピート ※4
⮑OFF	REPEAT OFF	リピート解除

※1:プログラム再生中はプログラム全体をリピートします。
※2:DVD VRのオリジナルプログラム再生中は「PG」が、プレイリスト再生中は「PL」が表示されます。
※3:DVD VRのときは、現在のオリジナルプログラムまたはプレイリストをリピートします。
※4:プログラム再生中およびランダム再生中は「STEP」と表示されます。

●メニューバーで操作することもできます(30ページ参照)。

●DVDビデオ、またはDVD VRのときに、ソースをFM/AMまたはAUXに切り換えると、リピート再生は解除されます。

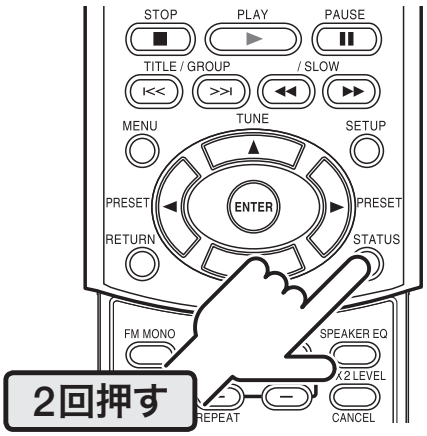
●再生できないファイルがあるときは、リピートモードは自動で解除されます。

指定した範囲を繰り返し再生する(A-Bリピート)

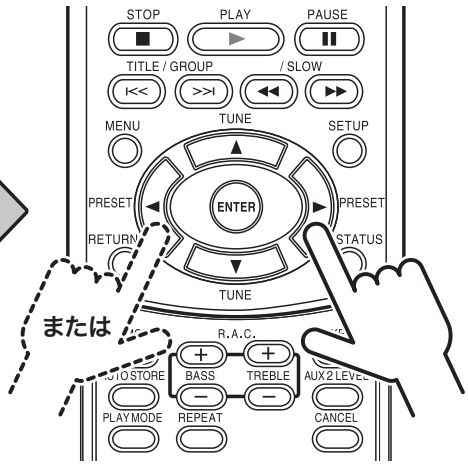
●指定した範囲を繰り返し再生する(A-Bリピート)

DVDビデオ	○
DVD VR	○
CD	○
WAVE	
MP3 WMA	
JPEG	
MPEG 1 MPEG 2	

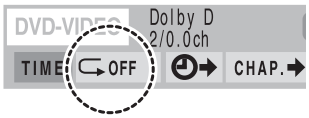
①



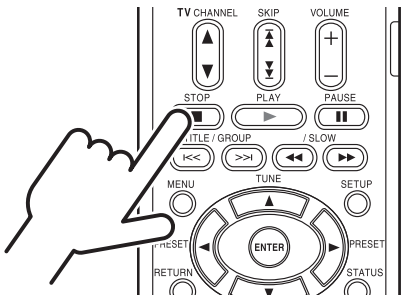
②



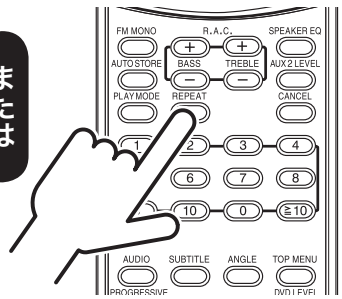
テレビ画面表示



解除するには



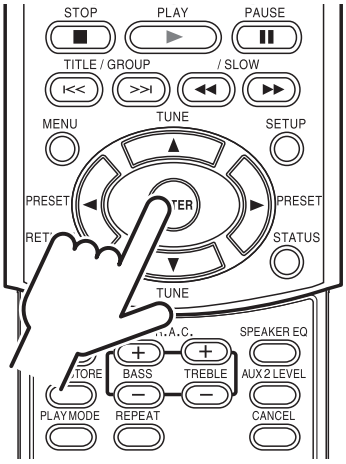
または



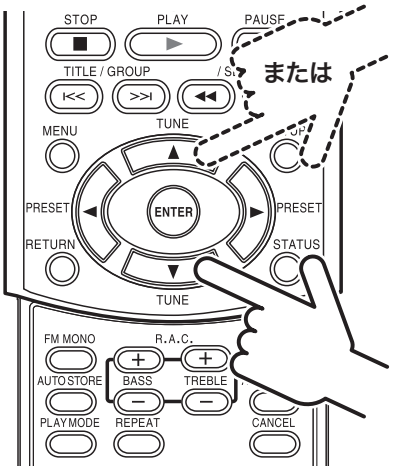
OFF を選んでENTERキーを押しても解除できます。

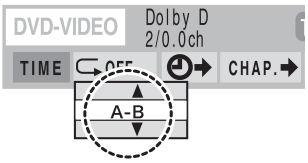
●タイトルやトラックをまたがるA-Bリピートはできません。
●プログラム再生中、ランダム再生中、リピート再生中は、A-Bリピートはできません。
●DVDビデオのとき、ディスクによってはA-Bリピートが使えないことがあります。

③

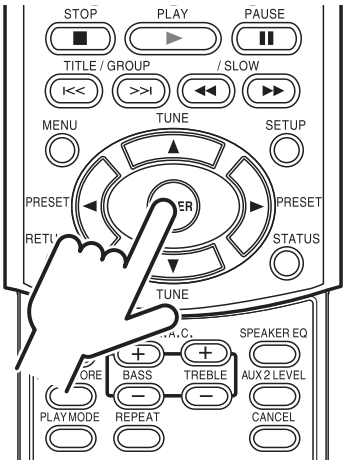


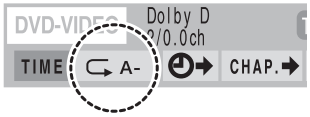
④ A-B を選ぶ



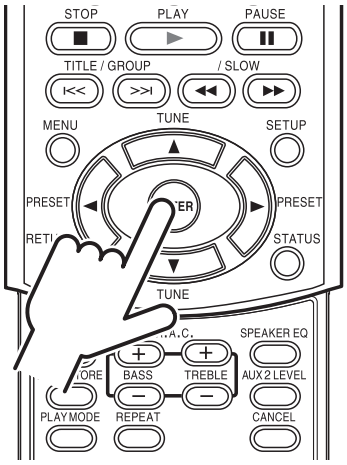


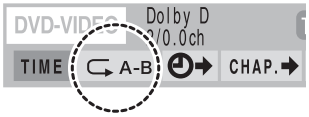
⑤ Aポイントの指定
繰り返す範囲の始点を決める





⑥ Bポイントの指定
繰り返す範囲の終点を決める





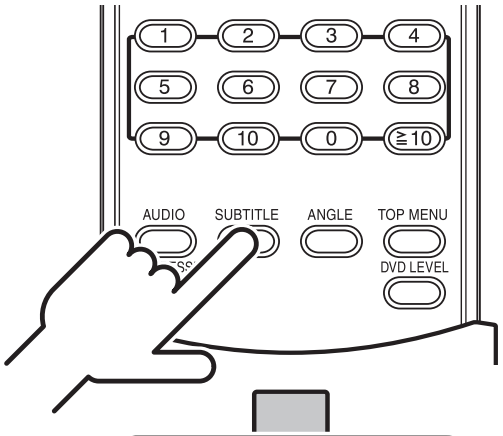
字幕表示の切り換え

●字幕表示の切り換え

DVDビデオ	○
DVD VR	○
CD	
WAVE	
MP3 WMA	
JPEG	
MPEG 1 MPEG 2	

字幕が入ったディスクを再生中

押す度に字幕を「表示しない（オフ）」と「表示する字幕言語」とが切り換わる



字幕を表示する

字幕を表示しない

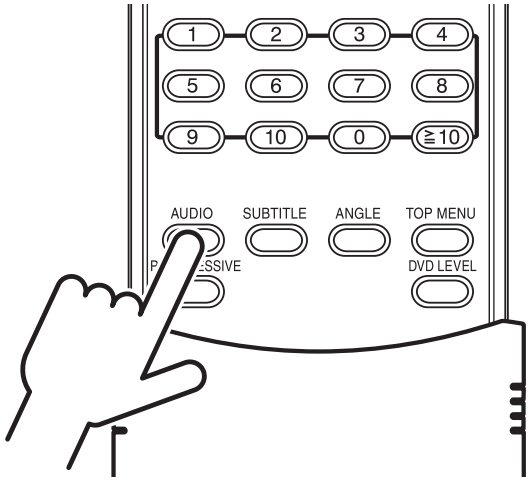
「オフ」を選ぶ

●音声の切り換え

DVDビデオ	○
DVD VR	○
CD	
WAVE	
MP3 WMA	
JPEG	
MPEG 1 MPEG 2	

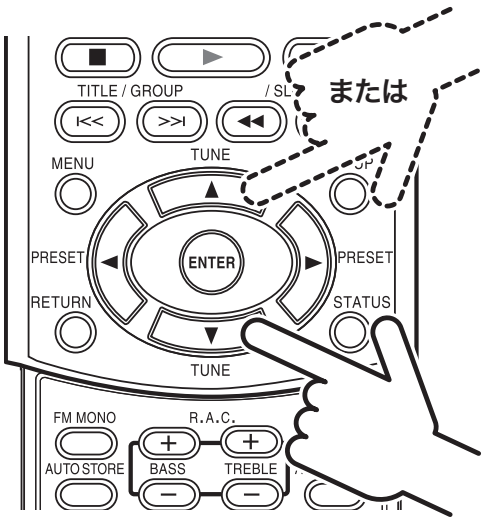
複数の音声が入ったディスクを再生中

押すたびに音声の種類が切り換わる



音声の切り換え

字幕の言語を選ぶ



- ●メニューバーで操作することもできます（30ページ参照）。
- ●「AA」などの言語コードについては、「言語コード一覧」（83ページ参照）をご覧ください。

- ●メニューバーで操作することもできます（30ページ参照）。
- ●「AA」などの言語コードについては、「言語コード一覧」（83ページ参照）をご覧ください。
- ●DVD VRのときに表示される「ST」「L」「R」はそれぞれ「ステレオ」「左の音声」「右の音声」の意味です。

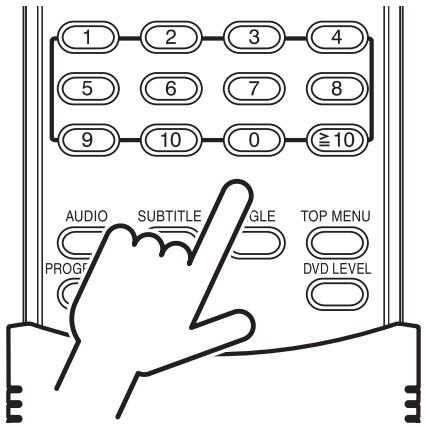
アングルの切り換え

●アングルの切り換え

DVDビデオ	○
DVD VR	
CD	
WAVE	
MP3 WMA	
JPEG	
MPEG 1 MPEG 2	

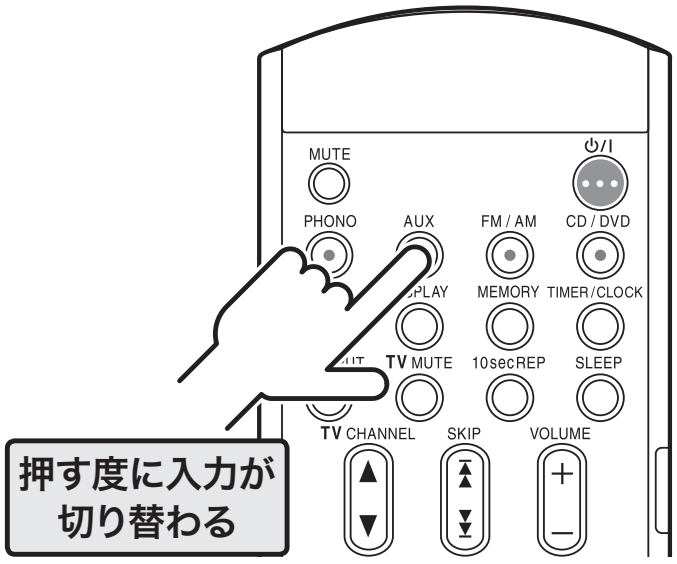
押すたびにアングルが切り換わる

複数のアングルが入ったディスクを再生中

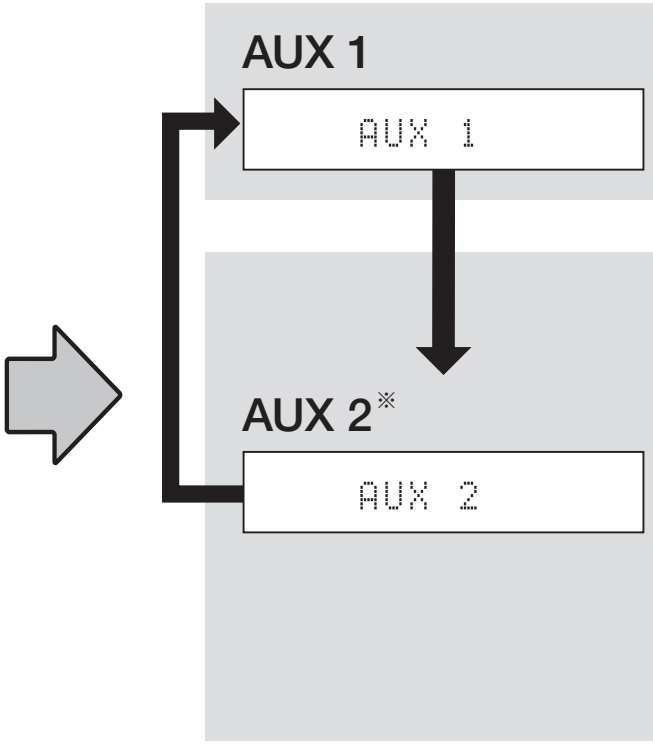


●メニューバーで操作することもできます(30ページ参照)。

●その他の機器を聞く(AUX)

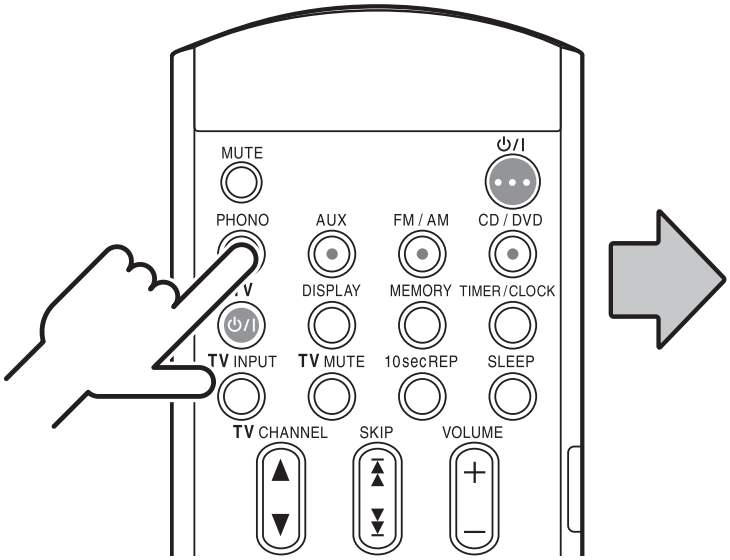


押す度に入力が切り替わる

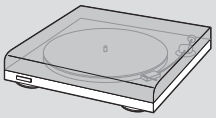


その他の機器を聞く

●その他の機器を聞く(PHONO)



PHONO

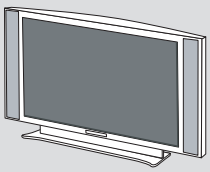


レコードプレーヤー※

PHONO入力端子に接続されたレコードプレーヤーの音声が再生されます。

※接続できるレコードプレーヤーはMM型です。

再生



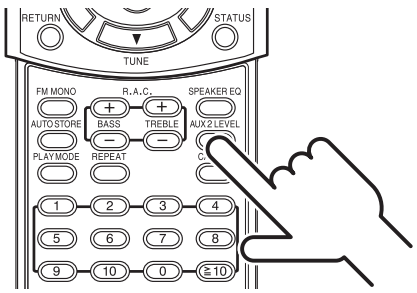
TV

AUX 1入力端子にテレビの音声入力を接続している場合は“AUX 1”を選ぶとTVの音声を聞くことができます（接続について8～9ページ参照）。AUX 1入力端子にTV以外の機器を接続している場合はその機器の音声が再生されます。

ポータブルオーディオプレーヤー

AUX 2 IN入力端子に接続された機器の音声が再生されます。

※AUX2 入力端子は、入力レベル（High/Low）を切り換えることができます。

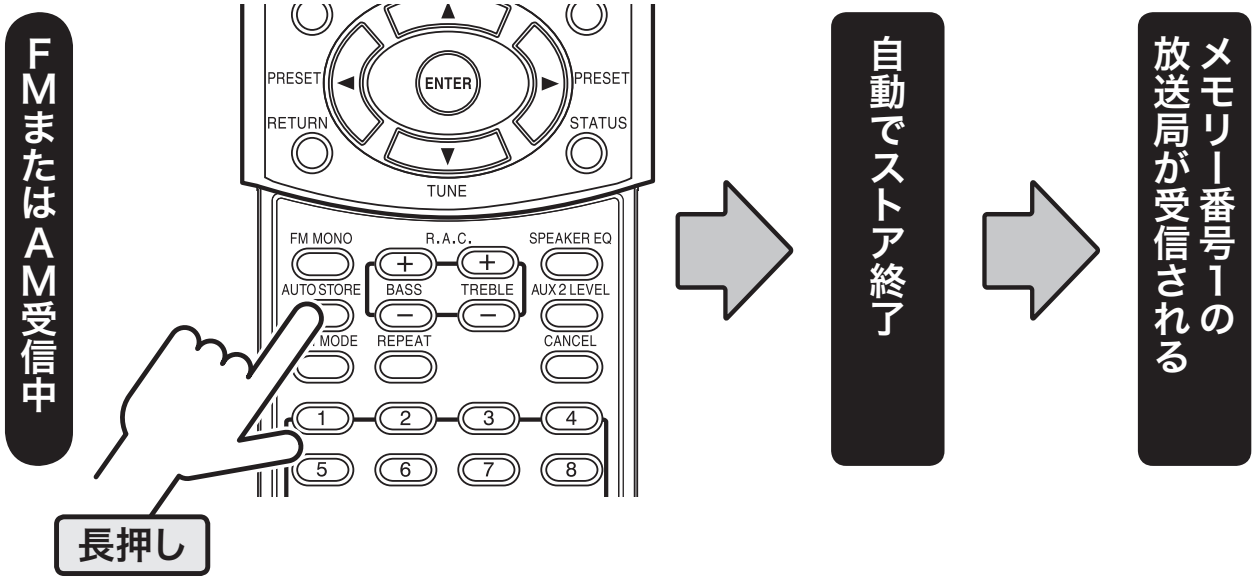


切り換えるには、リモコンのAUX2 LEVELキーを押します(69ページ参照)。

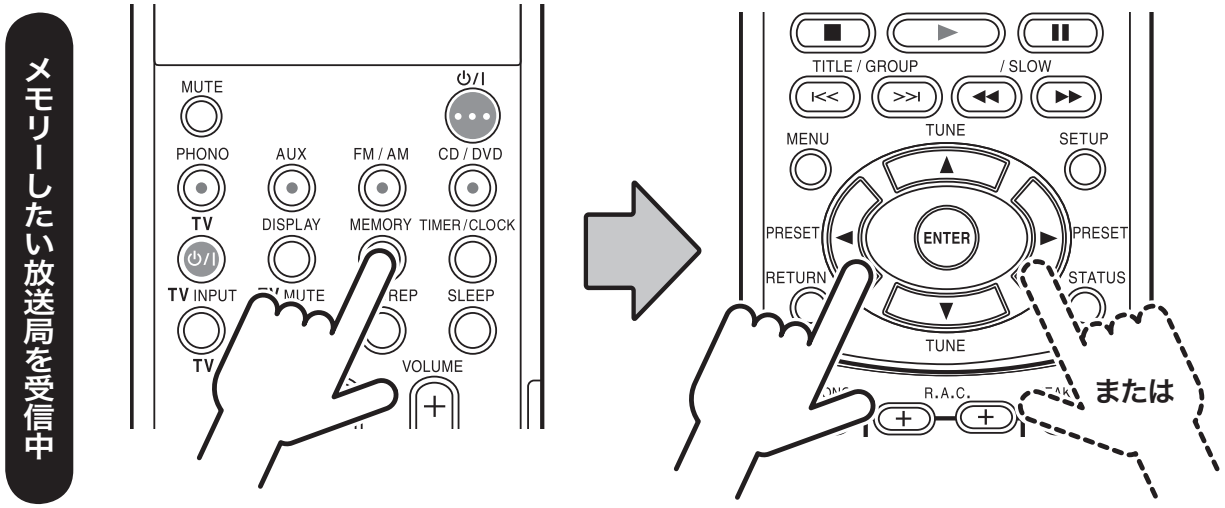
放送局の登録と呼び出し

●放送局を自動で記憶させる（オートストア）

受信できる放送局が自動で登録され、その曲のメモリー番号と受信周波数が表示されます。



●放送局を手動で記憶させる（マニュアルストア）



5秒間点滅

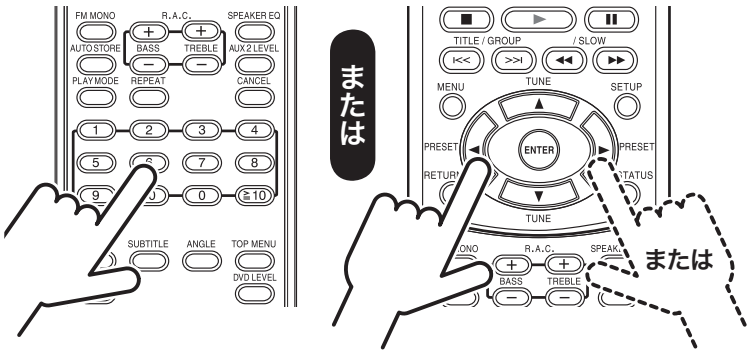
点滅中

放送局を登録させておくと次から簡単に呼び出すことができます。

放送局の呼び出し方

FMまたはAM受信中

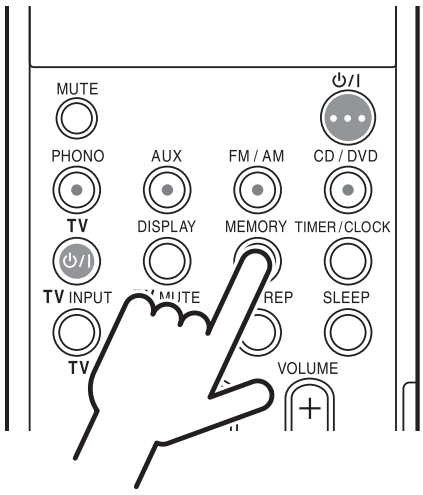
メモリー番号を押す



◀または▶キーを押して選ぶこともできます。

- ●受信できるすべての放送局が登録されるか、メモリーできる最大数まで、登録されると、自動で終了します。
- ●雑音の多い放送局も登録されることがあります。
- ●前に登録されていた放送局があっても、新しく放送局が上書きされます。

決定



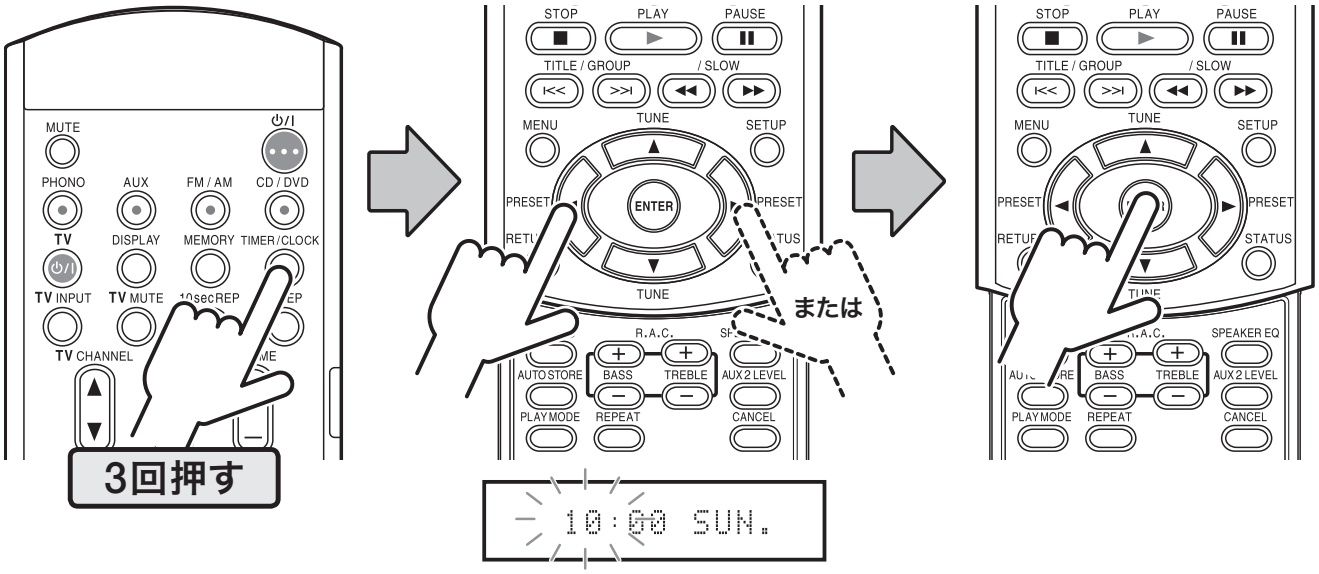
ENTERキーを押しても決定できます

- ●同じメモリー番号に新しい放送局を登録させると、前の放送局の登録は消えます。
- ●FM受信時にモノラル／ステレオのどちらの設定であったかも登録されます（18ページ参照）。
- ●記憶させた放送局は、コンセントからプラグを抜いても3日間保持しています。

時計を合わせる

●例：水曜日の10時30分に合わせる

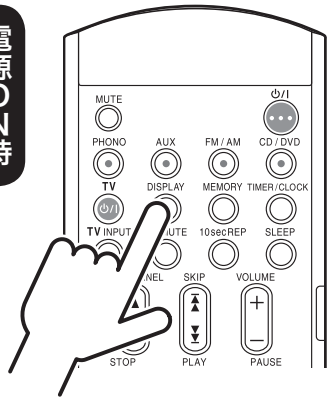
① ② 時(HOUR)を合わせる ③ 決定



数字キーを使っても
直接入力できます。
(69ページ参照)。

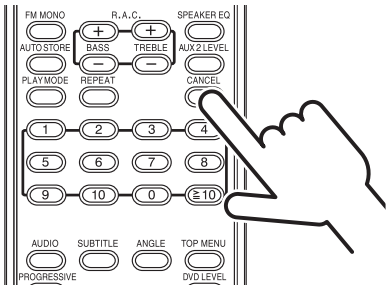
時計表示の切り換え

電源ON時

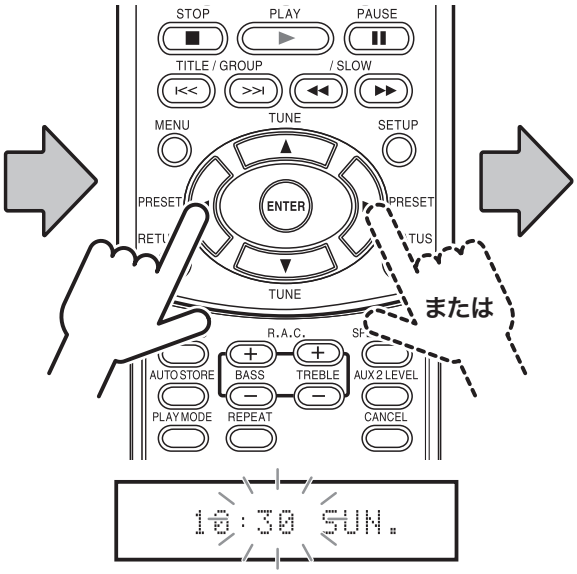


押すたびに表示部が時計表示と時計表示以外の表示に切り換わります(76ページ参照)。

前の項目に戻るには

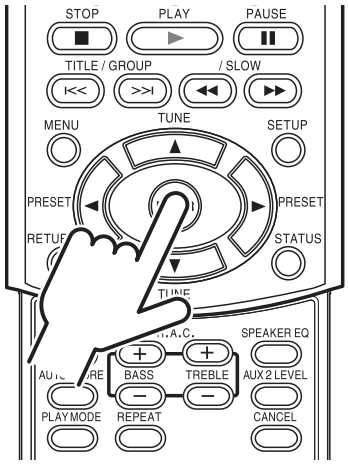


④ 分(MIN)を合わせる

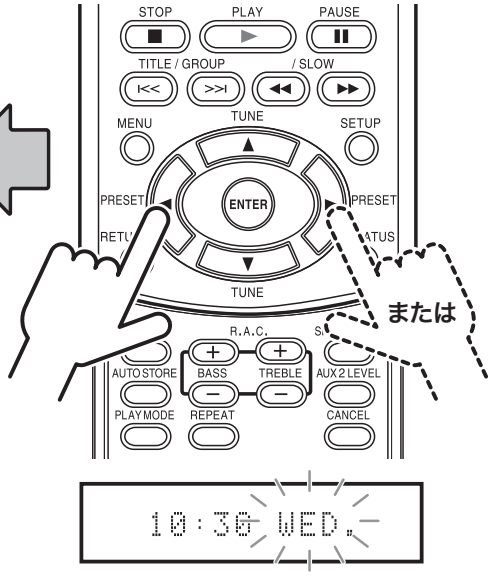


数字キーを使っても
直接入力できます。
(69ページ参照)。

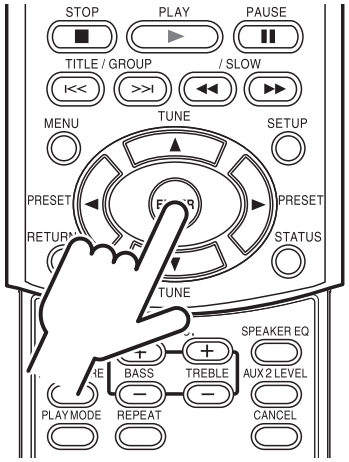
⑤ 決定



⑥ 曜日を合わせる



⑦ 決定



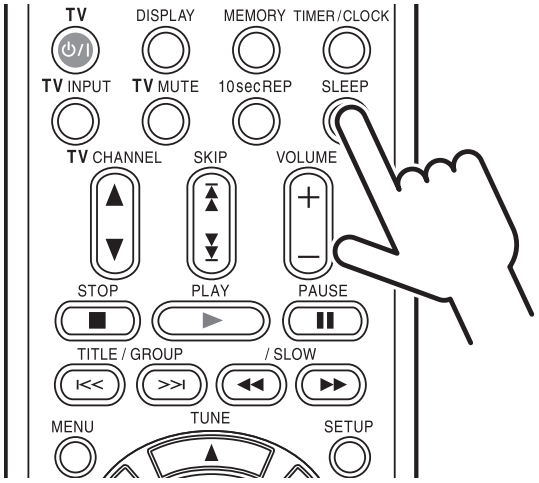
●電源コードをコンセントから抜いたり、停電などで電源が切れたときに、時計の設定は約1分間保存されます。

スリープタイマー

●スリープタイマー

スリープタイマーをセットするとCDやラジオを聴きながらおやすみになっても、
自動的に電源が切れて演奏を終了させることができます。

押すたびに表示が切り換わる



●スリープタイマーをセットすると
自動で表示部が暗くなります。

表示部の切り換わり

SLEEP AUTO …CD再生終了後に電源が切れます。
↓
SLEEP 10min. …10分後に電源が切れます。
↓
SLEEP 20min. …20分後に電源が切れます。
↓
SLEEP 30min. …30分後に電源が切れます。
↓
SLEEP 60min. …60分後に電源が切れます。
↓
SLEEP 90min. …90分後に電源が切れます。
↓
SLEEP 120min. …120分後に電源が切れます。
↓
SLEEP 150min. …150分後に電源が切れます。
↓
SLEEP 180min. …180分後に電源が切れます。
↓
SLEEP OFF. …スリープタイマーを解除します。

テレビの表示について

●テレビの表示について

電源を入れたときテレビに表示される画面

DVDプレーヤーの使用状況に応じて下記のようなメッセージが表示されます。

NOW READING	ディスクの読み取り中です。しばらくお待ちください。
リージョンコードエラー!	リージョンコードが異なるため再生できません（80ページ）。
NO DISC	ディスクが入っていません。
OPEN	ディスクトレーを開いています。
CLOSE	ディスクトレーを閉じています。
このディスクは再生できません	再生できないディスクです。

テレビ画面に表示されるマーク（オンスクリーンガイド）

工場出荷時の設定は、オンスクリーンガイドが「オン（ガイド表示あり）」になっています。「オフ（ガイド表示しない）」に設定することもできます（29ページ参照）。

- 再生
- 一時停止
- 早戻し/早送り
- スローモーション再生（逆方向/順方向）
- 複数のアングルあり（54ページ参照）
- 複数の音声あり（52ページ参照）
- 複数の字幕あり（52ページ参照）
- ディスクによっては、行った操作を受け付けない、またはその時点で操作が禁止されている時

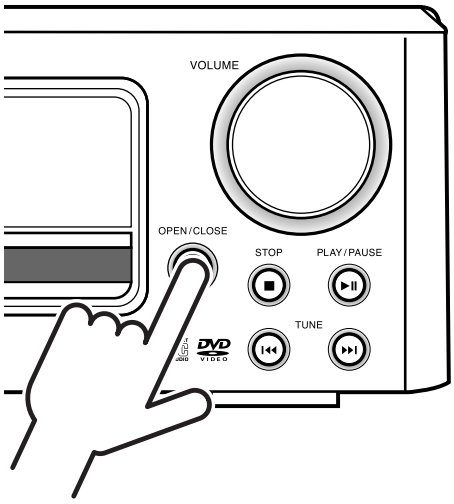
CDでお目覚めのための簡単タイマーセット

必ず時計を合わせてから行ってください

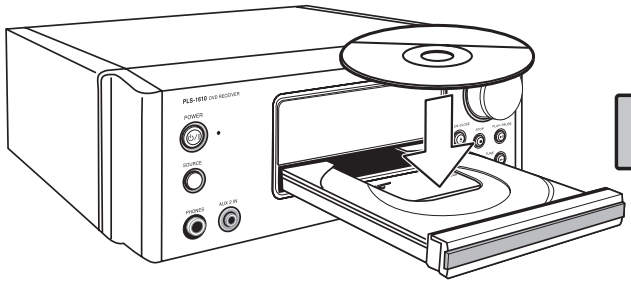
●目覚しを働かせるには

このセットにはあらかじめ朝6:30から30分間CDが鳴るようにメモリーされています。
（設定時刻やソースを変えたい場合は64〜65ページ参照）

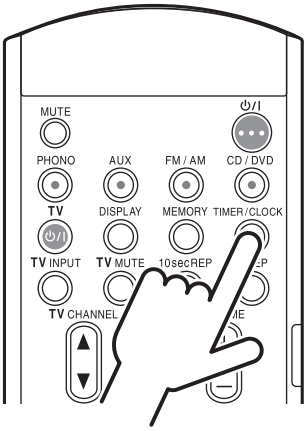
①



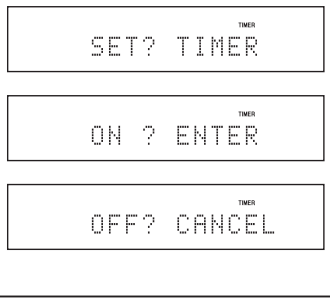
②

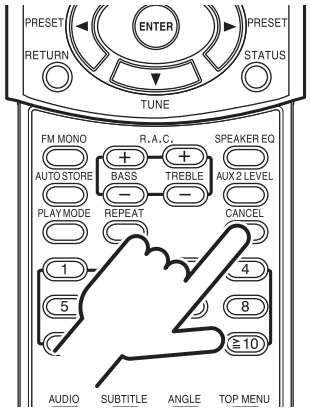


目覚し解除のしかた



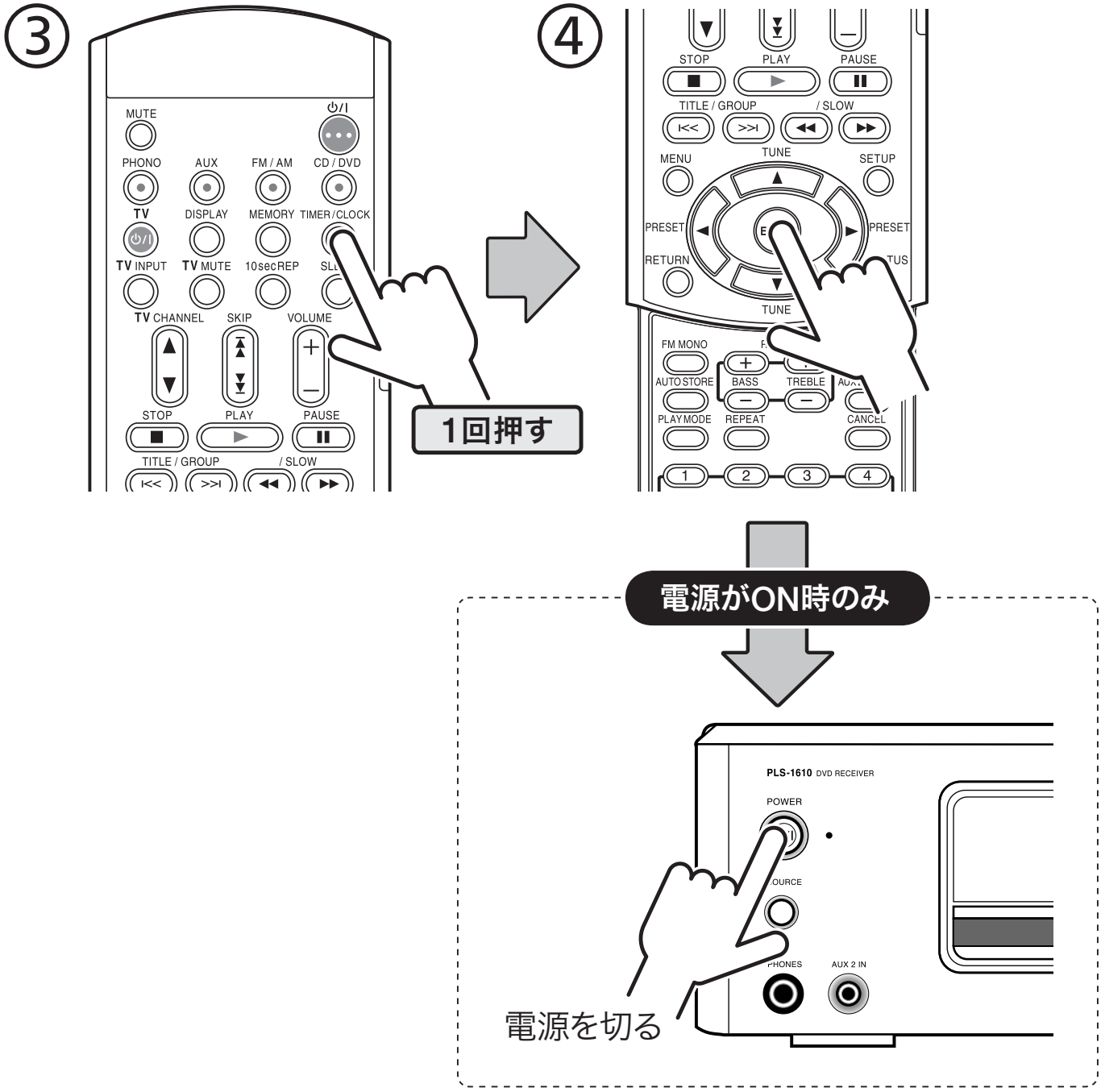
順番に表示されます





TIMER OFF

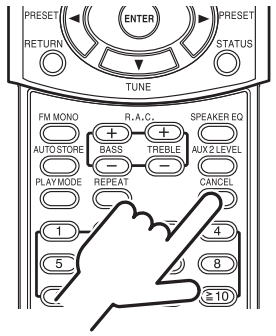
（その他の音源を選んだり、細かい設定はP64～65参照）



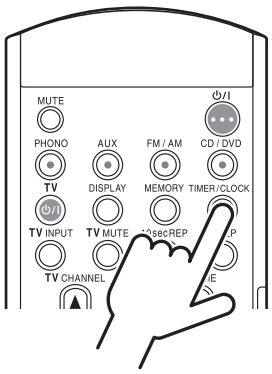
タイマーの使い方

必ず時計を合わせてから行ってください

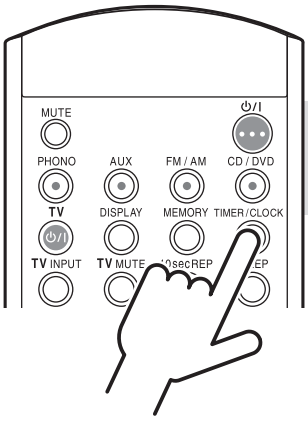
前の手順に戻る



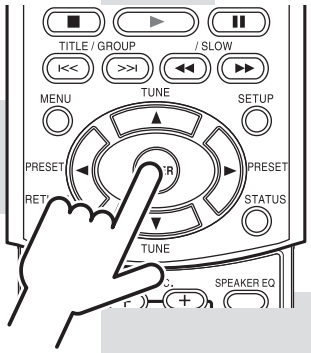
途中でやめるには

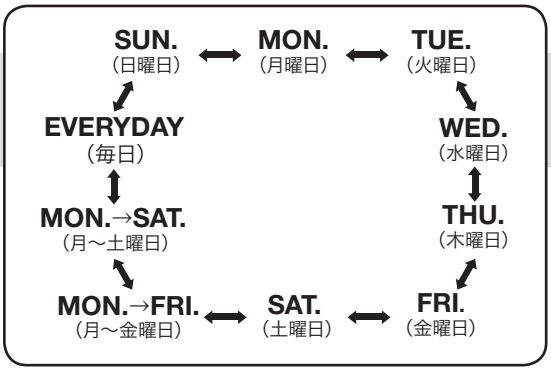


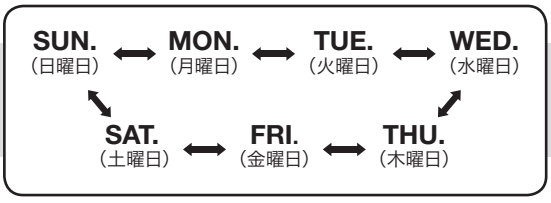
①



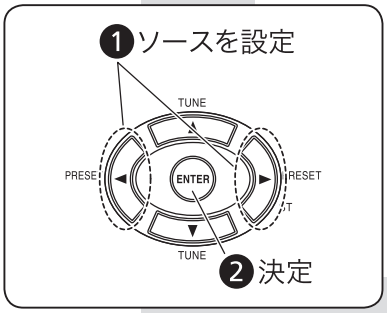
PLS-1610の電源コードを抜いたり、停電があったときは、再生タイマーの設定が消えることがあります。





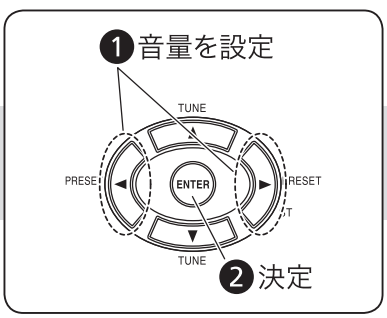


⑥ 再生したいソースを選ぶ

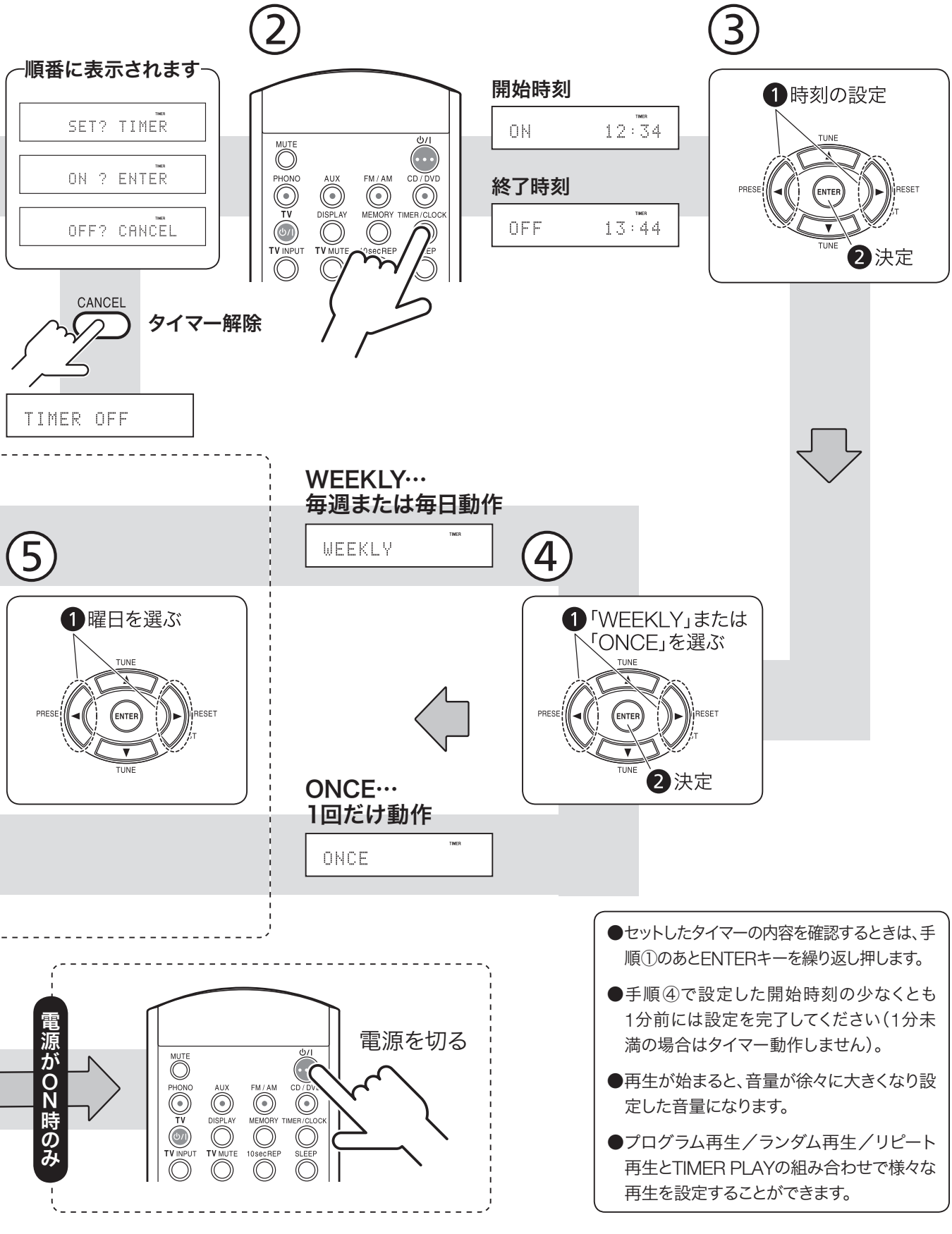


※TUNER時は放送局を選択

⑦ 音量を決める



ラジオを目覚ましのソースにする場合は、あらかじめ放送局を登録しておく必要があります（56ページ参照）。ソースを選ぶときに、登録したメモリー番号を選びます。



- セットしたタイマーの内容を確認するときは、手順①のあとENTERキーを繰り返し押します。
- 手順④で設定した開始時刻の少なくとも1分前には設定を完了してください（1分未満の場合はタイマー動作しません）。
- 再生が始まると、音量が徐々に大きくなり設定した音量になります。
- プログラム再生／ランダム再生／リピート再生とTIMER PLAYの組み合わせで様々な再生を設定することができます。

リモコン

MUTEキー
音声を一時的に止めることができます。どのキーを押してもミュートは解除されます。

AUXキー
AUXに接続してある機器に切り換えます。

PHONOキー
PHONOに接続してあるレコードプレーヤーに切り換えます。

TV電源キー
テレビの電源をON/OFFするキーです。
※あらかじめテレビメーカーコードの設定が必要です(70ページ参照)。

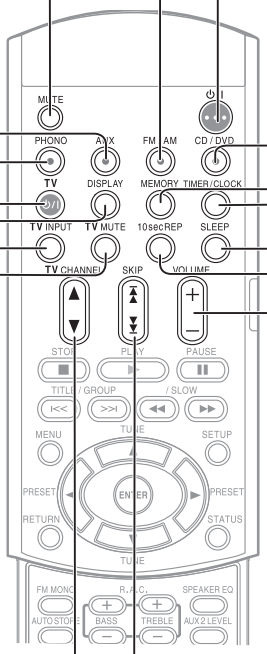
DISPLAYキー
表示部の内容を切り換えるときに押します。スタンバイ時にこのキーを押すと時計表示を消灯することもできます(エコノミーモード)。

TV INPUTキー
テレビの入力を切り換えます。
※あらかじめテレビメーカーコードの設定が必要です(70ページ参照)。

TV MUTEキー
テレビの音声を一時的に止めることができます。
※あらかじめテレビメーカーコードの設定が必要です(70ページ参照)。

TV CHANNELキー
テレビのチャンネルを切り換えます。
※あらかじめテレビメーカーコードの設定が必要です(70ページ参照)。

FM/AMキー
入力ソースをラジオに切り換えます。キーを押す度に、FMとAMを切り換えます。



電源キー
本機の電源のON、スタンバイを切り換えます。

CD/DVDキー
入力ソースをCDまたはDVDに切り換えて、挿入されているディスクを再生します。

MEMORYキー
放送局のメモリー時に使用します。

TIMER/CLOCKキー
タイマーの設定や時計合わせのときに使います。このキーとカーソルキー、数字キーを使ってタイマーや時刻を合わせてENTERキーで設定します。

SLEEPキー
スリープタイマーのセットができます。

10secREP(10秒リピート)キー
DVDビデオ再生中に、このキーを押すと約10秒前に戻って再生し直します。

VOLUME(音量)キー
音量の上げ下げを行います。

選曲/早送り/早戻しキー
押すたびに、前後のチャプター/トラック/ファイルの頭に移ります。再生中のチャプター/トラックの先頭に戻るときは、⏮を1回押します(JPEGディスク除く)。
MP3/WMA/JPEG/WAVE/再生中に⏭を押すと次のファイルが、⏮を押すとひとつ前のファイルが再生されます。また、このキーを押し続けている間だけ、早送り/早戻しします。

■ STOP(ストップ)キー

○音楽CDディスクのとき再生を停止します。

○動画再生時…PLAY、PAUSE中に押すと、RESUME (リジューム) 状態で停止します。もう一度押すと完全に停止します。

TITLE/GROUPキー

タイトルやグループを選ぶときに押します。

MENU(メニュー)キー

○ディスクのメニュー画面が表示されます。

○DVD VRの再生中または停止中にこのキーを押すとプレイリスト画面が表示されます。

TUNE ▲カーソルキー

○**DVDビデオ再生中**…メニュー画面でカーソルを上に移動させるときに押します。

○**システム設定画面**…選択内容を切り換えるときに押します。

○**ラジオ時**…マニュアルチューニングになります。このキーを押し続けるとオートスキャンチューニングになります。

○**MP3時**…ファイルまたはフォルダーを選択するときに押します。

PRESET ◄カーソルキー

○**DVDビデオ再生中**…メニュー画面でカーソルを左に移動させるときに押します。

○**システム設定画面**…選択内容を切り換えるときに押します。

○**STATUS BAR**…選択項目を左に移動するときに押します。

○**タイマーセット時**…一つもどします。

○**時刻合わせ**…一つもどします。

○**ラジオ時**…このキーを押す度にプリセットチャンネルが一つずつ戻ります。

RETURN(リターン)キー

システム設定画面、メニューバーで設定中にこのキーを押すと元に戻ります。

TUNE ▼カーソルキー

○**DVDビデオ再生中**…メニュー画面でカーソルを下に移動させるときに押します。

○**システム設定画面**…選択項目を切り換えるときに押します。

○**ラジオ時**…マニュアルチューニングになります。このキーを押し続けるとオートスキャンチューニングになります。

○**MP3時**…ファイルまたはフォルダーを選択するときに押します。

►PLAY(プレイ)キー

ディスクの再生を行います。

❚❚(ポーズ)キー

DVDビデオ、CD再生中に押すと、再生を一時停止します。PLAYキーを押すと再生を開始します。DVDビデオではコマ送りを行います。

◀◀、▶▶/SLOWキー

・キーを押すたびに、早送り、早戻しの速度が変わります。PLAYキーを押すと通常の速度にもどります。

・動画再生をPAUSE (一時停止)中は、キーを押すたびにスロー再生の速度が変わります。スロー再生中にPAUSE (一時停止)を押すと一時停止します。PLAYキーを押すと通常の速度にもどります。

SETUP(セットアップ)キー

停止中に押すとシステム設定画面が表示されます。

ENTER(エンター)キー

各設定を決定するときに押します。

PRESET ► カーソルキー

○**DVDビデオ再生中**…メニュー画面でカーソルを右に移動させるときに押します。

○**システム設定画面**…選択項目を切り換えるときに押します。

○**STATUS BAR**…選択内容を右に移動するときに押します。

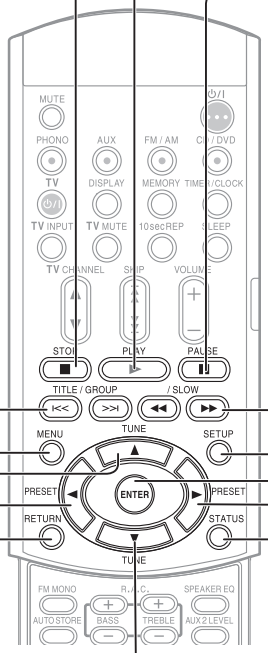
○**タイマーセット時**…一つ進めます。

○**時刻合わせ**…一つ進めます。

○**ラジオ時**…このキーを押すたびにプリセットチャンネルが一つずつ進みます。

STATUS(ステータス)ボタン

テレビ画面にトラックNO、チャプターNO、経過時間等を表示します。もう一度押すとさらに詳細情報が表示されます。



リモコン

BASS+/−キー
低域部分を調整するときに押します。

FM MONOキー
FMステレオ放送の音声をモノラルにするときに、このキーを押します。もう一度押すとステレオ放送に戻ります。
AM放送受信時に、このキーを押すと“ビートノイズ”を軽減させることができます。

AUTO STOREキー
このキーを長押しすると、オートストアになります。
受信できる放送局が自動に登録されます。

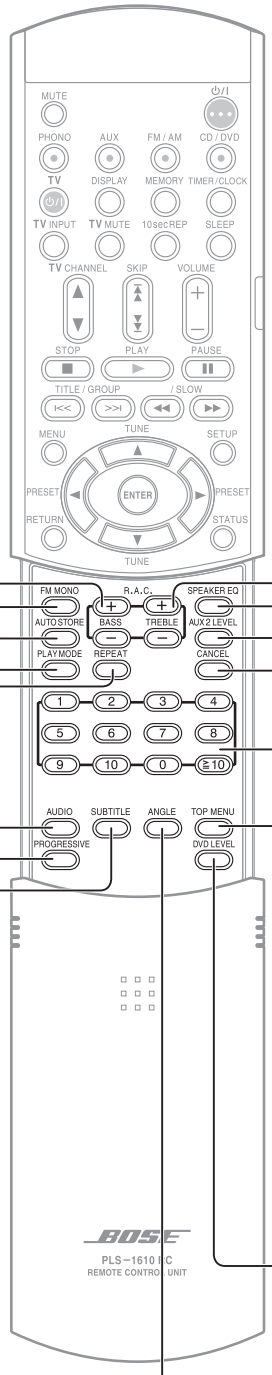
PLAY MODEキー
CD/DVDのときにランダム再生、プログラム再生、通常再生を切り換えます。

REPEATキー
音楽や動画のリピート再生を行います。

AUDIO（音声切換）キー
DVDビデオの音声言語を切り換えます。

PROGRESSIVEキー
お使いのテレビに合わせて、映像信号方式を設定するときに押します。

SUBTITLE（字幕切換）キー
字幕が収録されたDVDビデオを再生中、字幕言語の切り換えや字幕表示のON/OFFを行います。



TREBLE+/−キー
高域部分を調整するときに押します。

SPEAKER EQキー
使用するスピーカーに合わせて、内蔵のイコライザーを切り換えます。

AUX2 LEVELキー
AUX2のレベルの切り換えをします。

CANCELキー
時刻、タイマーの設定でこのキーを押すと、一つ前の手順に戻ります。プログラム再生時にはプログラムの内容を消去するときに使用します。

数字キーの使い方
例

5： (5)

15： (≧10) ➡ (1) ➡ (5)

135： (≧10) ➡ (≧10) ➡ (1) ➡ (3) ➡ (5)

数字キー
○**CD/DVDビデオ時**…ダイレクト選曲、プログラム再生を行うときに押します。ステータスバー表示時にこのキーを使って、チャプター選択、タイトル選択、タイムサーチを行います。

○**ラジオ時**…プリセットチャンネルを呼び出すときに押します。

○テレビのメーカーコード入力、時計設定、タイマー設定のときに使用します。

TOP MENUキー
○DVD VR再生中または、停止中にこのキーを押すと、オリジナルプロフラム画面が表示されます。オリジナルプロフラムはディスクによってはないものもあります。

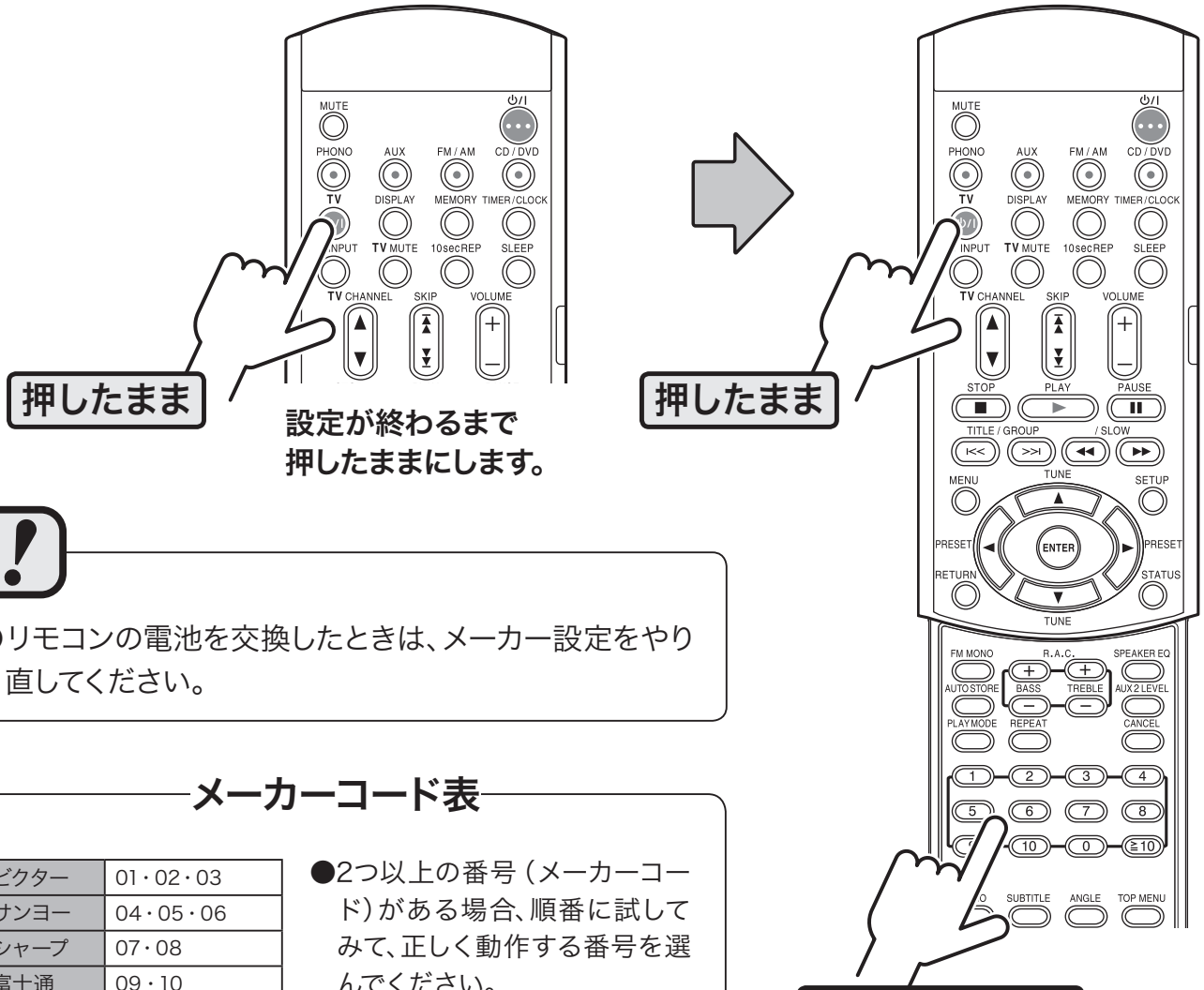
○トップメニューの含まれているDVDの場合、このキーを押すとトップメニュー画面が表示されます。

DVD LEVELキー
DVDの音量を調節します。

ANGLE(アングル切換)キー
マルチアングルで収録されたDVDビデオを再生中、アングルを切り換えるときに押します。

設定　リモコンを他社のテレビに合わせる

●メーカーコードの設定



●リモコンの電池を交換したときは、メーカー設定をやり直してください。

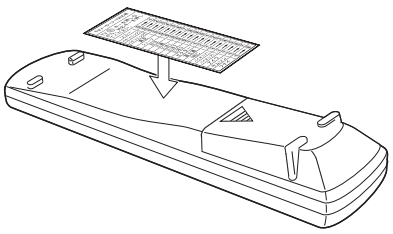
メーカーコード表

ビクター	01・02・03
サンヨー	04・05・06
シャープ	07・08
富士通	09・10
ソニー	11・12・13
東芝	14
NEC	15
パイオニア	16
日立	17・18
フナイ	19・20・21・22
松下	23・24・25・26
三菱	27

付属のTVメーカーシールはリモコンの裏側に貼ってお使いになることをおすすめします。

●2つ以上の番号（メーカーコード）がある場合、順番に試してみて、正しく動作する番号を選んでください。

●メーカーコードは予告なく変更されることがあります。上記のメーカー製テレビでも操作できないことがあります。



例えば

“01”の時 0 ➡ 1

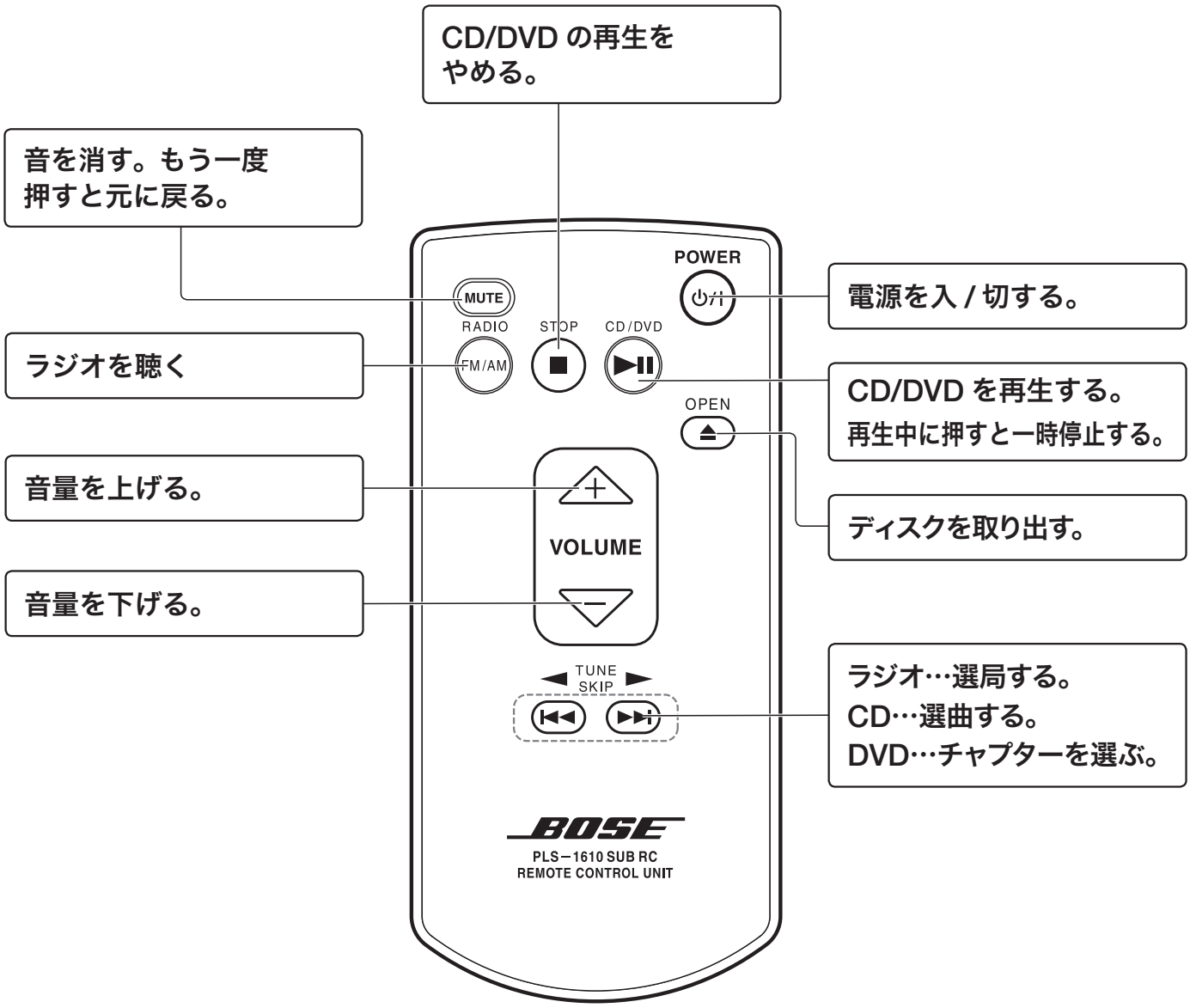
“10”の時 1 ➡ 0

※ ≧10 キーは使用しません。

“23”の時 2 ➡ 3

カード型サブリモコンで簡単に操作

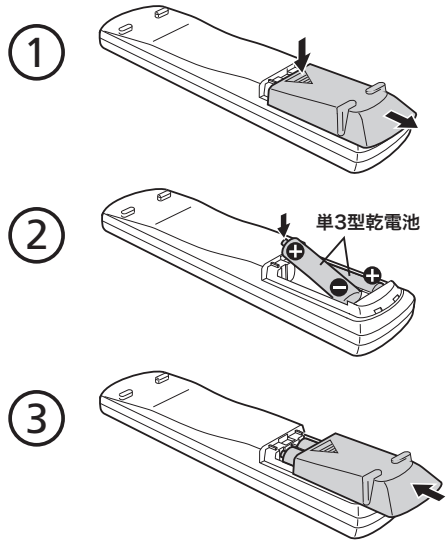
●カード型サブリモコンで簡単に操作



リモコンの取り扱いについて

●電池の入れ方

リモコンをお使いになる前に



注意

使用済みの電池は、絶縁テープなどを貼って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。

●付属の乾電池は動作チェック用として同梱してあります。新品の乾電池よりは使用期間が短くなりますので、リモコンの効きが悪くなってきた場合は、新しい電池と交換してください。

注意

電池についての注意

- 指定以外の電池を使用しないでください。
- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖をショートさせないでください。
- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖との向きを電池ケースに表示されているとおりに正しく入れてください。
- 電池を加熱しないでください。
- 分解しないでください。
- 火や水の中に入れないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は絶対に充電しないでください。
- 長い間（1ヵ月以上）リモコンを使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- 液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。
- 万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

●リモコンの動作範囲

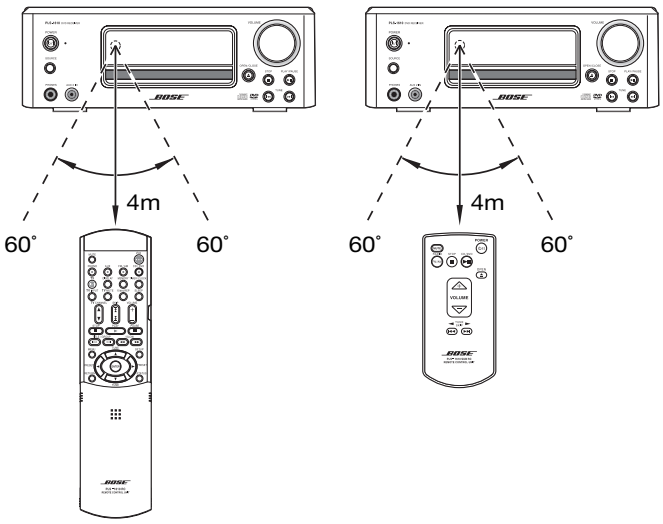
電池の交換時期について

リモコンの電池が消耗すると、リモコンの動作範囲が狭まってきて効きが悪くなってきます。このような症状が出てきたらリモコンの乾電池を 2 本とも新しい乾電池に交換してください。

注意

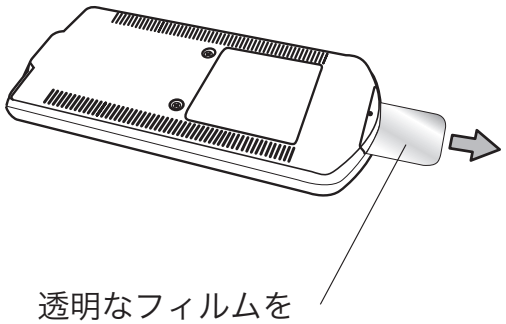
リモコン使用上の注意

- 本機の受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコンの操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますので、ご注意ください。
- リモコンと本機の受光部の間に障害物があったり、受光部の角度が悪いとリモコン操作ができないことがあります。



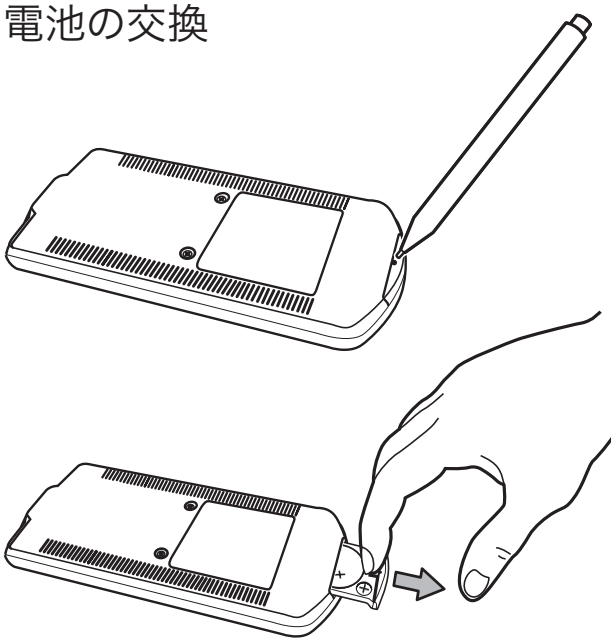
●カード型サブリモコンの取り扱いについて

リモコンをお使いになる前に



透明なフィルムを
引きぬいてからお使いください。

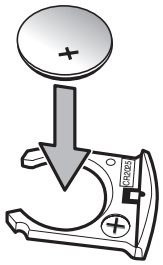
電池の交換



注意

リモコン用の電池は正しい取り扱いを行わない場合、火災を起こしたり、化学物質で皮膚を冒される結果となることがあります。幼児には触れさせないように十分ご注意ください。また、分解や充電、焼却を行ったり100度以上の熱を与えないようにしてください。交換の際には下に記載された電池のみをご使用ください。異なる製品を使用した場合、火災や爆発の原因となることがあります。

- リチウム電池を破棄するときは、電池に絶縁テープ等を貼って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄します。他の金属片等と、そのまま一緒に廃棄するとショートして発火、破裂の原因となることがあります。

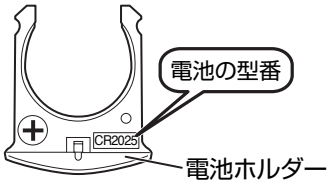


電池を入れます

電池を交換する場合は、電池の型番にご注意ください。

使用電池

3V リチウム電池
CR 2025

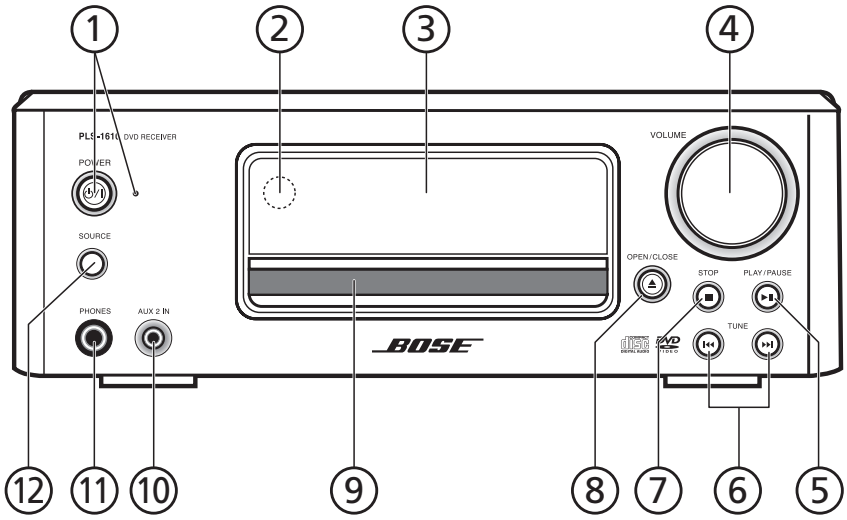


注意

使用済みの電池は、絶縁テープなどを貼って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。

各部の名称とはたらき

●前面



①POWER ⏻/I 電源スイッチと スタンバイインジケーター

このスイッチを押すと電源が入り、緑のインジケーターが点灯します。もう一度押すとスタンバイ状態になり赤いインジケーターが点灯します。

> ⚠ 注意
> 電源スイッチをオフにしても、回路の一部には電流が流れ続けます（スタンバイインジケーターが点灯して電源が供給されていることを示します）。長期間ご使用にならないときは、安全のため本機の電源プラグを電源コンセントから抜いておいてください。

②受光部

内部にリモートコントローラーから出された赤外線を受光する部分があります。リモートコントローラーの送信部をここに向けて操作してください。

③表示部

いろいろな情報を表示するところです（76ページ参照）。

④VOLUME（ボリューム）つまみ

音量を調節します。

⑤PLAY/PAUSE ▶II（プレイ／ポーズ）キー

各ディスクを再生するときに押します。ディスクを再生中に押すと再生を一時停止します。もう一度押すと再び再生が始まります。

⑥TUNE ⏮ ⏭（チューン）キー

周波数の上げ下げをするときに使います。このキーを長押しすると、オートスキャンになります。
CD/DVD再生中は、押すたびに、前後のチャプター／トラック／ファイルの頭に移ります。また、このキーを押し続けている間だけ、早送り／早戻しします。

⑦STOP ■（ストップ）キー

各ディスクの再生中に、このキーを押すと再生が中止されます。

⑧OPEN/CLOSE ⏏（オープン／クローズ）キー

ディスクトレーのイジェクトとロードを行います。

⑨ディスクトレー

CDまたはDVDなどのディスクをこのトレーに置きます。
シングルCD（8cm）をアダプターなしでかけられます。

⑩AUX 2 IN

外部音声入力端子。φ3.5ステレオミニプラグを差し込んでください。

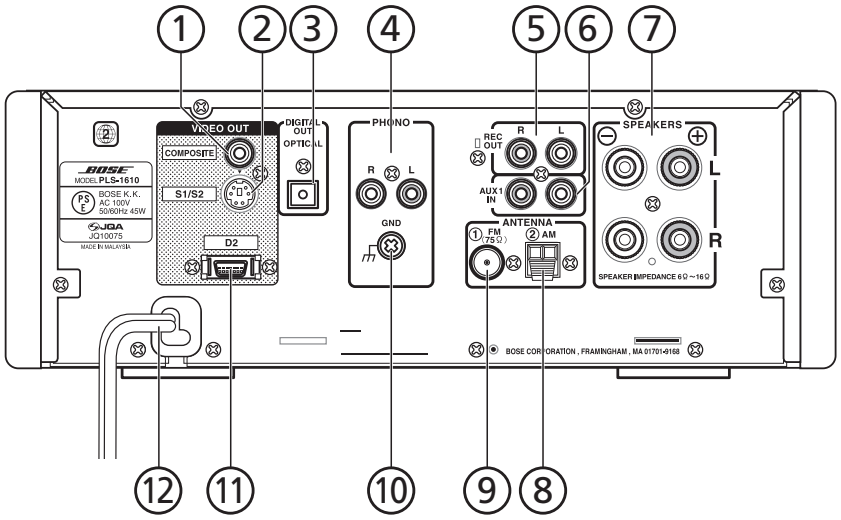
⑪PHONES（ヘッドホン）ジャック

ステレオヘッドホンで演奏を聴くときに、ヘッドホンの標準ヘッドホンプラグをこのジャックに差し込みます。
※ヘッドホンのプラグをジャックに差し込むと、スピーカーから音が出なくなります。

⑫SOURCE（ソース／音源）

本機で再生する音源を切り換えます。

●背面



①COMPOSITE
この出力端子と付属のビデオケーブルでテレビと接続します。映像信号方式を「INTERLACE」(インターレース)に設定してください(「映像方式をの設定のしかた」12ページ参照)。

②S1/S2
この出力端子と市販のS映像ケーブルでテレビと接続します。映像信号方式を「INTERLACE」(インターレース)に設定してください(「映像方式をの設定のしかた」12ページ参照)。
本機のS映像出力端子は、S1およびS2映像信号に対応しています。S映像信号にフルモード(縦長の映像)を自動判別するために識別信号を合わせた信号です。接続したテレビがS1またはS2映像信号対応機器のとき、この信号を検知すると自動的に画面サイズを変更します。

③DIGITAL OUT(光デジタル出力端子)
光デジタル信号を出力する端子です。市販の角型、EIAJ標準光デジタルケーブルを使ってこの端子に接続します。
使用する場合は保護キャップを外します。また、使用しない場合は、ほこりやゴミが入らないようにキャップを付けておいてください。

④PHONO入力端子
レコードプレーヤー(MM型)を接続してください。

⑤音声出力端子
外部機器の音声入力端子に接続します。

⑥外部(AUX 1)音声入力端子
外部機器の音声信号を入力します。

⑦スピーカー出力端子
スピーカーコードを接続する端子です。

⑧AMアンテナ
AMアンテナを接続する端子です。

⑨FMアンテナ
FMアンテナを接続する端子です。

⑩GND端子
レコードプレーヤーのGNDをここにつなぎます。
※一部のレコードプレーヤーにはGNDがないものがあります。
必ずレコードプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

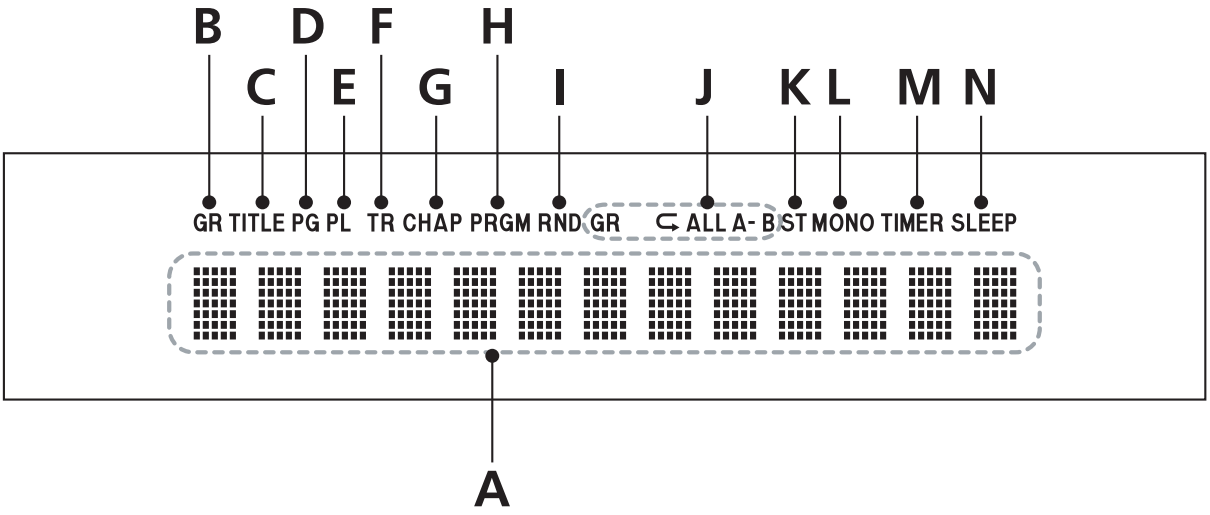
⑪D2
この出力端子と市販のD端子映像ケーブルでテレビと接続します。お使いのテレビの端子に合わせて、映像信号方式を設定してください。

- D1端子のときは「INTERLACE」(インターレース)に設定してください(「映像方式をの設定のしかた」12ページ参照)。
- D2～D4端子のときは「PROGRESSIVE」(プログレッシブ)に設定してください(「映像方式をの設定のしかた」12ページ参照)。
- 本機のD映像信号は、D2信号まで対応します。
- 本機は、D1～D4映像入力を持つテレビと接続できます。

⑫電源コード
商用電源100V 50Hz/60Hzに接続します。

表示部について

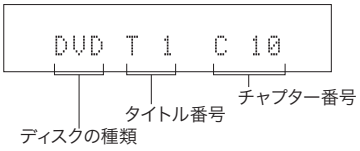
●表示部について

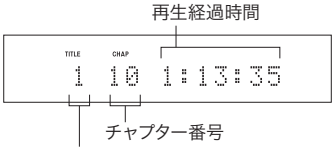


●表示部の切り換え

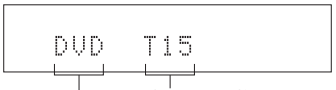
●DVDの場合

〈再生中の表示〉



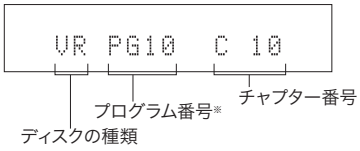


〈停止中の表示〉

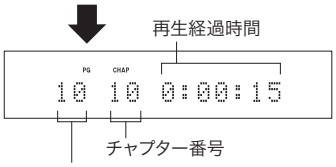


●DVD VRの場合

〈再生中の表示〉



※プレイリスト時はプレイリスト番号と
チャプター番号が表示されます。



〈停止中の表示〉

表示部の切り換え

A 表示部 …… タイトル／グループ／オリジナルプログラム／プレイリスト／チャプター／トラック番号、ディスクの種類、再生経過時間表示、時刻表示、受信周波数表示などを行います。

B GRインジケーター …… グループナンバー表示時に点灯します。

C TITLEインジケーター …… DVDビデオ再生時、タイトル番号表示時に点灯します。

D PGインジケーター …… DVD VR再生時、プログラムナンバー表示時に点灯します。

E PLインジケーター …… DVD VR再生時、プレイリストナンバー表示時に点灯します。

F TR(曲番号表示)インジケーター …… トラックナンバー表示時に点灯します。

G CHAP(チャプター番号表示)インジケータータイマー … DVDビデオ再生中、チャプター番号表示時に点灯します。

H PRGM(プログラム演奏)インジケーター

I RND(ランダム演奏)インジケーター

J GR ⊂ ALL A- B(リピート)インジケーター

K ST(ステレオ)インジケーター …… FMのステレオ放送を受信すると点灯します。

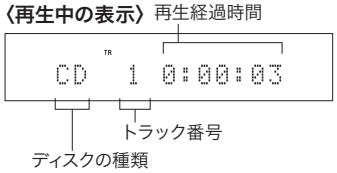
L MONO(モノ)インジケーター …… FM放送の音声をモノラルにしたときに点灯します。

M TIMER(タイマー)インジケーター …… タイマー設定中に点灯します。タイマー動作中は点滅します。

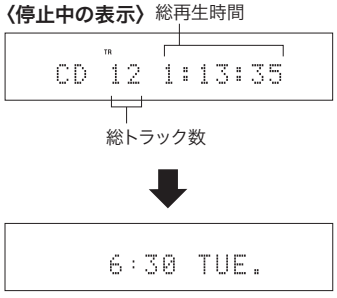
N SLEEP(スリープ)インジケーター …… スリープタイマー動作時に点灯します。

●CDの場合

〈再生中の表示〉 再生経過時間

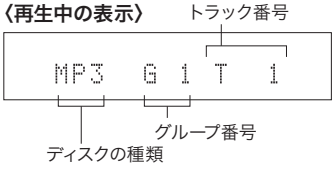


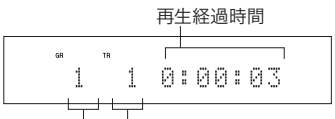
〈停止中の表示〉 総再生時間

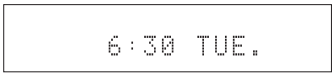


●MP3/WMA/WAVE/MPEG1/MPEG2ディスクの場合

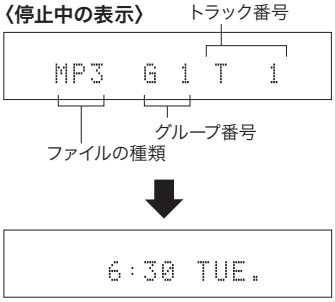
〈再生中の表示〉 トラック番号







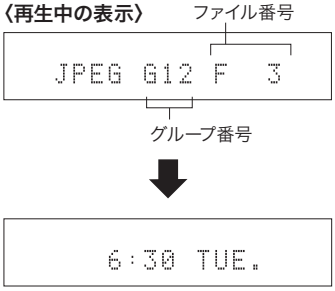
〈停止中の表示〉 トラック番号



※MP3/WMAディスクのみディスク情報（タイトル／アーティスト／アルバム）に切り換わります。また、MP3/WMAディスクにファイル名などのテキストが記録されているときはテキストが表示部にスクロール表示されます。

●JPEGディスクの場合

〈再生中の表示〉 ファイル番号

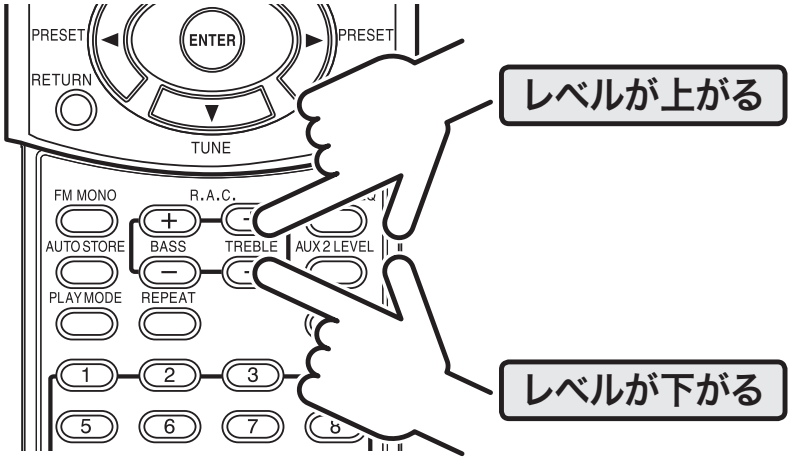


高域と低域の調整

●高域と低域の調整

部屋の音響効果は、ステレオシステムの全体的な音質に影響を与えることがあります。
R.A.C.(ルーム・アコースティック・コンペンセーター)機能を上手に使って、よりよい音響効果が得られるように、部屋の特性に合わせて調整してください。

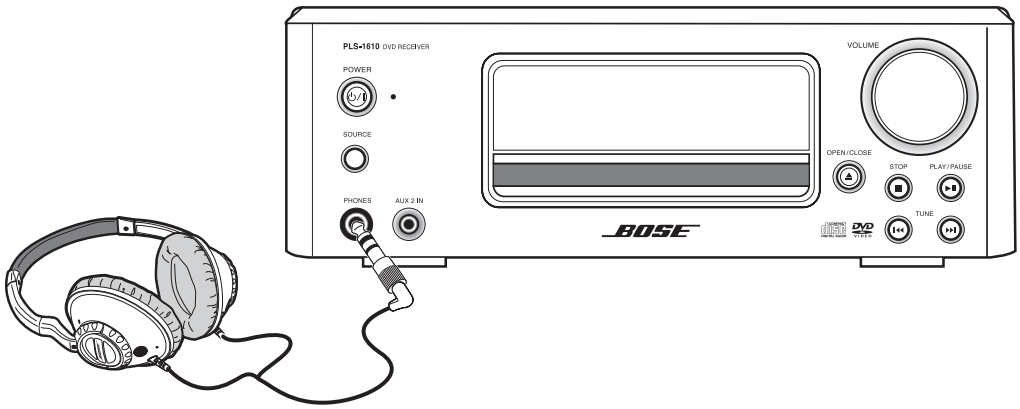
高域部分の調整



●調整範囲
+10〜−10(2dBステップ)

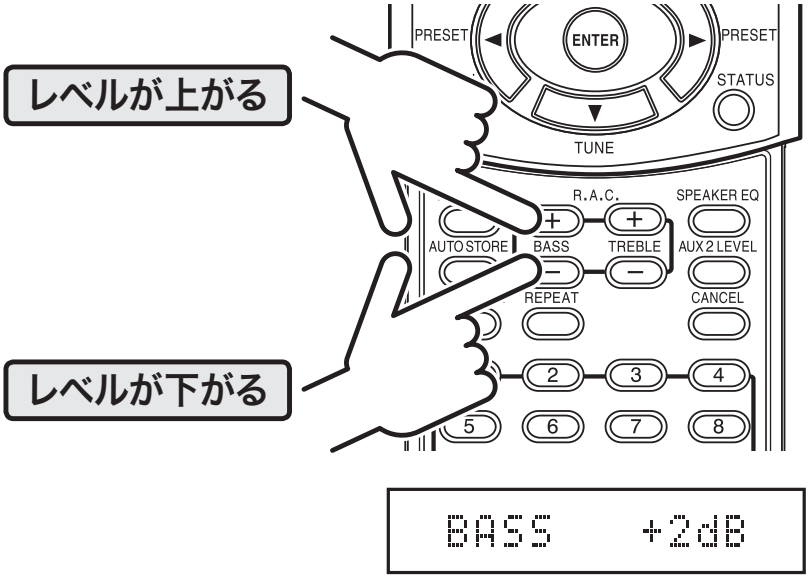
●ヘッドホンを使って楽しむとき

ヘッドホンプラグを前面パネルの PHONES 端子に挿入してください。
プラグを差し込むと自動的にスピーカーからの音が止まります。



注意 ヘッドホンをご使用になるときは、音量にご注意ください。あまり大きな音で長時間ご使用になりますと耳を痛める場合があります。耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

低域部分の調整



●調整範囲
＋4〜−10(2dBステップ)

●お手入れについて

●汚れやホコリは、乾いた柔らかい布ではらって、それでとれないものは、柔らかい布を水に浸し堅く絞ったもので拭き取ってください。

●汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、堅く絞ってから汚れを拭き取ります。さらに別の柔らかい布を水に浸し、堅く絞ったもので拭き取ってください。

●シンナー、ベンジン、アルコール、化学薬品を使用すると、表面が侵されたり文字が消えたり外装ムラになることがありますので、絶対に使わないでください。また、スプレー式の殺虫剤や消臭剤、芳香剤などもかからないようにご注意ください。

両サイド木目部をお手入れするときの注意

木目部のお手入れをする場合は、特に次のことにご注意ください。

●木目部は乾いた布で強く拭かないでください。乾いた布で擦ると、表面に細かい傷がつき、光沢が失われる原因になります。

ディスクについて

次のディスクが再生できます。

ディスクの種類	マーク(ロゴ)
DVDビデオ	DVD VIDEO DVD VIDEO
CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO
CD-R	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable
CD-RW	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable

次のディスクも再生できます。

	CD-R CD-RW	DVD-R	DVD-RW
CDフォーマット	○	—	—
MP3/WMA/ JPEGフォーマット	○	○	○
DVDビデオ フォーマット	—	○	○
DVD VR フォーマット	—	○	○
WAVE フォーマット	○	○	○
MPEG1/MPEG2 フォーマット	○	○	○

※ディスクはすべてファイナライズ処理されている必要があります。

本機で再生できるディスクとファイルについて

- マルチボーダーで記録されたDVD-Rも再生できます。
- DVD-RがCPRMに対応しているときのみ、DVD VRフォーマットが使えます。
- UDFブリッジで記録されたディスクのみ再生できます。
- DVDビデオフォーマットで録画し、ファイナライズされたDVD+R、DVD+RWディスクが再生できます。
- “MIX-MODE CD”、“CD-G”、“CD-EXTRA”、“CD TEXT”ディスクは音声のみ再生できます。

“CD-R”、“CD-RW”および“DVD-R”、“DVD-RW”ディスクについて

- ディスクの特性、記録状態、傷、汚れまたは、プレーヤーのレンズの汚れ、結露などにより再生できないことがあります。
- ディスクをお使いになる前に、それぞれのディスクの使用上の注意をよくお読みください。
- CDテキストの表示には対応しておりません。
- CD／VCD／SVCD／MP3／WMA／JPEG／DVDビデオ／DVD VR／WAVE／MPEG1／MPEG2フォーマット以外のフォーマットで記録したことのあるCD-RW、DVD-RWディスクは、一度全てのデータを消去してください。そのまま使用すると突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。

再生できるCDについて

- 再生できるMP3／WMA／JPEG／WAVE／MPEG1／MPEG2ディスクおよびファイルはISO9660フォーマットで記録されたCDです(UDF-パケットライト形式で記録されたCDは再生できません)。
- マルチセッションで記録されたCDも再生可能。

再生できるファイルの拡張子について

- “.mp3”、“.wma“、”.jpg”、“.jpeg”、“.wav”、“.mpg”、“.mpeg”の拡張子がついたファイルを再生できます(大文字小文字が混在した拡張子でも可)。

地域番号(リージョンコード)を確認してください

DVDプレーヤーとDVDディスクの地域番号(リージョンコード)が合っていなければ使用できません。地域番号はそれらの機器、DVDディスクが使用される国または地域ごとに割り当てられています。本機の場合は背面にリージョンコードが記載されています。DVDディスクはジャケットやケースなどに記載されています。日本で視聴できるディスクには次のような記号があります。また、業務用ディスクの中には、本機での再生が禁止されているものがあります。

など

地域番号	おおよその該当地域
1	アメリカ、カナダ
2	日本、ヨーロッパ(東欧の一部を含む)、中近東
3	東アジア、東南アジア
4	オーストラリア、ニュージーランド、中南米
5	東欧、アフリカ(南アフリカ共和国、エジプトを除く)、インド
6	中国(香港を除く)
ALL	全地域

※DVDのビデオの中には、ソフトの制作者の意図により、本書の説明どおりに動作しないディスクがあります。ディスクのジャケットなどもご覧ください。

MP3／WMA／JPEG／WAVEディスクおよびファイルについて

- ディスクの記録状態や特性により再生できないことや、読み込みに時間がかかることがあります。
- 記録されているグループやトラック（ファイル）の数によって、読み込みの時間が異なります。
- MP3／WMA／JPEG／WAVEのファイル名に半角英数字とカタカナ以外の文字が使われていると、トラック／ファイル名が正しく表示されません。
- ファイル表示画面（テレビ画面）に表示されるトラック／グループの順序は、パソコンの画面に表示される順序と異なることがあります。
- 市販のMP3／WMAディスクを再生した場合、ディスクに記載されている順番と異なって再生される場合があります。
- MP3／WMA／JPEG／WAVEのファイルが記録されているディスクは、再生が開始されるまで時間がかかる場合があります。また、再生が始まるまで経過時間は表示されません。再生が始まっても正確な経過時間が表示されない場合があります。
- MP3／WMAファイルは、サンプリング周波数44.1kHz、転送ビットレート128kで作成されたものを推奨します。
- MP3iおよびMP3PROには対応しておりません。
- JPEGファイルはDCF（Design rule for Camera Filesysutem）規格準拠のデジタルカメラで撮影したJPEGデータが表示できます。ただし、デジタルカメラ固有の機能（自動回転機能など）を使用したものは表示できない場合があります。
- パソコンの画像編集ソフトなどで加工、編集、再保存したデータは表示できないことがあります。
- MOTION JPEGなどの動画やJPEG以外の静止画および音声付画像は再生できません。
- JPEGファイルの解像度について
  “8192ピクセル×7680ピクセル”を超える画像は表示できません。推奨解像度は“640ピクセル×480ピクセル”です。これより大きなものは表示に時間がかかる場合があります。

MPEG1／MPEG2ディスクおよびファイルについて

- ストリーム構造について
  MPEGシステムストリーム規格またはMPEGプログラムストリーム規格に合致している必要があります。
- 推奨する解像度
  フレームレート25fpsの場合：352ピクセル×576ピクセル、480ピクセル×576ピクセル、352ピクセル×288ピクセル。
  フレームレート30fpdの場合：352ピクセル×480ピクセル、480ピクセル×480ピクセル、352ピクセル×240ピクセル。
- 解像度をあげる場合は720×576pixels（25fps）／720×480pixels（30fps）までをお勧めします。
- プロファイルとレベルは
  MP@ML（Main Profile at Main Level）、SP@ML（Simple Profile at Main Level）またはMP@LL（Main Profile at Low level）である必要があります。
- オーディオストリームはMPEG1 Audio Layer II または MPEG2 Audio Layer IIである必要があります。

マルチチャンネル音声について

- 本機はマルチチャンネル音声をダウンミックスして再生します。

テレビ方式について

- 本機は日本やアメリカなどのテレビ方式のNTSCに適合しています。NTSC以外のテレビ方式（PALなど）用のDVDもNTSC方式に変換して再生※できます。

※ディスクによっては映像がコマ送りになり、画面の縦横比率が変わるなど、正しく再生できないことがあります。

ディスクの構成について

●DVDビデオ

DVDビデオは、”タイトル”と呼ばれる大きな単位とそのタイトルに含まれる”チャプター”と呼ばれる小さな単位で構成されています。

タイトル1			タイトル2	
チャプター１	チャプター２	チャプター３	チャプター１	チャプター２

●CD

CDは、”トラック”と呼ばれる単位で構成されています。

トラック1	トラック2	トラック3	トラック4	トラック5

●MP3／WMA／JPEG／WAVE／MPEG1／MPEG2ディスク

これらのディスクには、静止画像がトラック／ファイルとして記録されています。トラック／ファイルは通常フォルダーにまとめられています。フォルダーにはさらに別のフォルダーを含むことができ、フォルダー階層を構成します。本機ではこのフォルダー階層を”グループ”としてあつかっています。

グループ1		グループ2					
トラック1／ファイル1	トラック2／ファイル2	グループ3		グループ4		グループ5	
		トラック1／ファイル1	トラック2／ファイル2	トラック1／ファイル1	トラック2／ファイル2	トラック1／ファイル1	トラック2／ファイル2

本機はディスク1枚につき

- 4000のトラック／ファイル
- 99のグループ（1グループにつき150のトラック／ファイルまで）

を認識できます。

これらの数を超えるファイル／トラック／グループは認識されず、再生できません。

※ MP3／WMA／JPEG／WAVE／MPEG1／MPEG2以外のファイルがディスクに含まれている場合、そのファイルの数も総ファイル数に含まれます。

ディスクについて

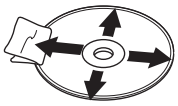
結露現象について

冬、暖房のきいた部屋の窓ガラスに水滴がつき、くもってしまう現象、これが結露現象です。プレーヤーも冷えきった状態のまま暖かい部屋に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、光学系のレンズ（ピックアップのレンズ部分）に露が生じ（結露）、レーザーによるディスクからの信号読み取りができず、プレーヤーが動作しないことがあります。

このような現象が生じた場合は、周囲の状況にもよりますが、電源を入れ1時間程放置すると結露が取り除かれプレーヤーは正常に動作するようになります。

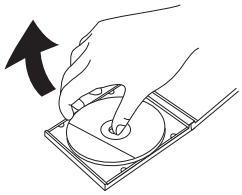
ディスクの表面はいつもきれいに

ディスクの表面を拭くときは必ずディスク専用のクリーナーを使用して下の図のように拭いてください。



※ディスクは、プラスチック製です。従来のアナログディスク用のクリーナーや帯電防止剤、ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の薬品を使用すると、ディスクの表面に悪い影響を与えますので絶対に使用しないでください。

ディスクをケースから取り出すときは、必ずケースの中心を一度押して、ディスクの外周部分を手ではさむように持って取り出してください。



ディスクを持つ場合には、演奏面（ラベルの印刷していない面）に触れないように、両端をはさんで持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

ディスク保管上の注意

ディスクはケースに入れて正しく保管しましょう。ディスクを大切にするため次のような場所に置くことはさけてください。

- ●直射日光の当たる場所。
- ●暖房器具の近くや空調の吹き出し口などの高温になる場所。または高温になる物の上。
- ●車の中などの高温になる場所。
- ●投光照明機などの発熱物の近くの場所。
- ●極端に寒い場所。
- ●湿気や水分のある場所、プール、浴室などの湿気の多い場所。
- ●屋外や直接水のかかるところ。

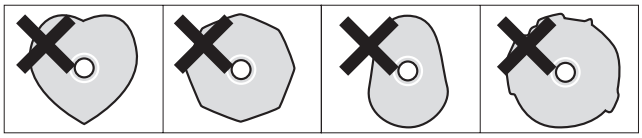
ディスクの取り扱いについて

ディスクの表面にキズをつけないよう大切に扱ってください。

ディスクのセットは、必ずレーベル面を上にして、セットしてください。

七色に輝く面が表面です。レーベル面が裏面になります。従来のレコードプレーヤーと異なり、プレーヤーは、レーザー光線のスタイラスでディスクの下側からディスクに触れることなく情報を読み取ります。したがってディスクはアナログレコードのように、使っているうちに性能が劣化するようなことはありません。

- ・ レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。
- ・ 再生が終わったディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- ・ ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- ・ ディスクは、2枚以上重ねて置いたり、ディスク以外のものをトレーの上に置いたりしないでください。故障の原因になります。
- ・ 市販のディスク用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となることがあります。
- ・ MP3／WMA／JPEG／WAVE／MPEG1／MPEG2フォーマット以外のDVD-ROM、DVD-RAM、CD-ROM、CD-I（CD-I Ready）、DVD Audio、Photo CD、SACDは再生できません。
- ・ ハート型や八角形など特殊形状のディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



言語コード表

AA	アファル語	IN	インドネシア語	RO	ルーマニア語
AB	アブハジア語	IS	アイスランド語	RW	キニヤルワンダ語
AF	アフリカーンス語	IW	ヘブライ語	SA	サンスクリット語
AM	アムハラ語	JI	イディッシュ語	SD	シンド語
AR	アラビア語	JW	ジャワ語	SG	サンド語
AS	アッサム語	KA	グルジア語	SH	セルボアクロアチア語
AY	アイマラ語	KK	カザフ語	SI	シンハラ語
AZ	アゼルバイジャン語	KL	グリーンランド語	SL	スロベニア語
BA	バシキール語	KM	カンボジア語	SM	サモア語
BE	ベラルーシ語	KN	カンナダ語	SN	ショナ語
BG	ブルガリア語	KO	韓国(朝鮮)語	SO	ソマリ語
BH	ビハーリー語	KS	カシミール語	SQ	アルバニア語
BI	ビスラマ語	KU	クルド語	SR	セルビア語
BN	ベンガル語、バングラ語	KY	キルギス語	SS	シスワティ語
BO	チベット語	LA	ラテン語	ST	セストゥ語
BR	ブルトン語	LN	リンガラ語	SU	スンダ語
CA	カタロニア語	LO	ラオス語	SV	スウェーデン語
CO	コルシカ語	LT	リトアニア語	SW	スワヒリ語
CY	ウェールズ語	LV	ラトビア語、レット語	TA	タミール語
DA	デンマーク語	MG	マダガスカル語	TE	テルグ語
DZ	ブータン語	MI	マオリ語	TG	タジク語
EL	ギリシャ語	MK	マケドニア語	TH	タイ語
EO	エスペラント語	ML	マラヤーラム語	TI	ティグリニャ語
ET	エストニア語	MN	モンゴル語	TK	トゥルクメン語
EU	バスク語	MO	モルダビア語	TL	タガログ語
FA	ペルシャ語	MR	マラータ語	TN	セツワナ語
FI	フィンランド語	MS	マライ(マレー)語	TO	トンガ語
FJ	フィジー語	MT	マルタ語	TR	トルコ語
FO	フェロー語	MY	ミャンマー語	TS	ツォンガ語
FY	フリジア語	NA	ナウル語	TT	タタール語
GA	アイルランド語	NE	ネパール語	TW	トゥイ語
GD	スコットランドゲール語	NL	オランダ語	UK	ウクライナ語
GL	ガルシア語	NO	ノルウェー語	UR	ウルドゥー語
GN	グアラニ語	OC	プロバンス語	UZ	ウズベグ語
GU	グジャラード語	OM	(アフォン)オロモ語	VI	ベトナム語
HA	ハウサ語	OR	オリヤー語	VO	ヴォラピュク語
HI	ヒンディー語	PA	パンジャブ語	WO	ヴォロフ語
HR	クロアチア語	PS	パシュトー語	XH	コーサ語
HY	アルメニア語	PT	ポルトガル語	YO	ヨルバ語
IA	国際語	QU	ケチュア語	ZU	ズール語
IE	国際語	RM	ラエティーロマン語		
IK	イヌピック語	RN	キルンディ語		

用語説明

CPRM ……録画用DVDフォーマットの著作権保護技術。

D1端子 ……走査線数５２５本のインターレース出力を伝送できるD端子。

D2端子 ……走査線数５２５本のインターレース出力とプログレッシブ出力を伝送できるD端子。

DTS ……DTS (Digital Theater Systems) 社が開発した音声符号化規格で、DVDビデオのオプション音声圧縮方式。

DVD VR ……DVDビデオ規格を基に発展させたビデオレコーディング (VR) 規格。

DVD-R ……1回だけデータを記録できるDVDディスク。

DVD-ROM ……DVDディスクに読み取り専用ファイルを記録したもの。DVDビデオは、DVD-ROMに映像と音声をDVDビデオのフォーマットで記録したもの。

DVD-RW ……繰り返しデータを記録できるDVDディスク。

DVDビデオ ……映像はMPEG、音声はドルビーデジタルなどで収録されたDVD-ROMディスクの規格。

D端子 ……輝度信号と２つの色差信号を分けて伝送するアナログコンポーネントビデオ信号用端子。Sビデオよりも画質が良い。

JPEG ……静止画のデータを圧縮する技術。

MP3 ……MPEG-1オーディオレイヤⅢの呼称。周波数により符号化精度を調整する聴覚心理圧縮技術を使った、オーディオ信号の圧縮符号化方式。

MPEG-1 ……動画を圧縮を目的に標準化された規格。ビデオCDなどに使用されている。

MPEG-2 ……MPEG-1をベースに高品質に拡張された規格。デジタル放送、DVDなどに使用されている。

NTSC ……画面の水平方向の走査線が525本で、毎秒30フレーム (60フィールド) 切換えるインターレース方式で、日本や米国で採用されている。

PAL ……画面の水平方向の走査線が625本で、毎秒25フレーム (50フィールド) 切換えるインターレース方式で、欧州で採用されている。

Sビデオ ……輝度信号と色信号を分けて伝送するアナログビデオ信号。コンポジットに比べて画質が良い。

WAVEファイル ……Windowsの音声ファイルの標準的な形式で、WAVファイルとも呼ばれる。

WMA ……Windows Media Audioの略。マイクロソフトのWindowsで採用している音声圧縮技術。

アスペクト比 ……画面の横幅と縦の比率。「４：３」は横幅が縦に比べ33%大きいことを意味する。従来のＴＶは４：３で、ワイドＴＶは１６：９。

アングル ……DVDビデオの機能。複数のカメラで記録されたソフトを再生中、他のカメラアングルに切換えることができる。

インターレース ……走査線を1行おきに交互に送り、1回の走査で画面の2分の1 (1フィールド) を表示する映像走査方式。

言語コード ……ISO 639規定されている2文字のコードで、ディスクにその言語が含まれている場合、入力して選択できる。

コンポジット・ビデオ ……輝度信号と色信号が合成されたアナログビデオ信号。一般的に黄色のコネクター。

サンプリング周波数 ……アナログ信号をデジタルデータに変換するとき、デジタルサンプルを取得する回数。48kHzは、1秒間に48000回。

スクリーンセーバー …… 表示中の画像がディスプレイに焼きつくのを防ぐために、一定時間操作が行われないと、画面を暗くする機能。

タイトル …… DVDビデオ・ディスクの最大の単位で、チャプターの集合がタイトル。

ダイナミック・レンジ・コンプレッション …… 低い音量でDVDを見ている時に台詞などを聞き易くするために、大きな音と小さな音の音量差を狭める技術。

ダウンミックス …… マルチチャンネルの音声を合成して、2チャンネルステレオに変換すること。全てのDVDプレーヤーにこの音声出力がついている。

チャプター …… DVDビデオ・ディスクの単位で、タイトルはチャプターで構成される。

トラック …… 音楽CDの単位で、通常は1曲が1トラック。

ドルビーデジタル …… ドルビーラボラトリーズが開発した国際標準の音声符号化規格で、DVDビデオで最も一般的な音声圧縮方式。
DD、DOLBY DIGITAL

パンスキャン …… 4:3のTV画面に横長の16:9の画像を表示するとき、画像の両端を切り取る処理技術。

ピクセル …… 画像の最も小さい単位で、画像を構成しているひとつのドット。

ビットストリーム …… 生のデジタル信号で、デコーダーによって、マルチチャンネルの音声に変換が可能。

ビットレート …… 一定時間に伝送するデータ量をビット数で表したもの。128kbpsは、1秒毎に128キロビット。

フィールド …… 1回の走査による画像。インターレースの場合は半分の画像で、トップ(奇数)フィールドとボトム(偶数)フィールドで1フレームが構成される。

フレーム …… 映像信号の1枚の完全な画像。インターレースの場合、1フレームは、2フィールドで構成される。

プログレッシブ …… 全ての走査線を1回の走査で表示する映像走査方式。

マクロビジョン …… VTRにコピーすると映像信号に歪みを発生させる著作権保護技術。

リージョンコード …… DVDビデオの再生を制限するために地域を識別する番号。

リジューム …… プレーヤーの再生を停止させた後、再びその位置から再生を開始する機能。

リニアPCM …… 圧縮されていないデジタル音声データ信号。全帯域が均等に符号化されている。音楽CDは、この方式で記録されている。

レターボックス …… 4:3のTV画面に横長の16:9の画像を表示するとき、画像全体を保持したまま、黒い帯を画面の上下に追加する処理技術。

※ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
・本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国許可及びその 他の知的財産権によって保護されています。
この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の許可がない限り家庭用及びその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
・本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。
※Dolby、ドルビー、及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
「DTS」および「DTSデジタルサウンド」はDTS社の登録商標です。
※著作権1996年、2000年DTS社。不許複製。
※Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
※Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の商標です。

故障かな

●サービスの依頼をする前に

取扱説明書をよくお読みいただき、操作、接続の確認、セットの故障でない雑音等について、ご面倒ですが今一度お確かめください。サービスのご依頼で実際に点検してみますと故障でない場合がございます。

本機は精密電子機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正確に動作しないことがあります。この場合は機器の電源プラグをACコンセントから抜き、2分以上放置して再度差し込んで電源を入れてください。

症 状	原 因	処 置
電源が入らない	電源プラグがコンセントに差し込まれていないか、はずれている。	PLS-1610の電源プラグをコンセントに差し込みます。
音が出ない	スピーカーケーブルが正しく接続されていない。	10〜11ページを参考にして、接続を確認してください。
	MUTE（ミュート）が働いている。	リモコンのMUTE（ミュート）キーを押してください。
	ヘッドホンが接続されている。	ヘッドホンが接続されていると、スピーカーからは音が出ません。ヘッドホンを使用しないときは、抜いておいてください。
	プロテクター回路が働いている。	スピーカー端子のショートなどでステレオレシーバーのプロテクター回路が働くと、音が出なくなります。この場合は、スレテオレシーバーの電源プラグを抜き、原因を取り除いてから再度差し込んでください。
急に電源が切れた	スリープタイマーが働いていた。	リモコンのSLEEP（スリープ）キーを押すと、スリープタイマーが動き始めます。
CD／DVDの演奏ができない	ディスクが裏返しになっている。	レーベル面を上にしてディスクをセットしてください。
	ディスクにキズやソリがある。	ディスクを取り変えて演奏してみてください。
	ピックアップレンズが結露している。	ディスクを取り出し、電源を入れたままで1時間ぐらい待ってから再び演奏してください。
放送が受信できない	アンテナの接続や設置が正しく行われてない。	14〜17ページのアンテナの接続を参考にアンテナとアンテナケーブルの接続、アンテナの方向などをチェックしてください。
リモコンによる操作ができない	乾電池が消耗している。	2本とも新しい乾電池に交換してください。
	途中に障害物がある。	障害物をとり除いてください。
	受光部にプラズマテレビ等の光が当たっている。	プラズマテレビの影響を受けないように離します。
時計表示が消えた 放送のメモリーが消えた タイマーのセットが消えた	エコノミーモードになっている。	エコノミーモードを解除する（23ページ参照）。
	次の理由で電源が切れた。 ・ステレオレシーバーのプラグを抜いた ・停電が起きた ・配電盤のブレーカーが働いた	電源が切れた場合は、時刻のセット（58〜59ページ）、放送局の登録と呼び出し（56〜57ページ）、タイマーの使いかた（64〜65ページ）をやり直してください。

お問い合わせ

症 状	原 因	処 置
各キーの操作ができない	ディスクで操作が禁止されている。	ディスクによっては、特定の操作が禁止されている場合があります。
CD／DVDの演奏ができない	DVDビデオのリージョンコードが合っていない。	リージョンコード「2（2を含む）」または「ALL」のディスクを使用してください。
MP3／WMA／JPEG／WAVE／MPEG1／MPEG2ファイルが再生できない	ディスクに異なる種類のファイルが複数記録されている。	優先ファイルの設定（27ページ）を確認してください。
映像が出ない	ビデオケーブルが正しく接続されない。 D2映像出力端子と、S1／S2映像出力端子を両方同時につないでいる。	10〜11ページを参照して正しく接続してください。 どちらか片方だけにしてください（10〜11ページ）。
映像が乱れる	PLS-1610とテレビの間にビデオデッキを接続している。	PLS-1610とテレビは直接つないでください（10〜11ページ）。
画面サイズがおかしい	画面サイズの設定が間違っている。	TV画面の設定（27ページ）はお使いのテレビに合わせてください。
テレビ画面が暗くなる	スクリーンセーバーが「オン」になっている。	なにかボタンを押します。スクリーンセーバーを働かなくするには、スクリーンセーバーの設定（27ページ）を「オフ」にしてください。
音声／字幕言語の切り換えができない	ディスクに複数の言語や音声が収録されていない。	複数の言語や音声の収録されているディスクを使用してください。
字幕が出ない	ディスクに字幕が入っていない。 字幕言語が「オフ」になっている。 A-BリピートのAポイント、Bポイントの前後である。	字幕の入っているディスクを使用してください。 言語を選んでください（26、52ページ）。 A-BリピートのAポイント、Bポイント前後では字幕が表示されない場合もあります。
ディスクが取り出せない	チャイルドロックされている。	チャイルドロックを解除してください（32〜33ページ）。

●お問い合わせ

故障及び修理のお問い合わせは

ボーズ・サービスセンター株式会社　　フリーダイヤル 0120-235-250

住所　〒206-0035　東京都多摩市唐木田1-53-9　唐木田センタービル

製品等のお問い合わせは

ボーズ株式会社インフォメーションセンター　　☎03-5489-0955

までご連絡ください

仕様／保証

●仕様

●総合

電源電圧	AC100V
電源周波数	50/60Hz
消費電力	45W（電気用品安全法）
待機消費電力	0.8W以下 （時計表示消灯時“エコノミーモード”）
外形寸法	295(W)×102(H)×308(D)mm
質量	3.8kg（本体のみ）

●アンプ部

実用最大出力	40W+40W（1kHz THD10% 6Ω）
周波数特性(OTHERS)	20Hz~70kHz（−3dB）
全高調波歪率	0.03%（1kHz 5W 6Ω）
SN比	AUX1：89dB（A-WTD） PHONO：73dB（A-WTD）
チャンネルセパレーション	AUX1：68dB（1kHz）
入力感度/入力インピーダンス	AUX1：300mV/47kΩ AUX2：150mV（High）/300mV（Low） PHONO：3.8mV/47kΩ
最大許容入力電圧	AUX：2.2V（1kHz THD1%）
負荷インピーダンス	6Ω~16Ω
スピーカー端子	デュアルバナナ対応

●CD/DVDプレーヤー部

再生周波数帯域	20Hz~20kHz（±0.5dB）
出力電圧	2V rms
全高調波歪率	0.006%（20kHz LPF）
SN比	94dB（A-WTD）
ダイナミックレンジ	98dB（A-WTD）

●チューナー部

〈FM〉

周波数範囲	76.0~108.0MHz（50kHzステップ）
実用感度（IHF）	14dBf（MONO）
全高調波歪率	0.5%（1kHz 65dBf MONO）
SN比	69dB（65dBf MONO）
周波数特性（STEREO）	30Hz~14.5kHz（−3dB）
チャンネルセパレーション	37dB（1kHz 65dBf）

〈AM〉

周波数範囲	531~1,629kHz（9kHzステップ）
実用感度（ループアンテナ）	57dBμV/m
全高調波歪率	0.8%（100dBμV/m）
SN比	48dB（100dBμV/m）

●保証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

●弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

BOSE®
Better sound through research®
http://www.bose.co.jp/

ボーズ株式会社
〒150-0044 東京都渋谷区円山町28-3 渋谷YTビル
TEL 0120-130-168

OM-1360
07・04-D-A・1（I）
LVT1769-001A